
第2部 調査結果

第1 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、障害者計画及び障害福祉計画を改定するにあたって、障がい者手帳をお持ちの人（身体障害者手帳・療育手帳・精神保健福祉手帳）、特定疾患医療受給者証をお持ちの人、手帳等未所持者で福祉サービス利用者（以降「手帳未所持者」という。）のうち、無作為抽出した6,000人の方へ、生活実態やサービスの利用状況、今後の施策ニーズ等を把握することを目的にアンケート調査を実施しました。

2 調査の実施概要

(1) 調査対象者

区分	身体の障がいのある方	知的な障がいのある方	精神に障がいのある方	特定疾患医療受給者	手帳未所持者
調査対象者	身体障害者手帳所持者	療育手帳所持者	精神障害者保健福祉手帳所持者	特定疾患医療受給者証所持者	福祉サービス利用者
件数 (無作為抽出)	3,595	1,337	482	500	86
調査票の配布・回収	郵送配布・郵送回収				
調査実施者	岐阜市				
調査基準日	平成25年11月1日				
調査期間	平成25年11月11日～12月10日				

(2) 調査票の回収結果

調査の区分	配布数 (人) A	回収数 (人) B	回収率 (%) B/A	有効回答者数 (人) C	有効回答率 (%) C/A
身体の障がいのある方	3,595	1,984	55.2	1,984	55.2
知的な障がいのある方	1,337	704	52.7	704	52.7
精神に障がいのある方	482	236	49.0	236	49.0
特定疾患医療受給者	500	307	61.4	307	61.4
手帳未所持者	86	37	43.0	37	43.0

3 報告書の見方

- ・グラフ中の比率はすべて百分率（%）で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100.0%にならない場合もあります。
- ・複数回答の場合、回答の合計比率が100.0%を超える場合があります。
- ・グラフ・表として示したもののうち、無回答の回答数が0の場合は「無回答」の表示を省略しています。また、問文・選択肢の文章を、意味が変わらない程度に簡略化してある場合があります。

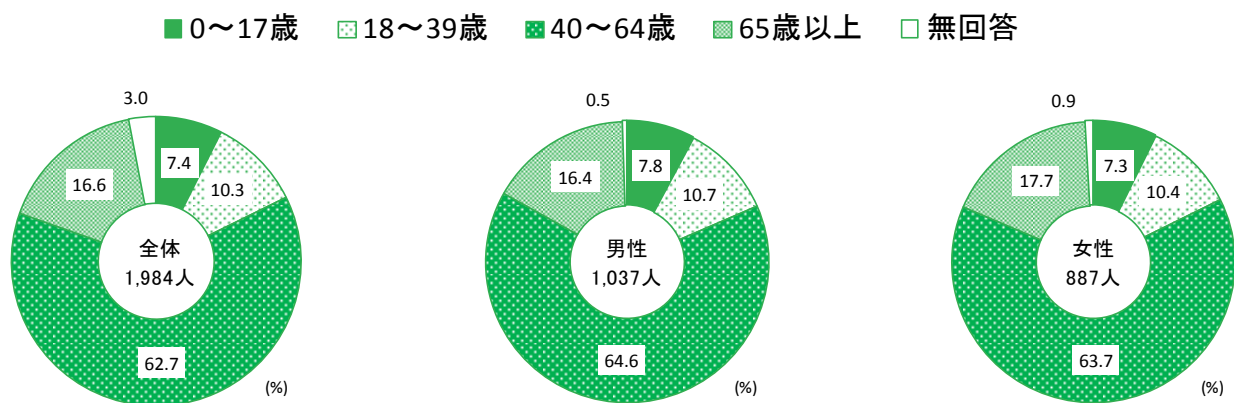
第2 調査対象者の属性等

1 年齢・性

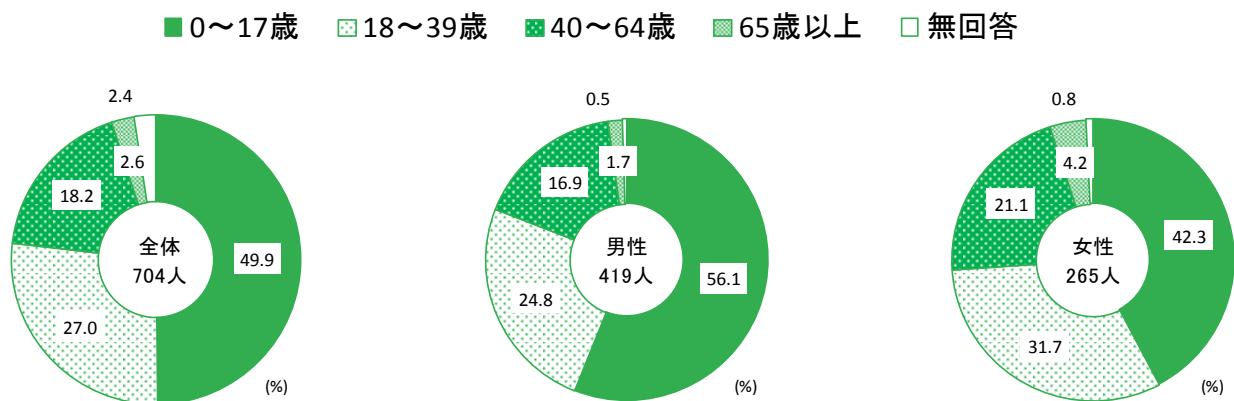
今回の調査は無作為抽出により実施しました。その結果、回答に占める割合が高い年齢層は、身体の障がいのある方は40～64歳が約6割、知的な障がいのある方は0～17歳が約5割、精神に障がいのある方は40～64歳が約5割、特定疾患医療受給者は65歳以上が約5割、手帳未所持者は0～17歳が約9割となっています。

図表 1 性・年齢別

1 身体障がい

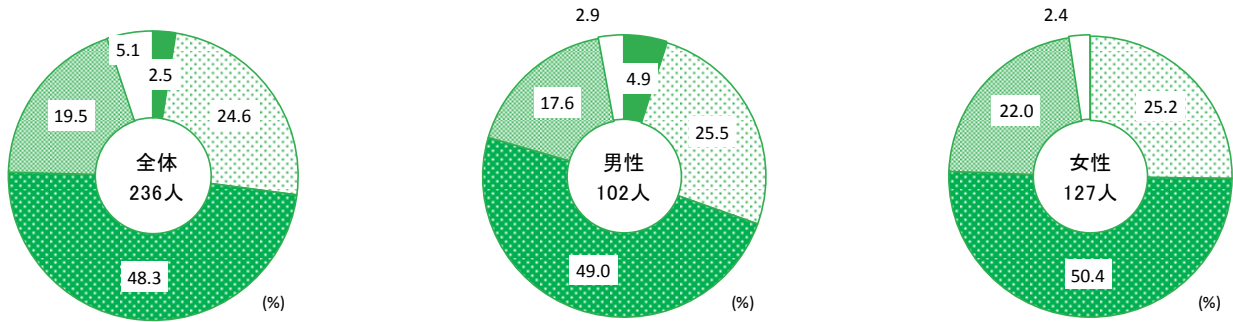


2 知的障がい



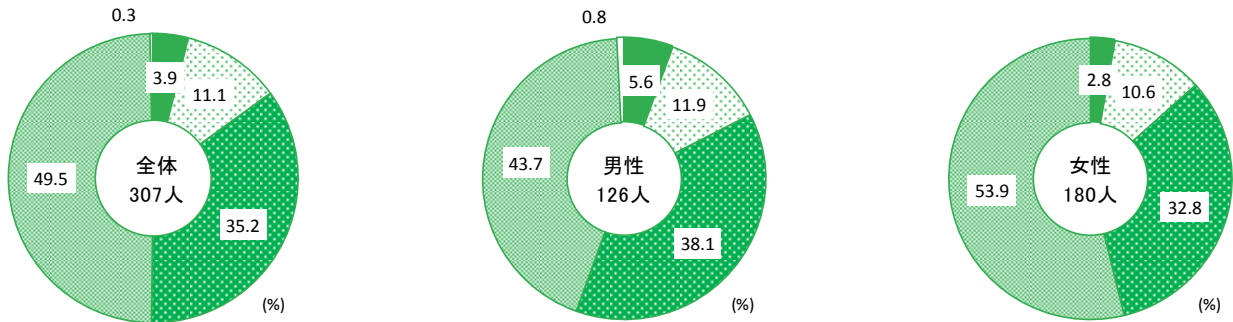
3 精神障がい

■ 0～17歳 □ 18～39歳 ■ 40～64歳 ■ 65歳以上 □ 無回答



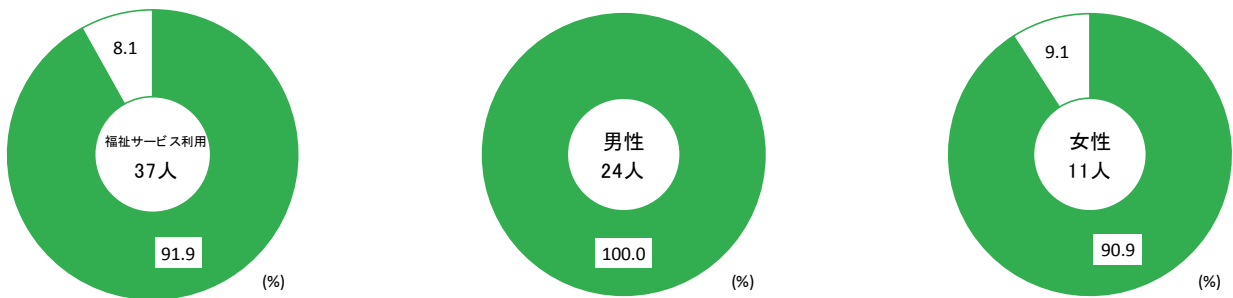
4 特定疾患医療受給者

■ 0～17歳 □ 18～39歳 ■ 40～64歳 ■ 65歳以上 □ 無回答



5 手帳未所持者

■ 0～17歳 □ 18～39歳 ■ 40～64歳 ■ 65歳以上 □ 無回答

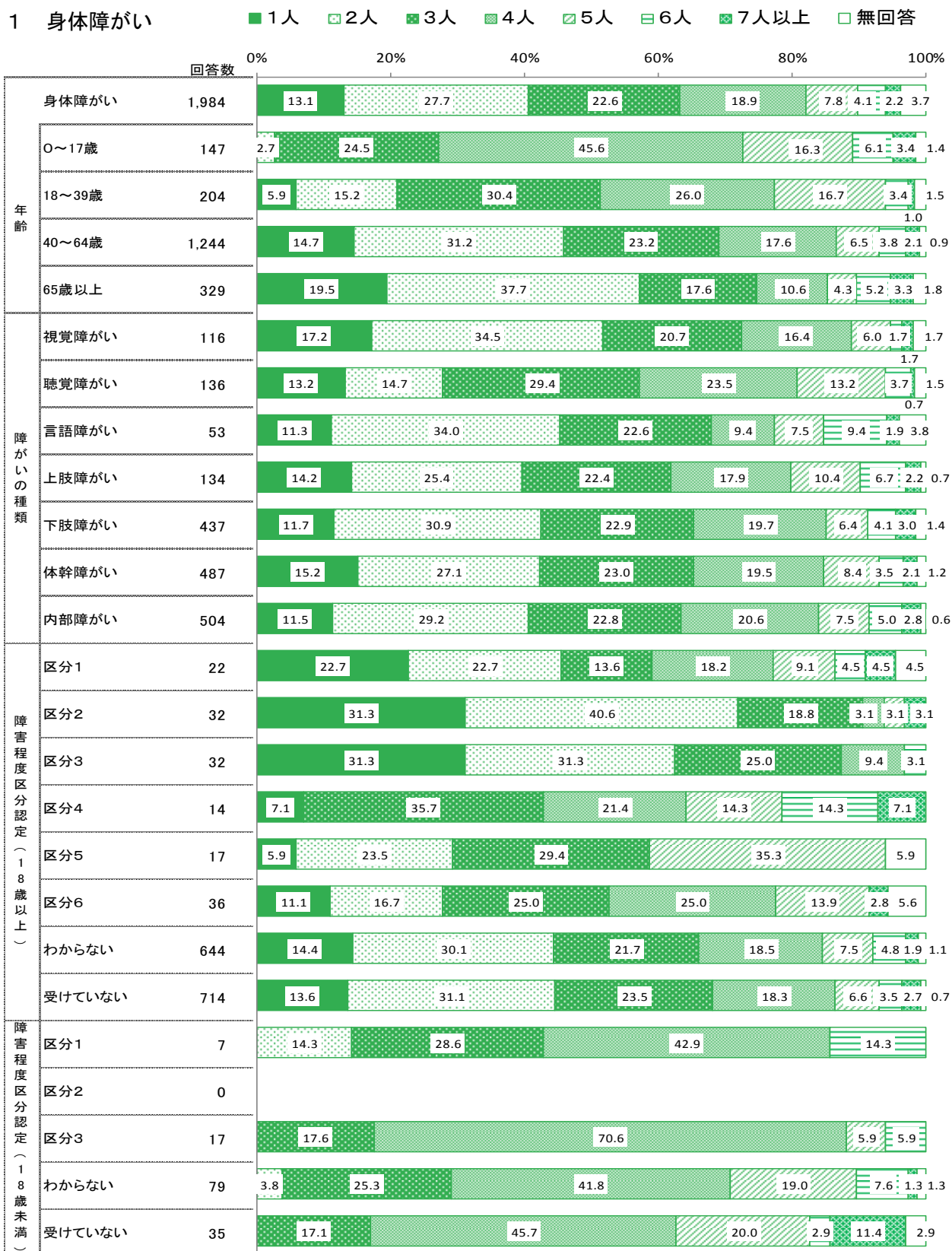


※年齢及び性別の無回答があるため、男女別と全体の合計は一致しません

2 家族数

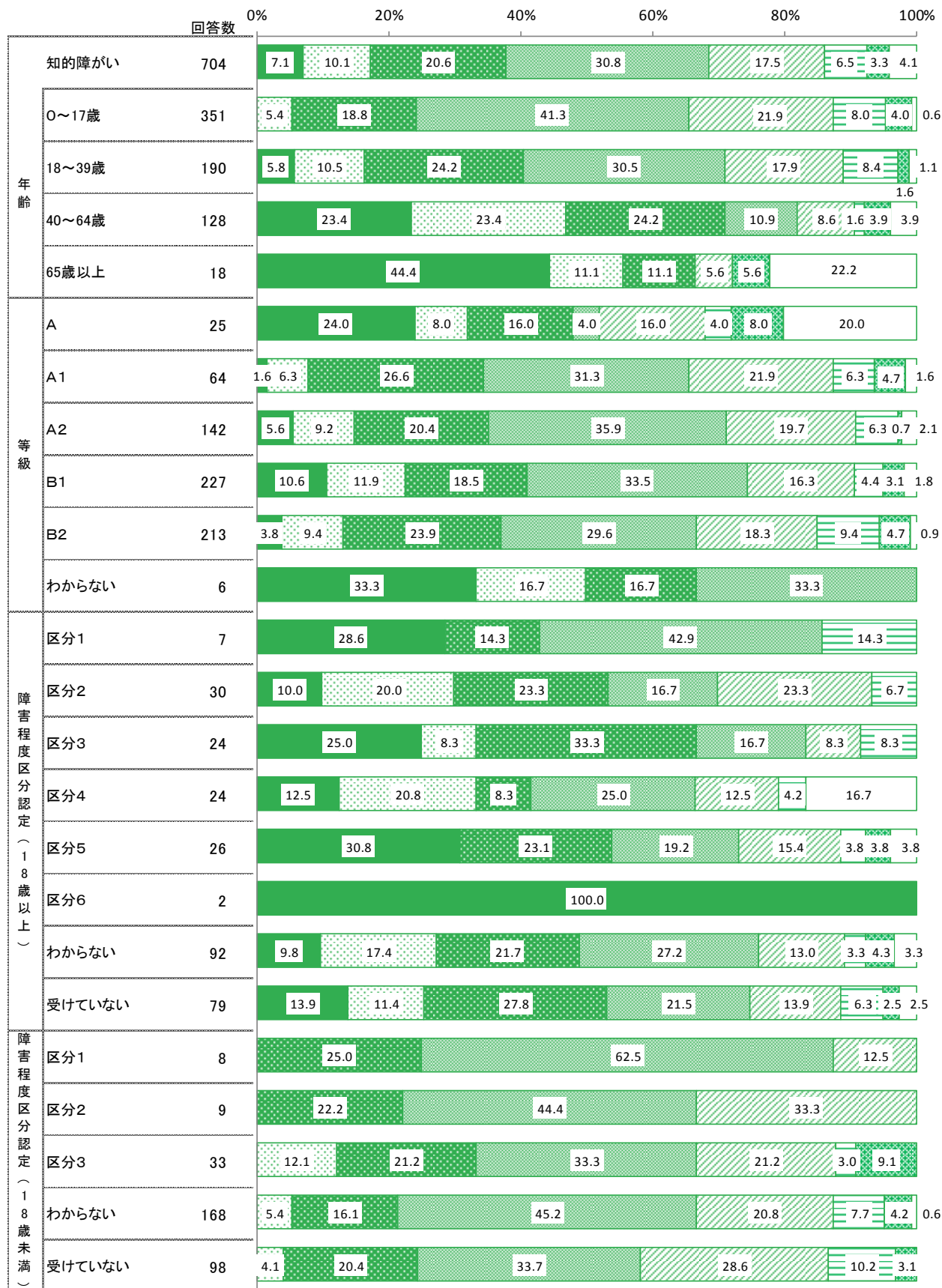
家族数は、身体の障がいがある方の「2人」、知的な障がいのある方の「4人」、精神に障がいのある方の「3人」、特定疾患医療受給者の「2人」、手帳未所持者の「4人」がそれぞれ最も多くなっています。

図表 2 家族の人数

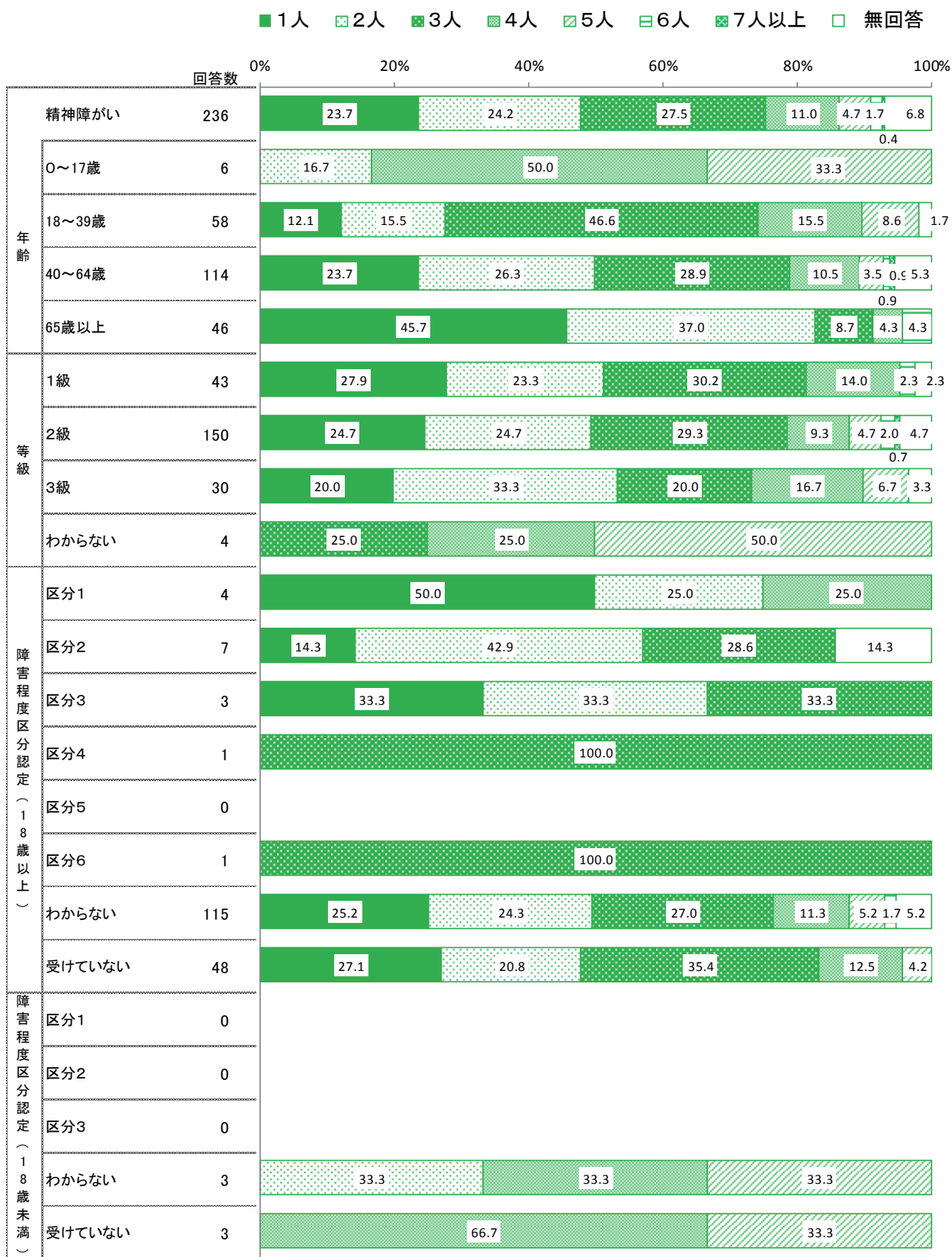


2 知的障がい

■ 1人 ■ 2人 ■ 3人 ■ 4人 ■ 5人 ■ 6人 ■ 7人以上 □ 無回答

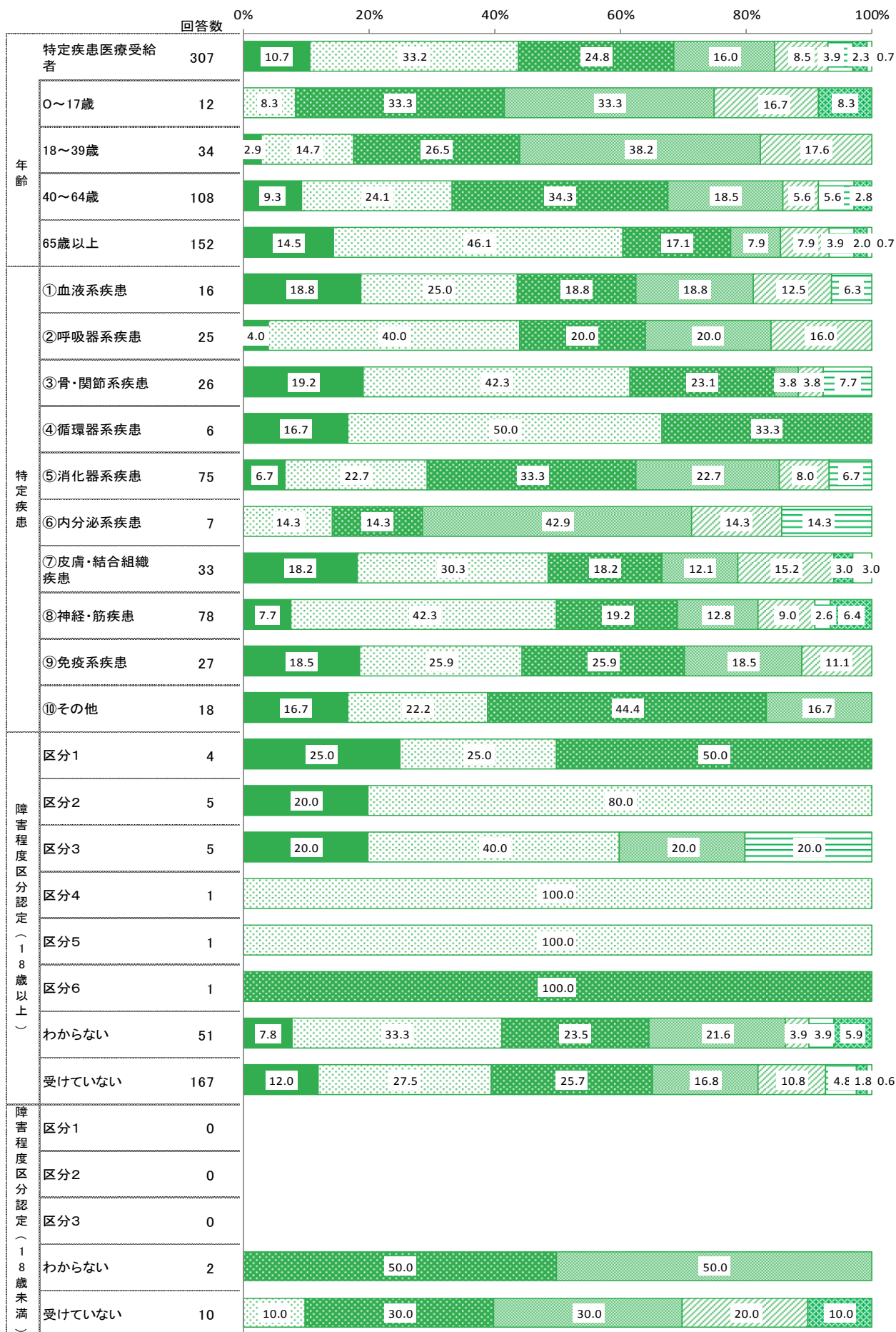


3 精神障がい

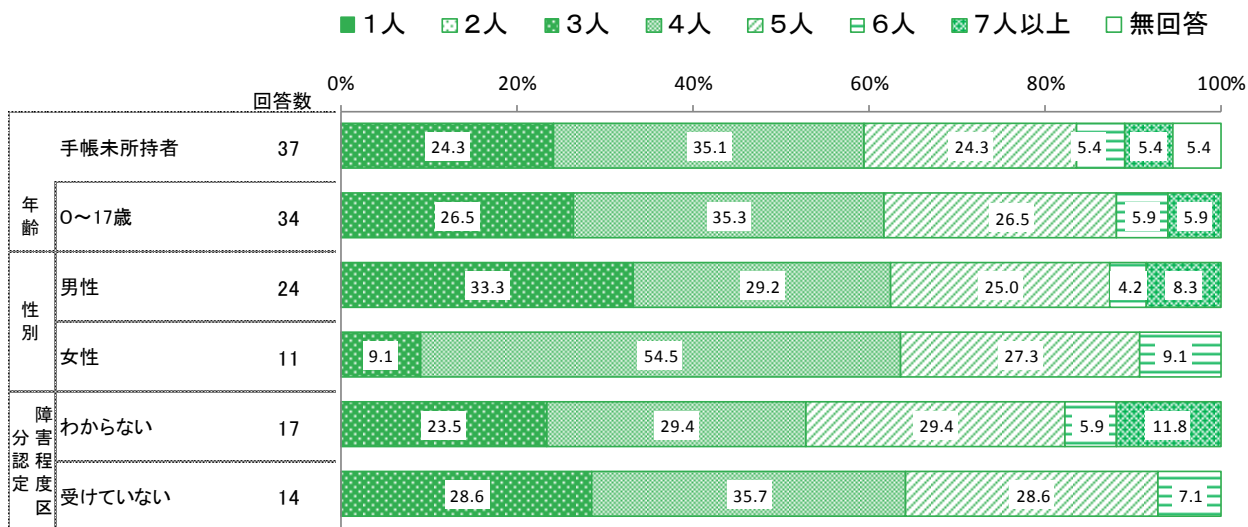


4 特定疾患医療受給者

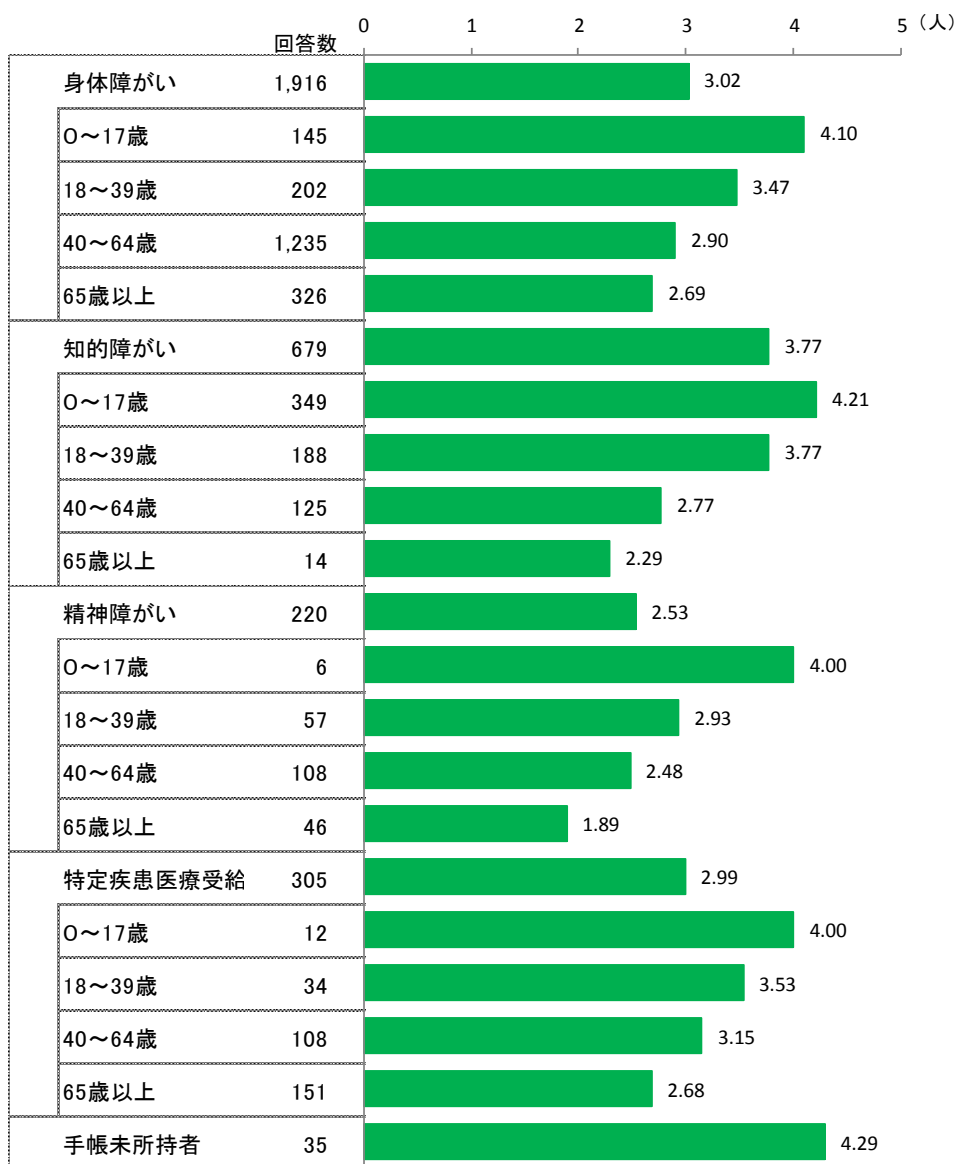
■ 1人 ■ 2人 ■ 3人 ■ 4人 ■ 5人 ■ 6人 ■ 7人以上 □ 無回答



5 手帳未所持者



図表 3 家族の平均人数

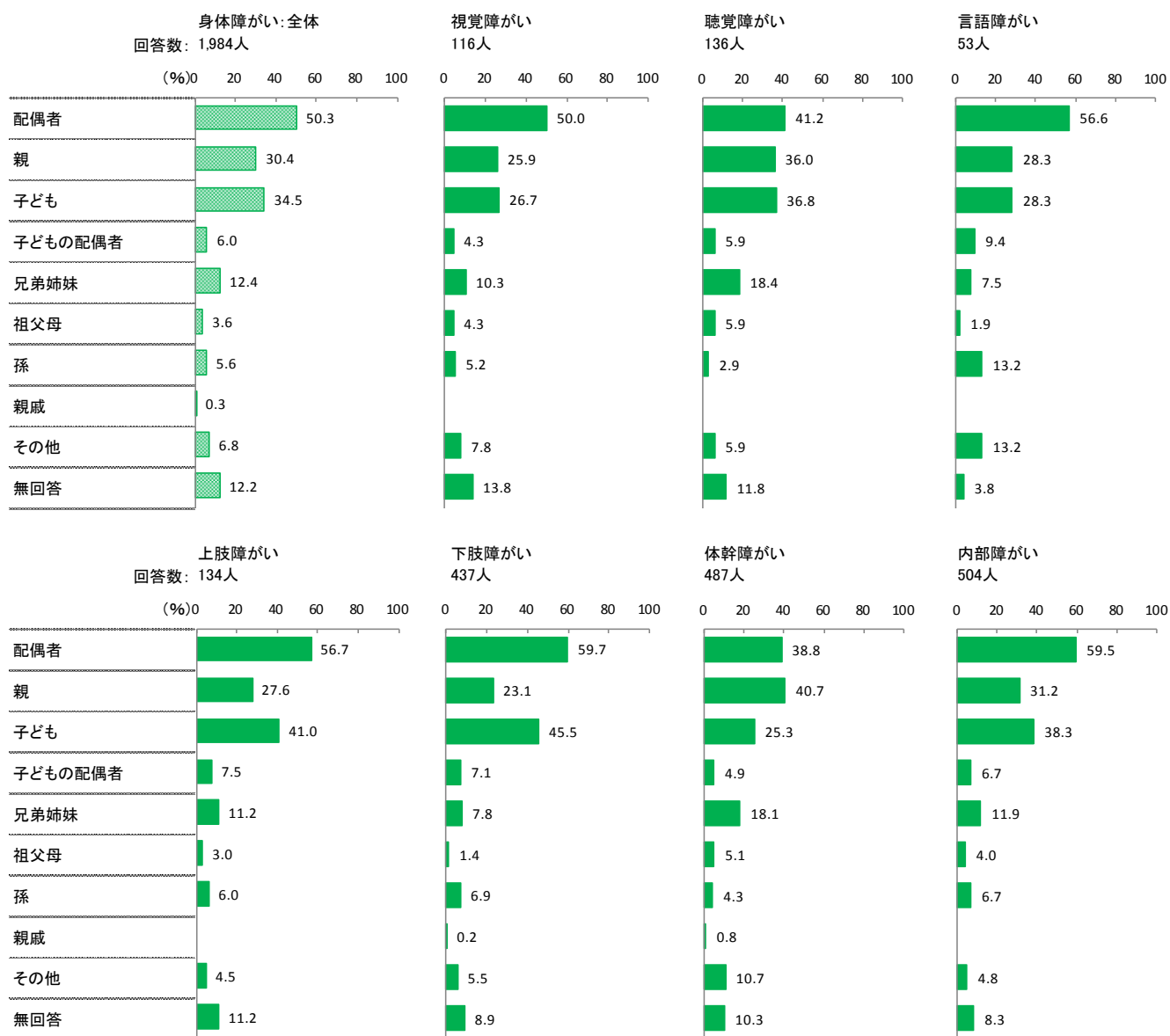


3 同居の家族

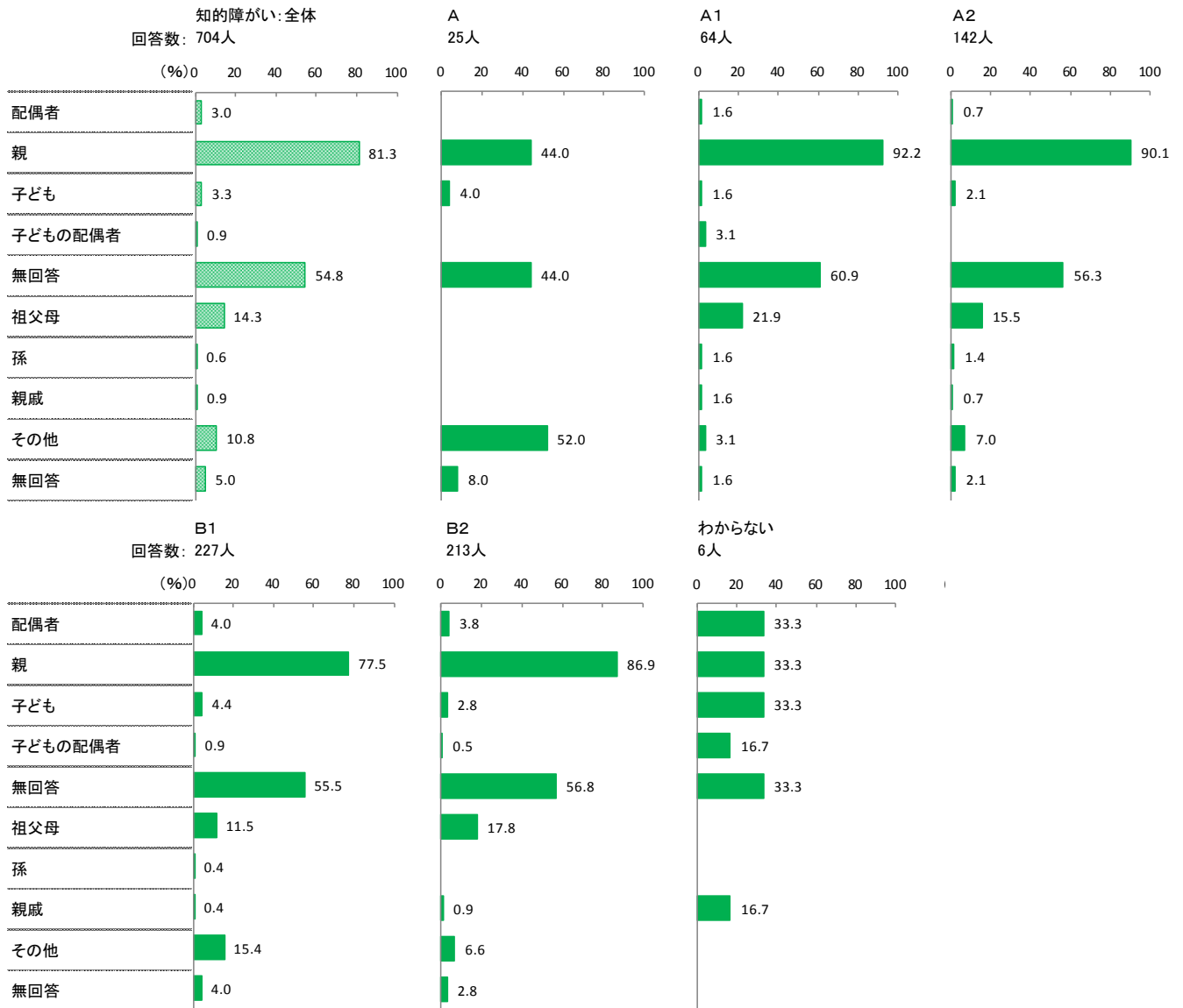
同居の家族は、身体の障がいのある方は、配偶者が約 5 割を占めています。知的な障がいのある方は親が約 8 割を占めています。精神に障がいのある方は親が約 4 割を占めています。特定疾患医療受給者は配偶者が約 6 割を占めています。手帳未所持者は親が約 9 割を占めています。

図表 4 同居の家族

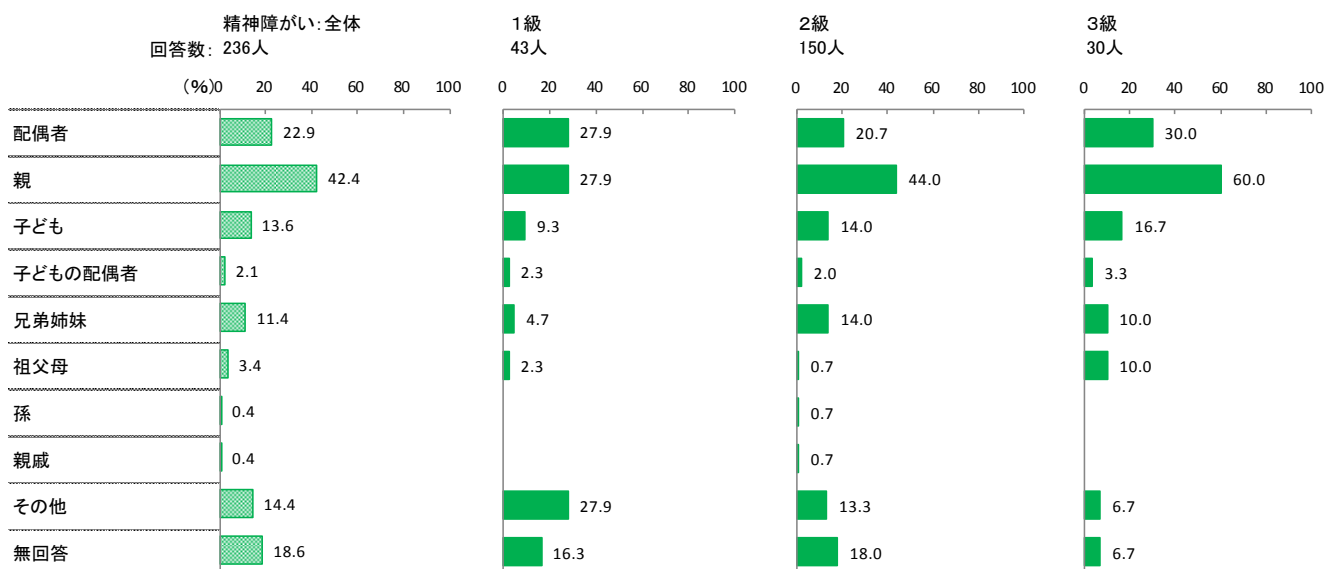
1 身体障がい（身体障害者手帳の内容別）

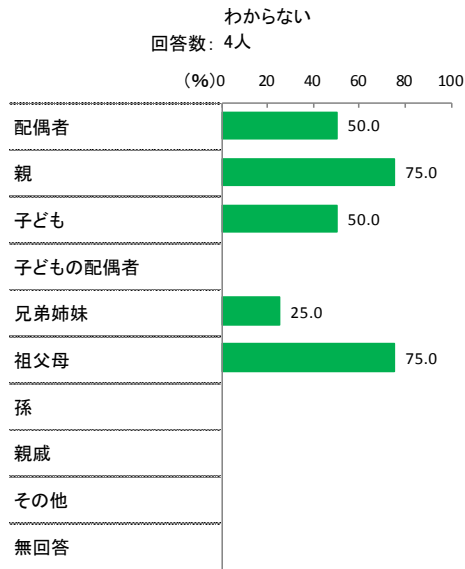


2 知的障がい（手帳の等級別）



3 精神障がい（手帳の等級別）



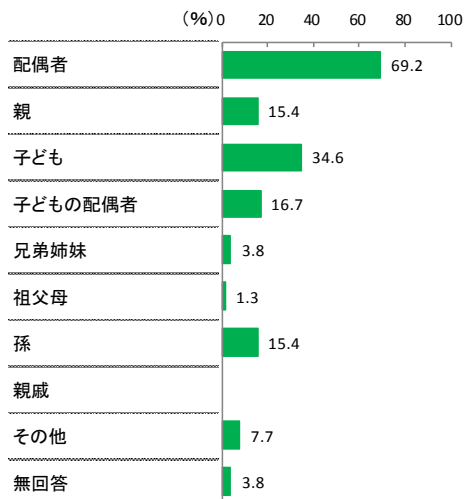


4 特定疾患医療受給者 (病名別)



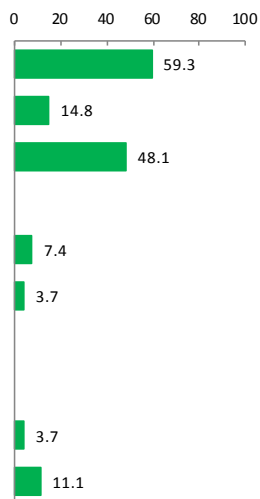
⑧神経・筋疾患

回答数: 78人



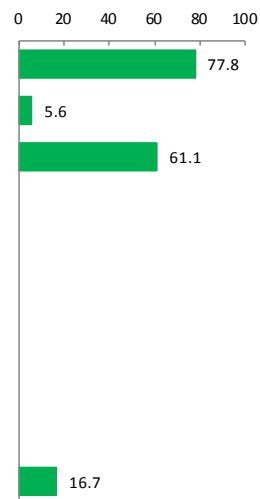
⑨免疫系疾患

27人



⑩その他

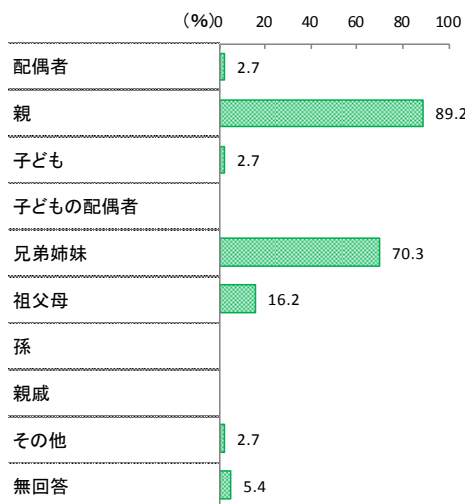
18人



5 手帳未所持者

手帳未所持者

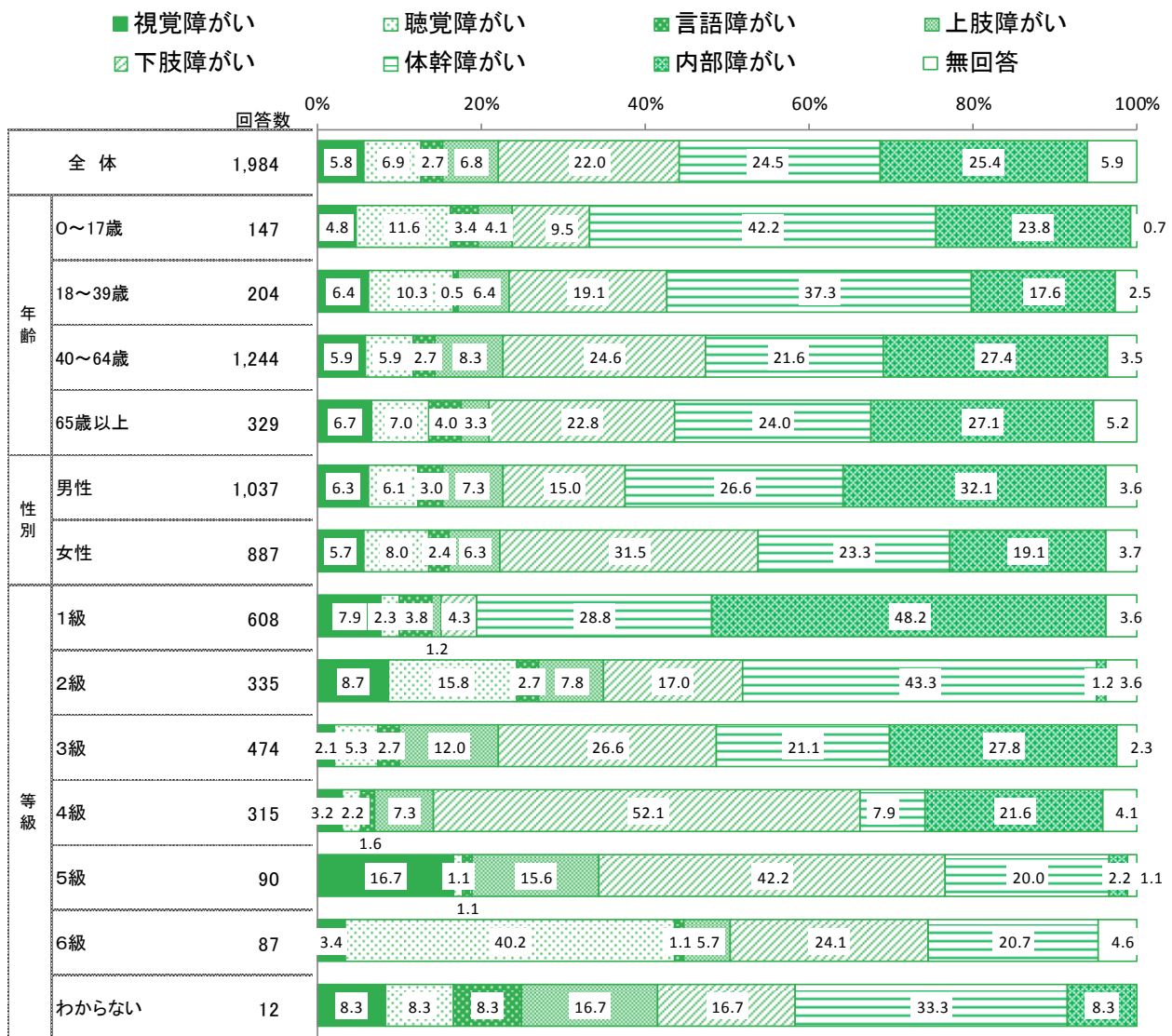
回答数: 37人



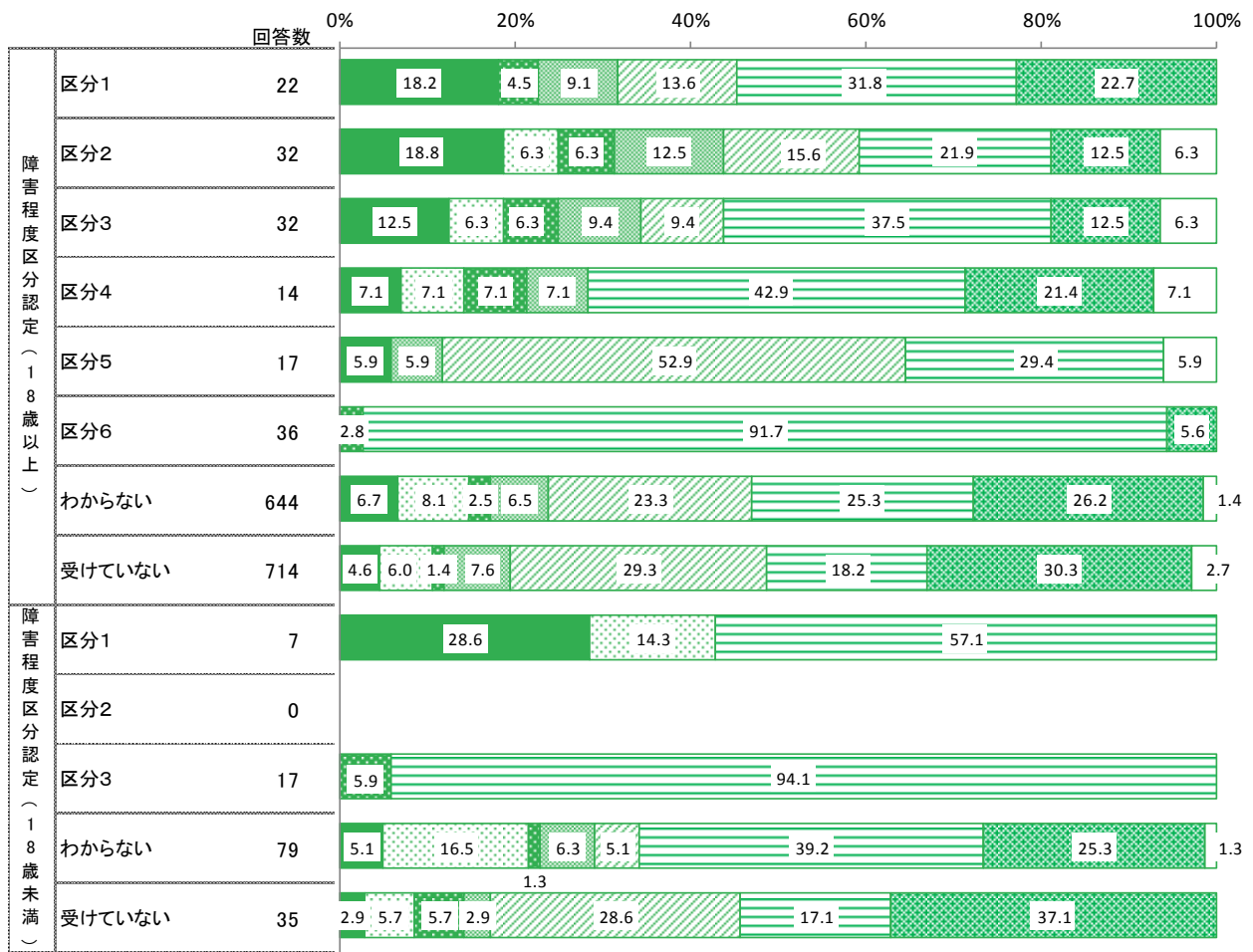
4 障がいの種類（身体の障がいのある方）

障がいの種類では、上肢障がい、下肢障がい及び体幹障がいを合計した肢体不自由が53.3%と最も多く、次いで内部障がい25.4%となっています。性別にみると男性では内部障がい、女性では下肢障がいが多くなっています。障がい等級別では、1級、3級では内部障がい、2級では体幹障がい、4級、5級では下肢障がい、6級では聴覚障がいが多くなっています。

図表 5 障がいの種類



■ 視覚障がい ▨ 聴覚障がい ▩ 言語障がい ▧ 上肢障がい
▩ 下肢障がい ▨ 体幹障がい ▩ 内部障がい □ 無回答

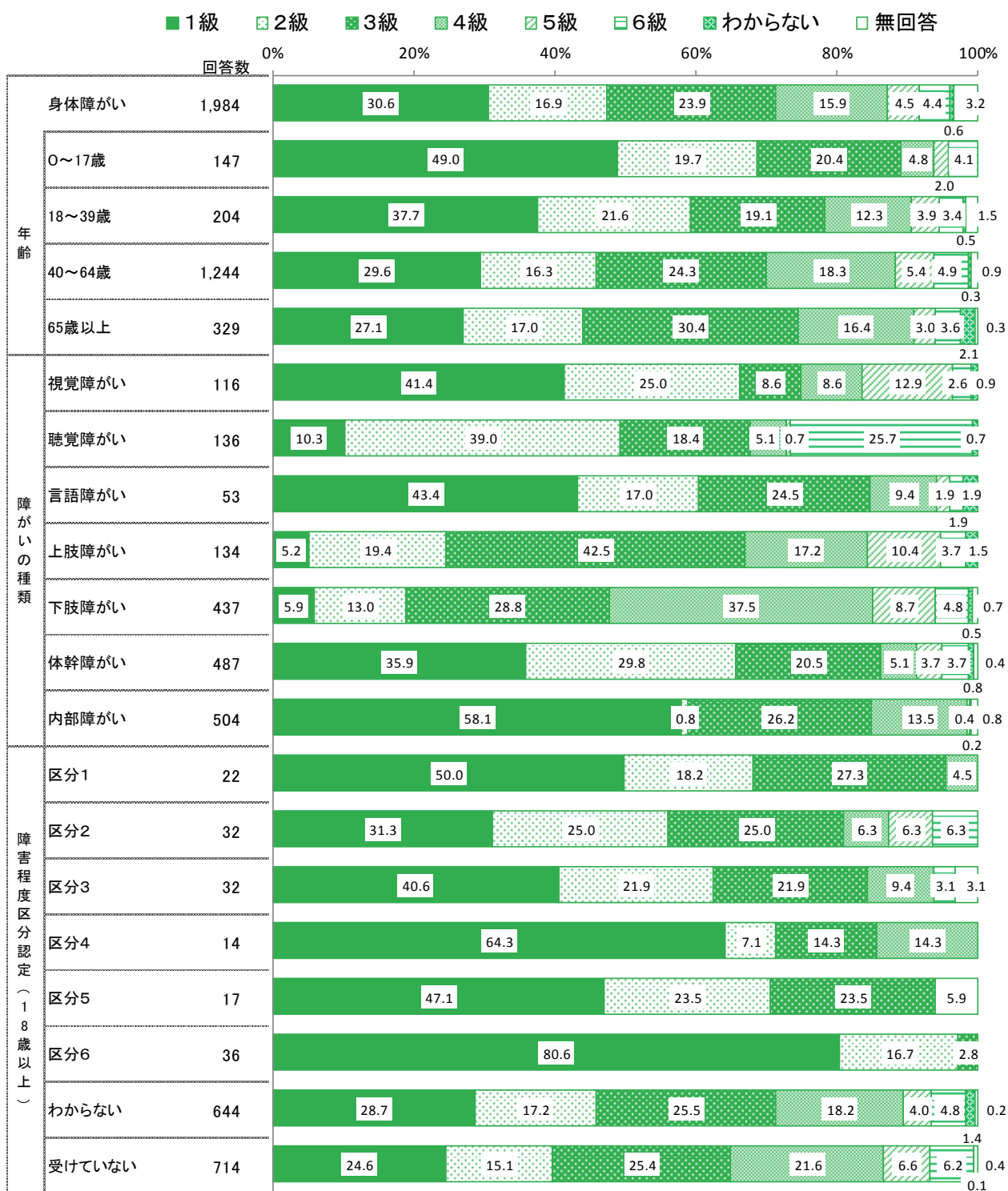


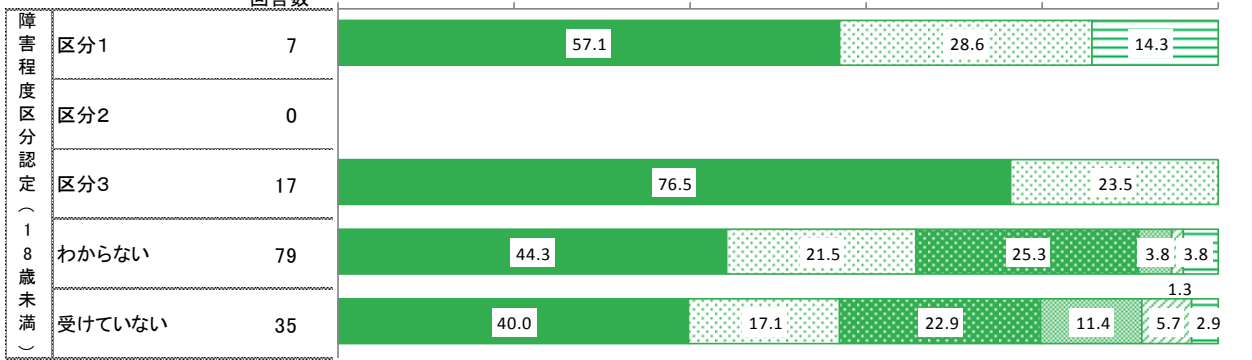
5 手帳の等級

身体障害者手帳の障害等級は、1・2級の重度の方が47.5%、内部障がいでは1級が58.1%を占めています。療育手帳は、A・A1・A2が32.9%、B1が32.2%となっています。精神障害者保健福祉手帳は1級が18.2%、2級が63.6%、3級が12.7%となっています。

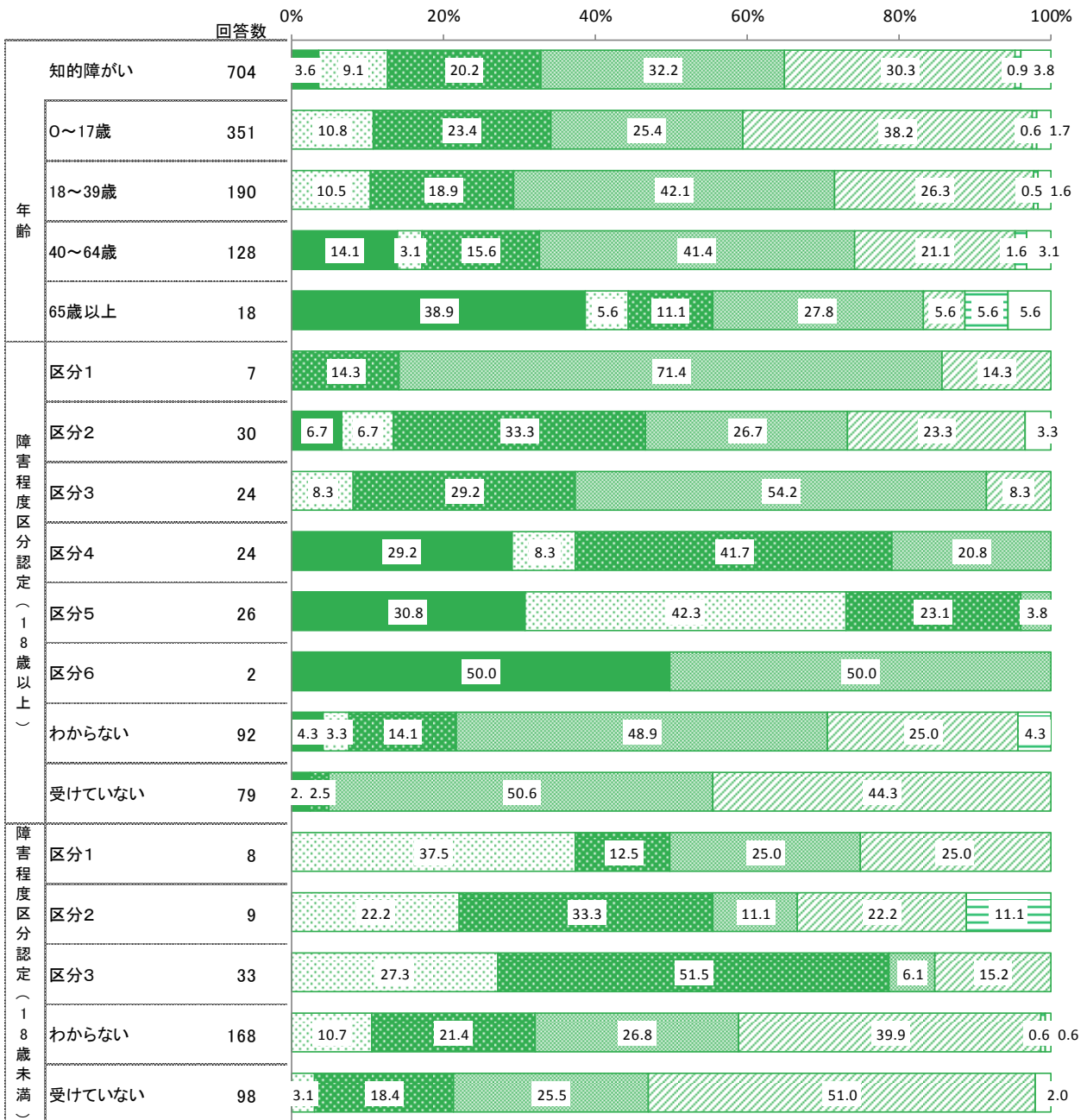
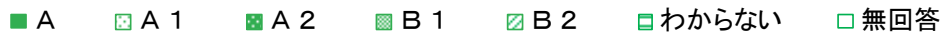
図表 6 手帳の等級

1 身体障害者手帳

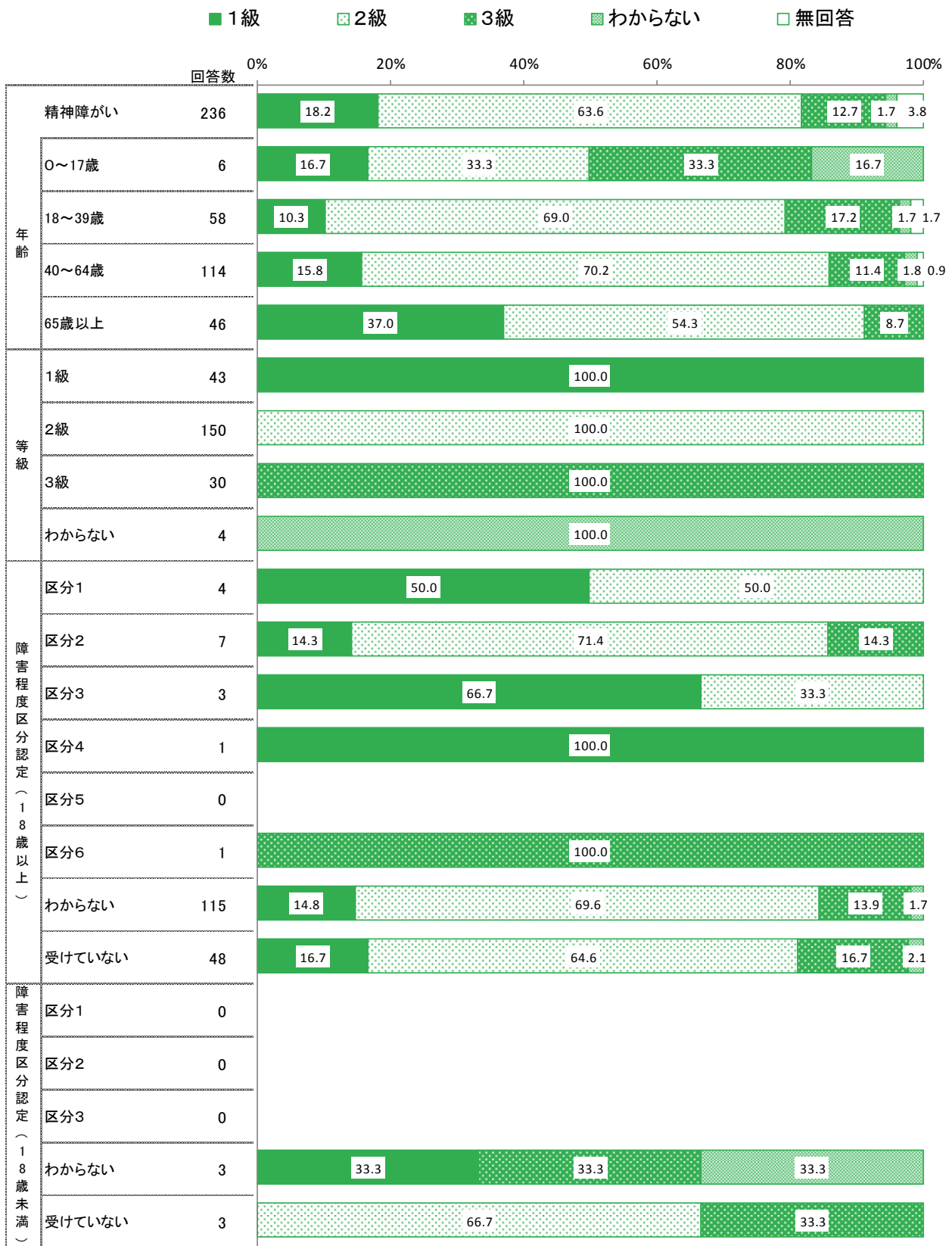




2 療育手帳



3 精神障害者保健福祉手帳

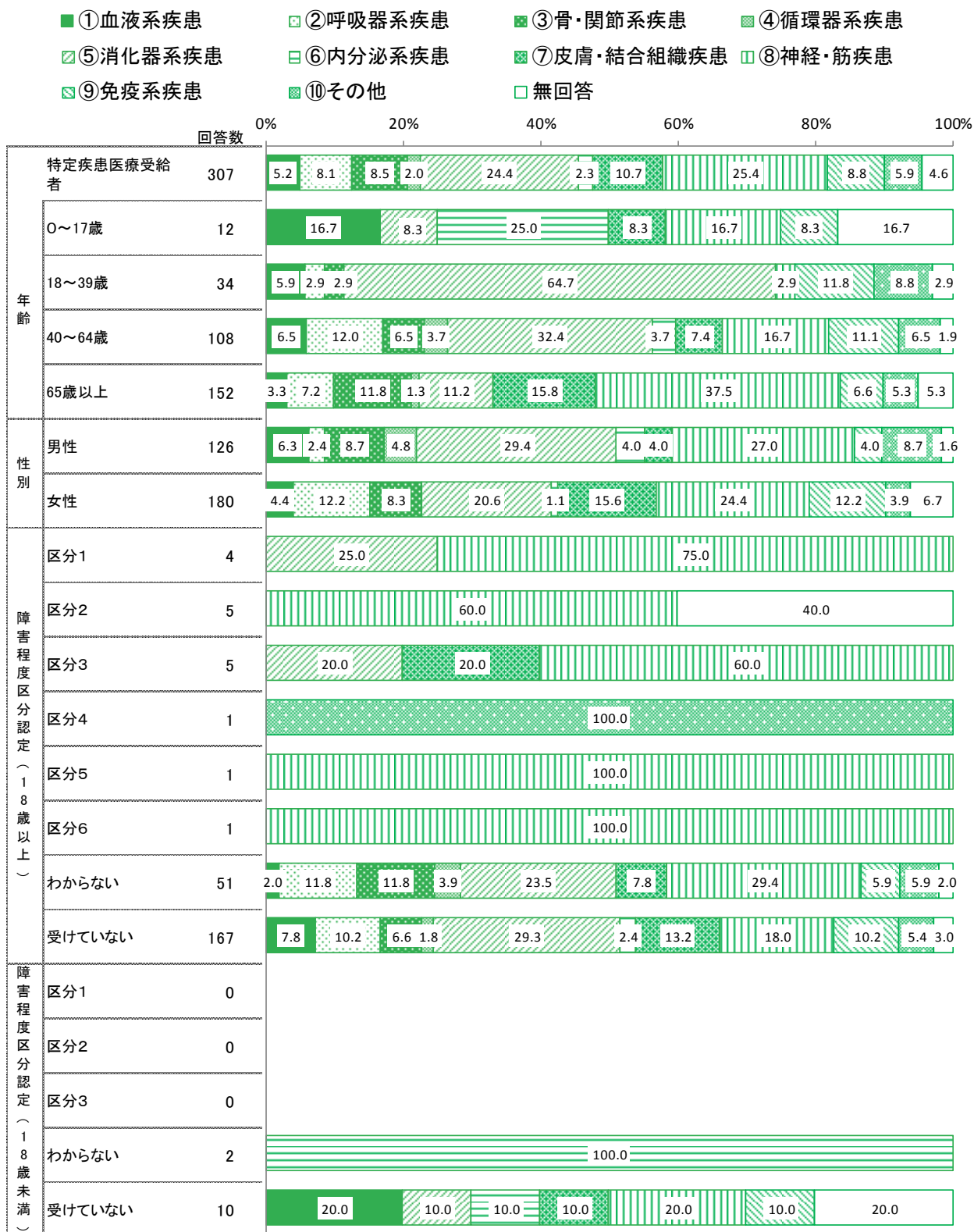


6 難病の種類（特定疾患医療受給者）

難病の種類では、「⑧神経・筋疾患」が25.4%、「⑤消化器系疾患」が24.4%とそれぞれ2割を超えています。18～39歳で⑤消化器系疾患が約6割を占めています。

現在、身体障害者手帳未所持者の、難病の方で障害福祉サービス（訓練等給付費）を受給しているのは、3人で、障害程度区分の認定を受けている方はいません。

図表 7 難病の種類



7 障害程度区分

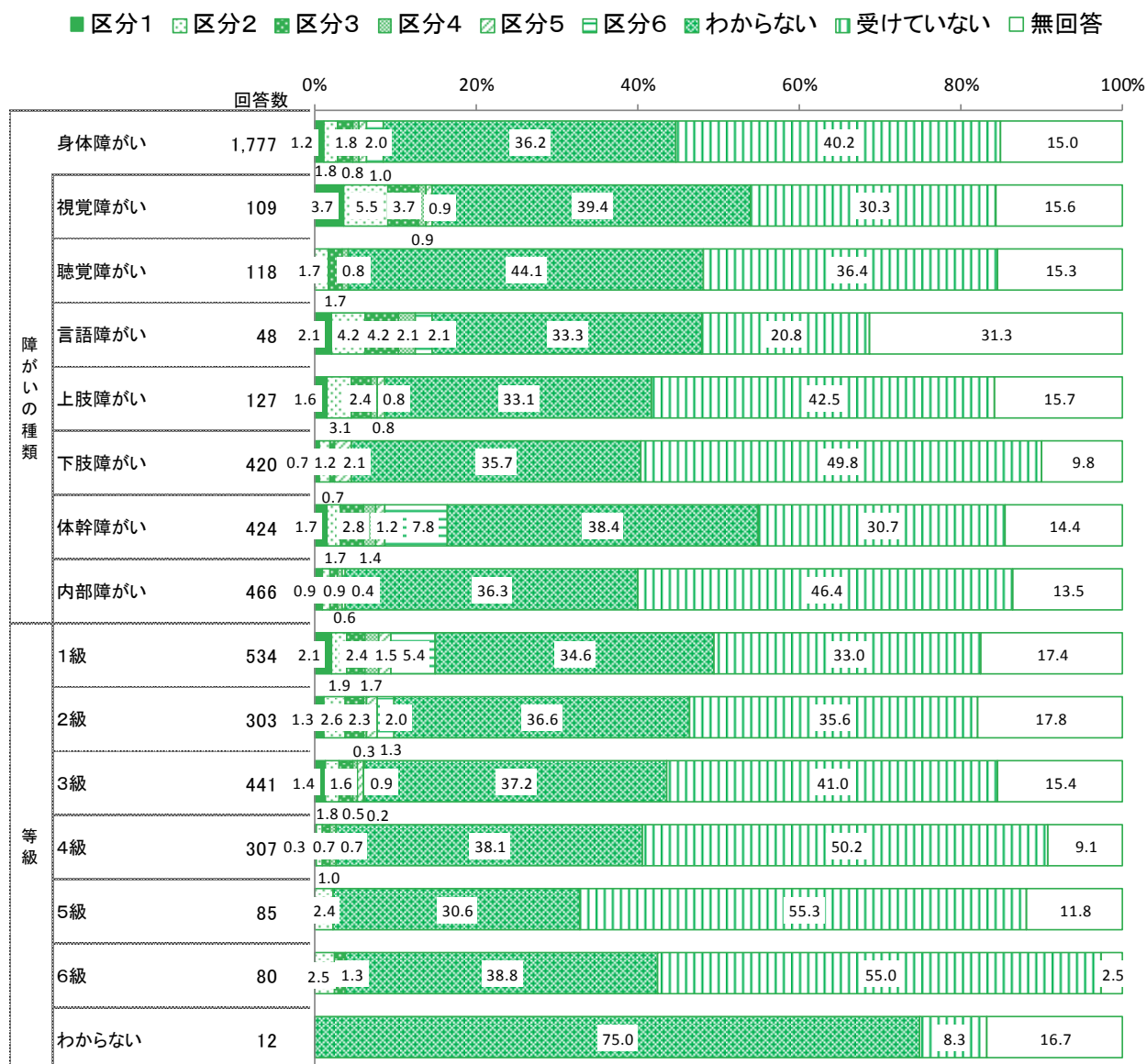
障害者総合支援法における障害程度区分は、18歳以上が区分1～6、18歳未満が区分1～3となっています。障害程度区分の認定が必要なのは、障害福祉サービスのうち介護給付の利用の方であり、訓練等給付のみ利用される場合には必要がありません。そのため、「無回答」や「受けていない」と回答された方の中には、訓練等給付のみ利用している方もいると考えられます。

(ア) 18歳以上の方

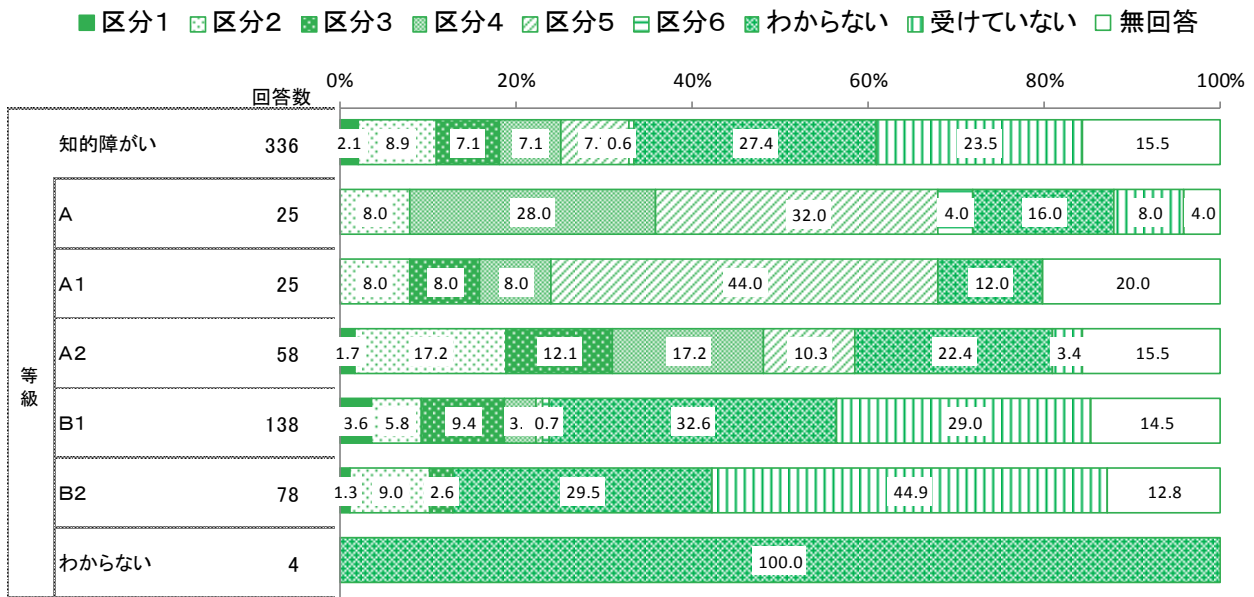
障害程度区分は身体障がい、知的障がい、精神障がいで「受けていない」「わからない」の占める割合が多くなっています。

図表 8 障害程度区分（18歳以上）

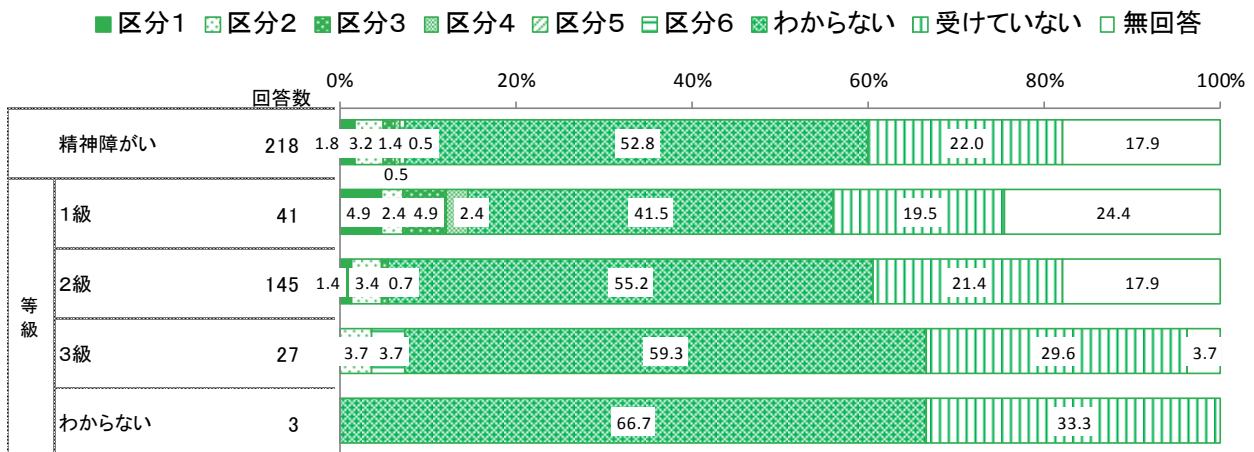
1 身体障がい



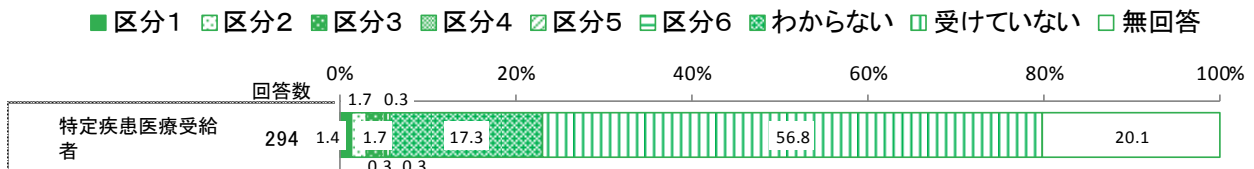
2 知的障がい



3 精神障がい



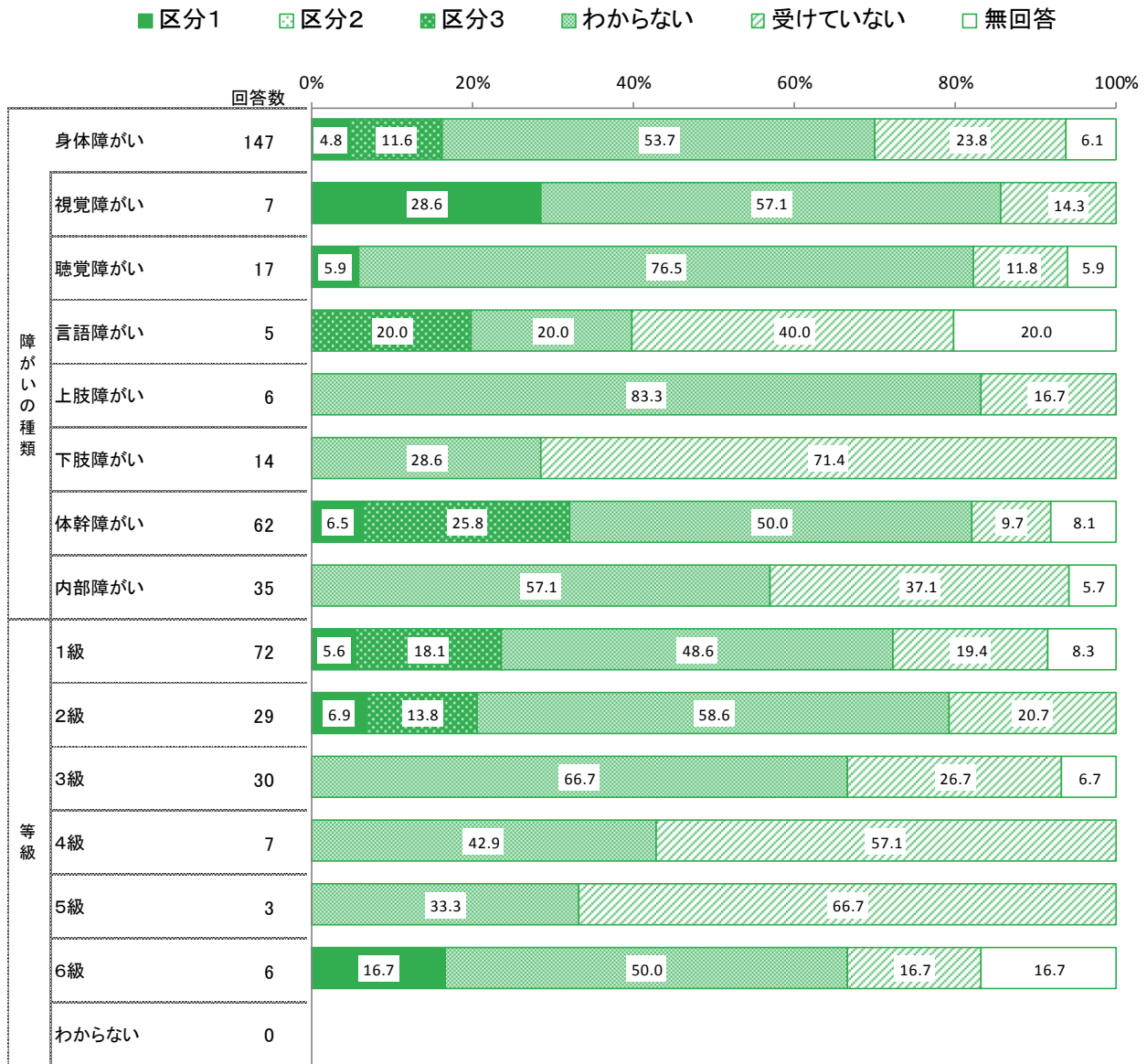
4 特定疾患医療受給者



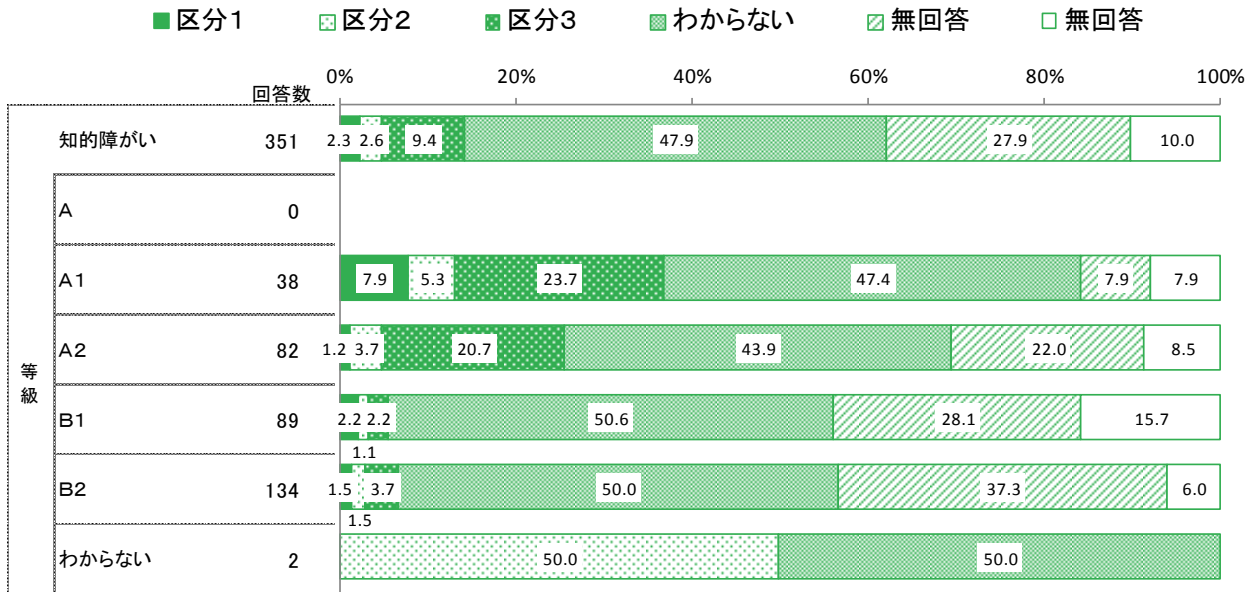
(イ) 18歳未満の方

図表 9 障害程度区分 (18歳未満)

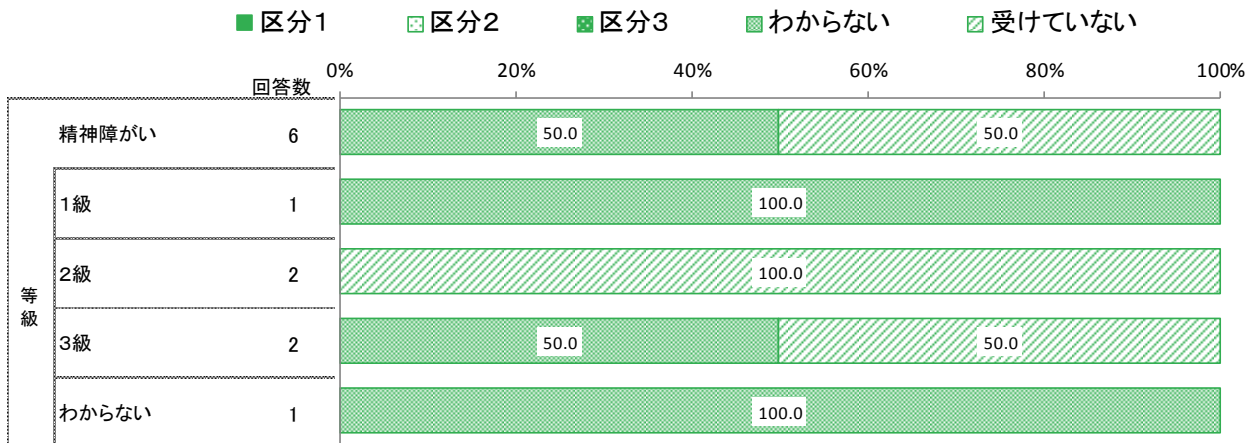
1 身体障がい



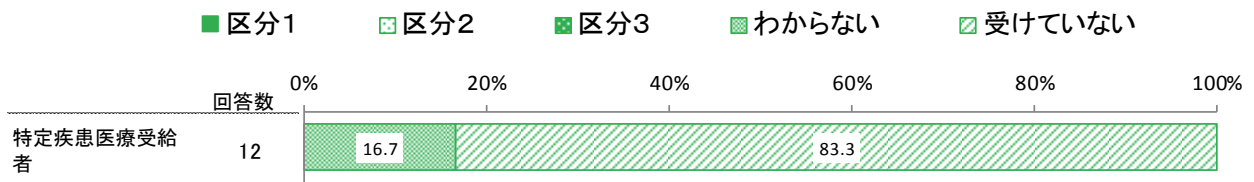
2 知的障がい



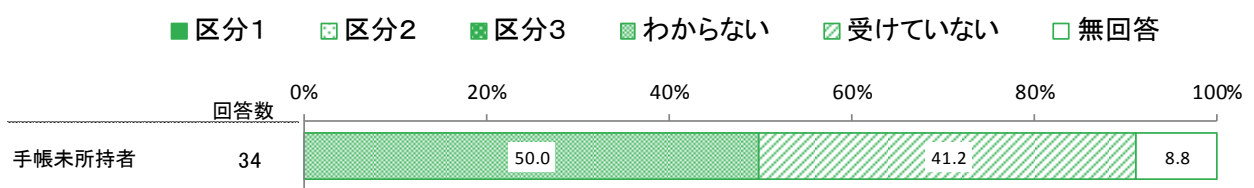
3 精神障がい



4 特定疾患医療受給者



5 手帳未所持者



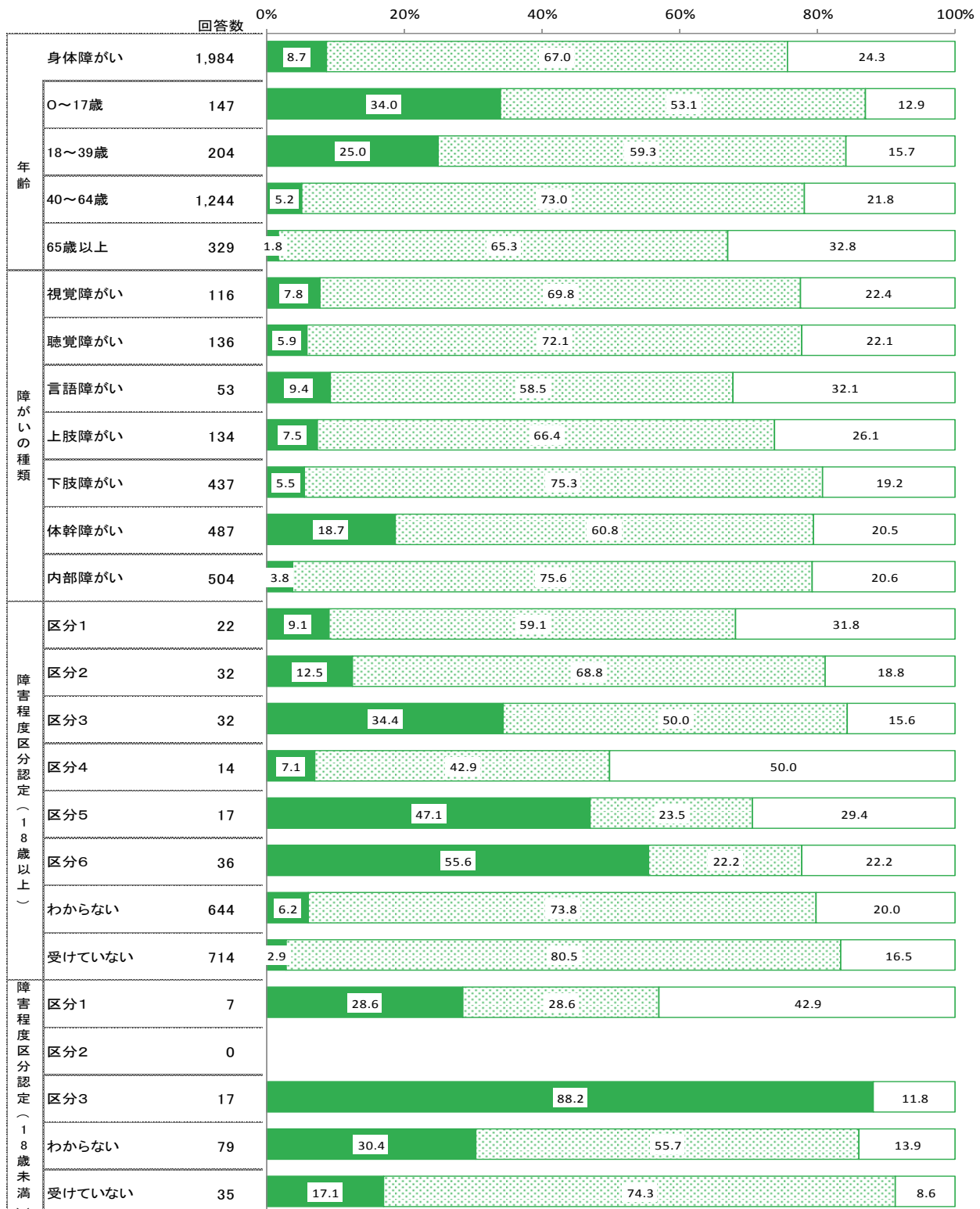
8 他的手帳の交付

他の手帳の交付については、身体障がいのある方の約1割が交付を受けていると答えています。同様に知的な障がいのある方、精神に障がいのある方ともに約1割となっています。特定疾患医療受給者は、約2割となっています。

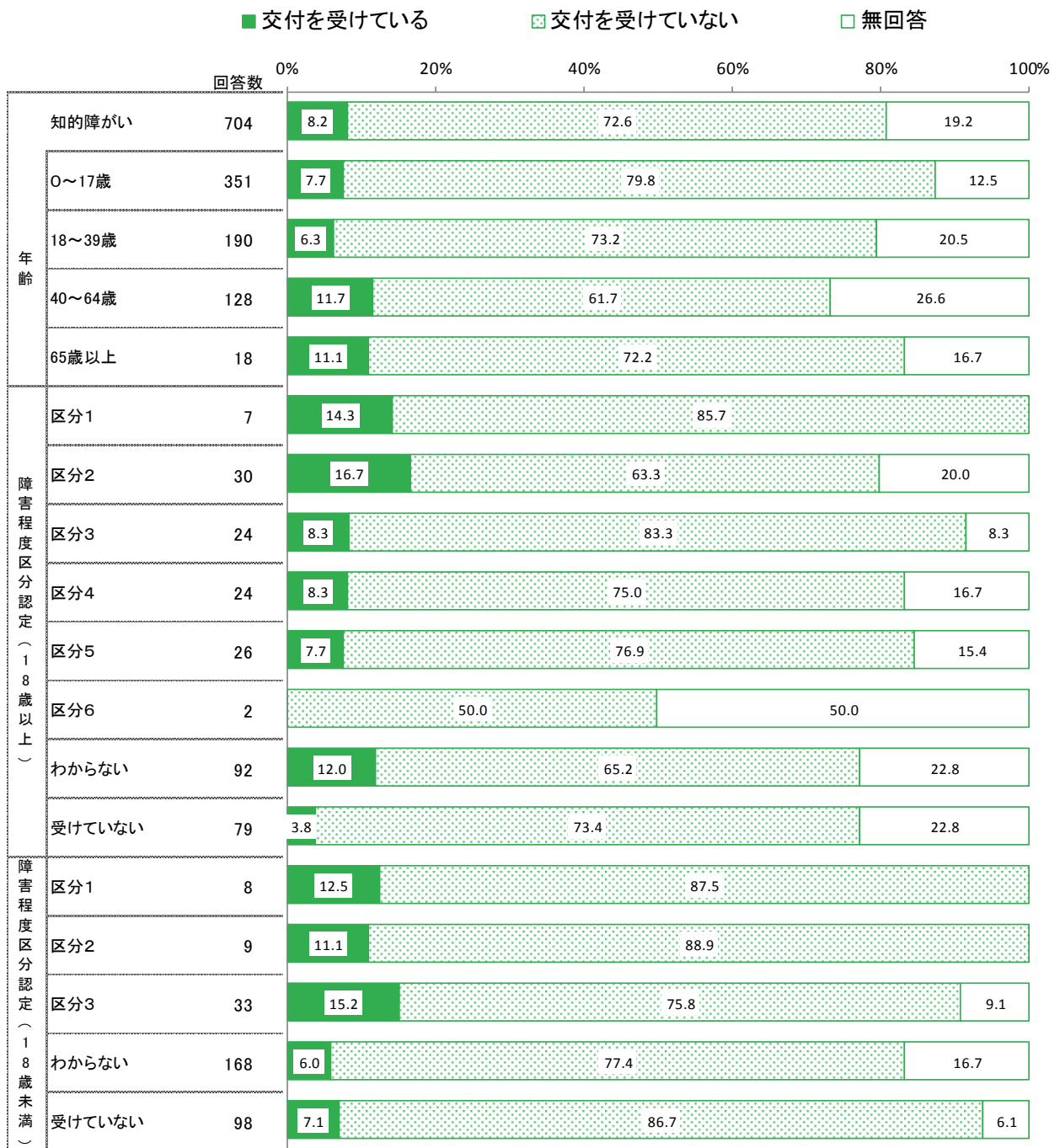
図表 10 他の手帳の交付の有無

1 身体障がい

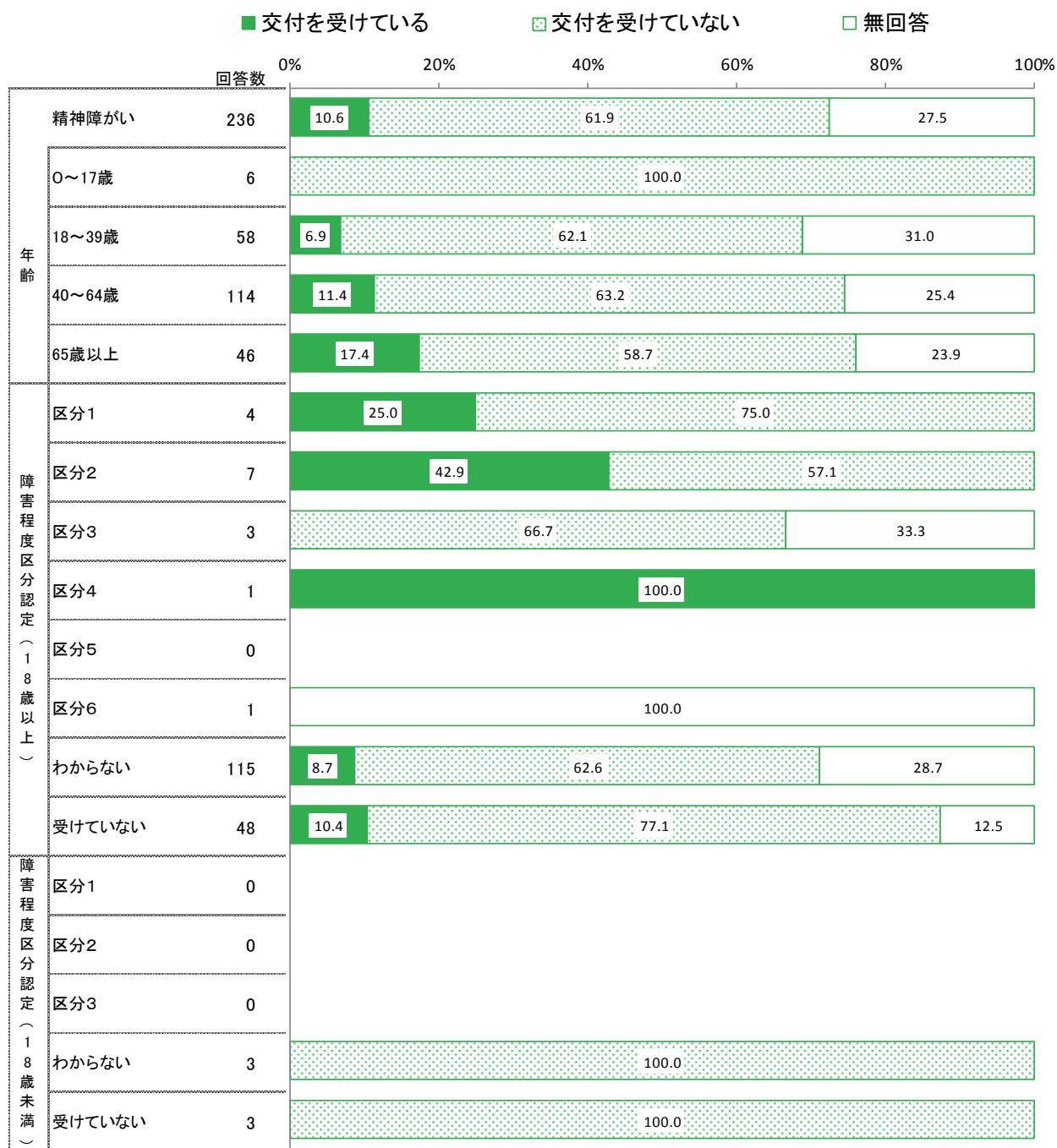
■ 交付を受けている ▨ 交付を受けていない □ 無回答



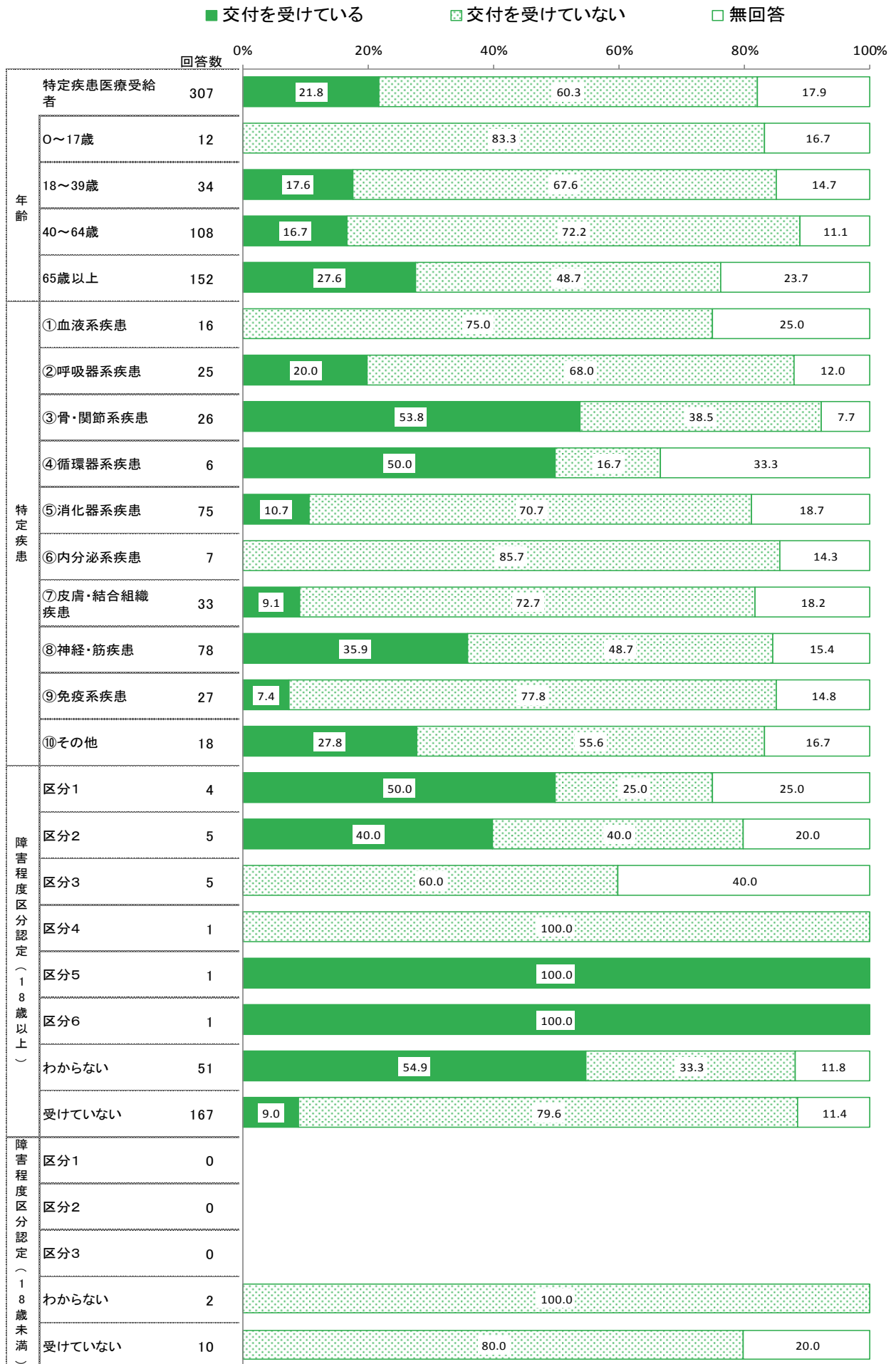
2 知的障がい



3 精神障がい



4 特定疾患医療受給者



9 他的手帳等の交付を受けている方（重複障がい）

他の交付を受けている手帳として、身体障がい者は療育手帳A 1が約3割と最も多くなっています。知的障がい者は身体障害者手帳が約7割となっています。精神障がい者は身体障害者手帳が約6割となっています。

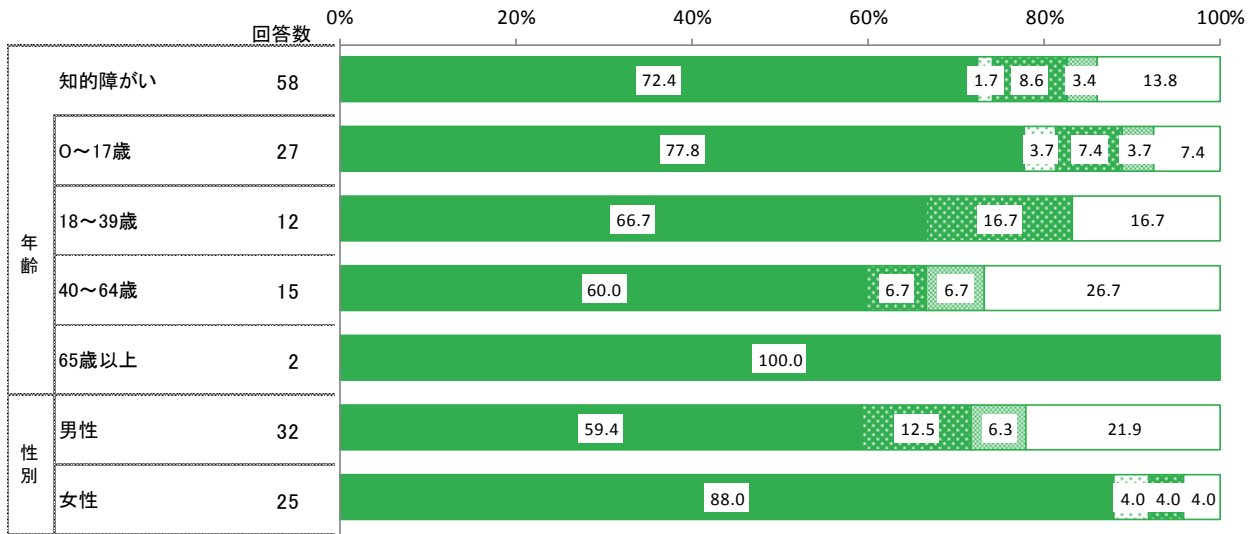
図表 11 他の交付を受けている手帳（交付を受けている方）

1 身体障がい



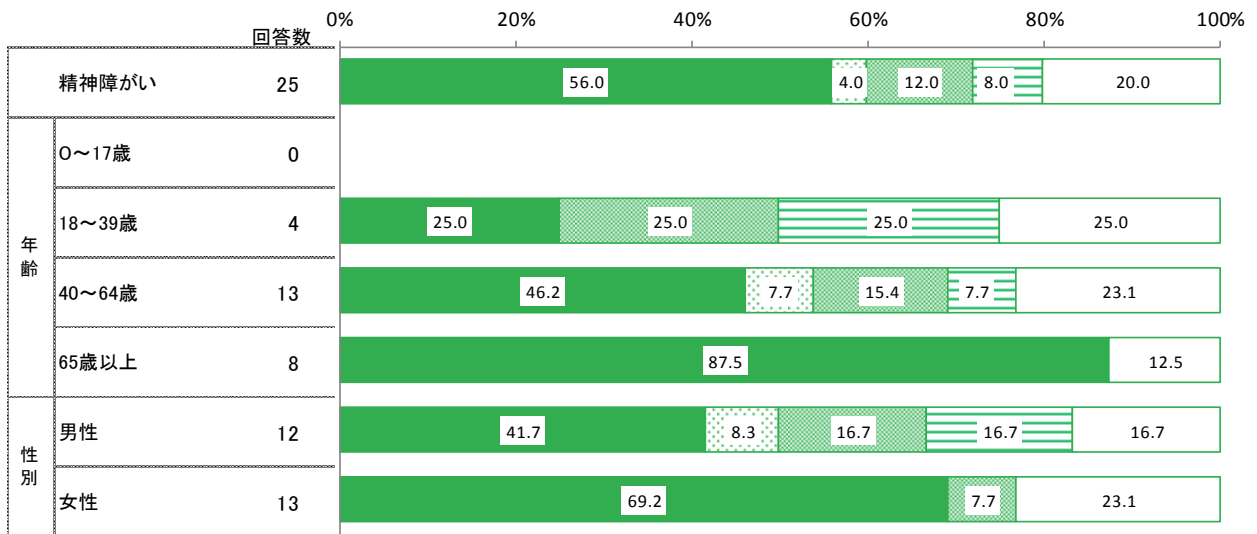
2 知的障がい

- 身体障害者手帳
- 精神障害者保健福祉手帳1級
- 精神障害者保健福祉手帳2級
- 精神障害者保健福祉手帳3級
- 無回答



3 精神障がい

- 身体障害者手帳
- 療育手帳A
- 療育手帳A 1
- 療育手帳A 2
- 療育手帳B 1
- 療育手帳B 2
- 無回答

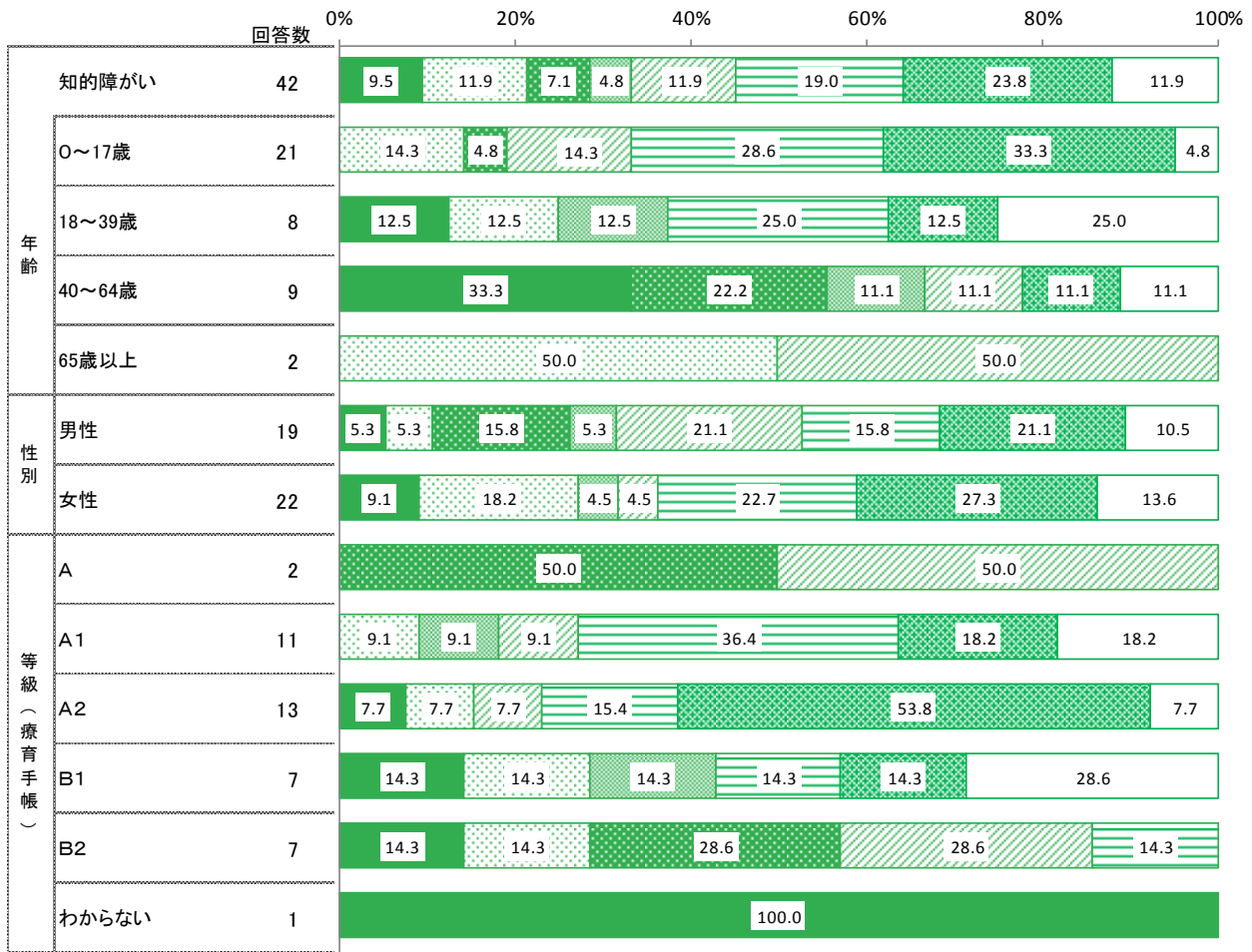


知的障がい者の重複障がいとしては、内部障がい約2割と最も多くなっています。精神障がい者についても、内部障がい約4割と最も多くなっています。特定疾患医療受給者は、肢体不自由（上肢下肢、体幹含む）が約5割となっています。

図表 12 重複障がい（身体障害者手帳の種別毎）

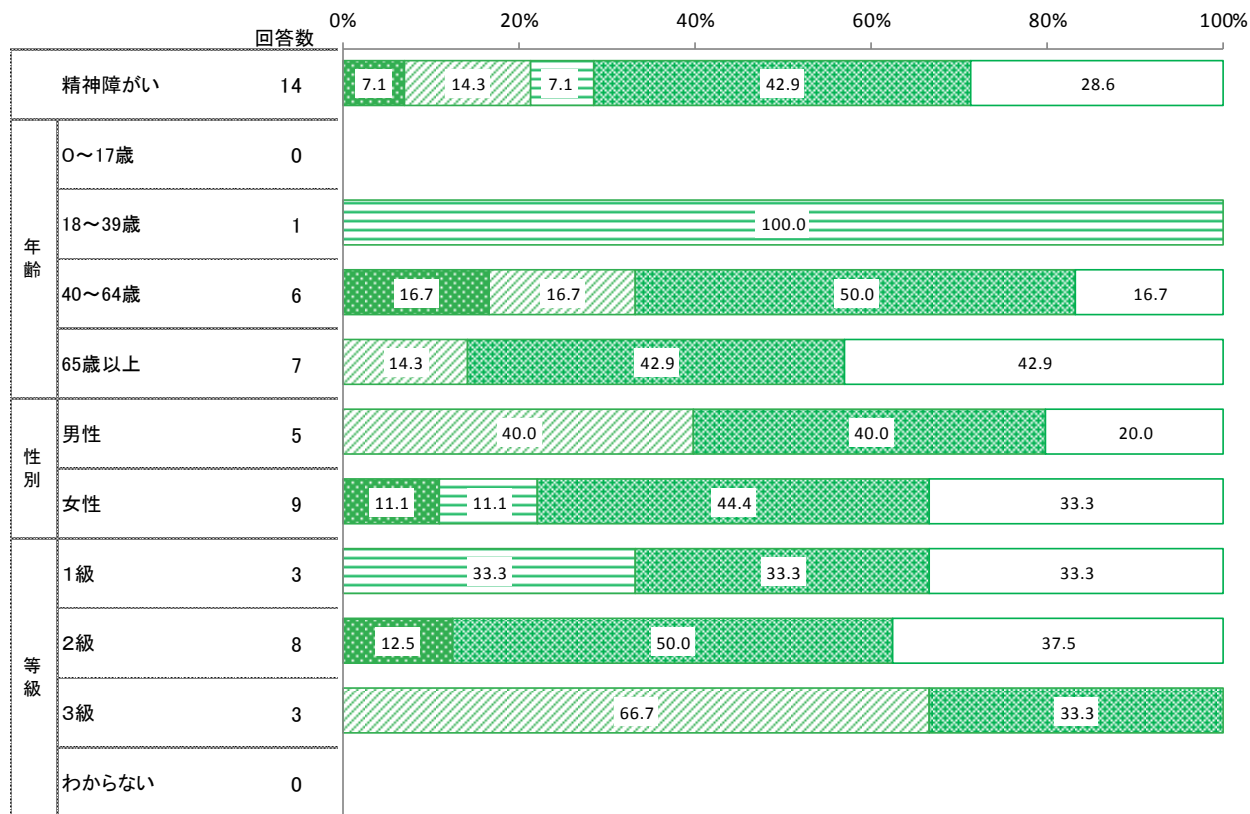
1 知的障がい

- 視覚障がい
- 音声・言語、そしゃく機能障がい
- 肢体不自由(下肢のみ)
- 内部障がい(1～6以外)
- 聴覚障がい、平衡機能障がい
- 肢体不自由(上肢のみ)
- 肢体不自由(上肢・下肢両方、体幹を含む)
- 無回答



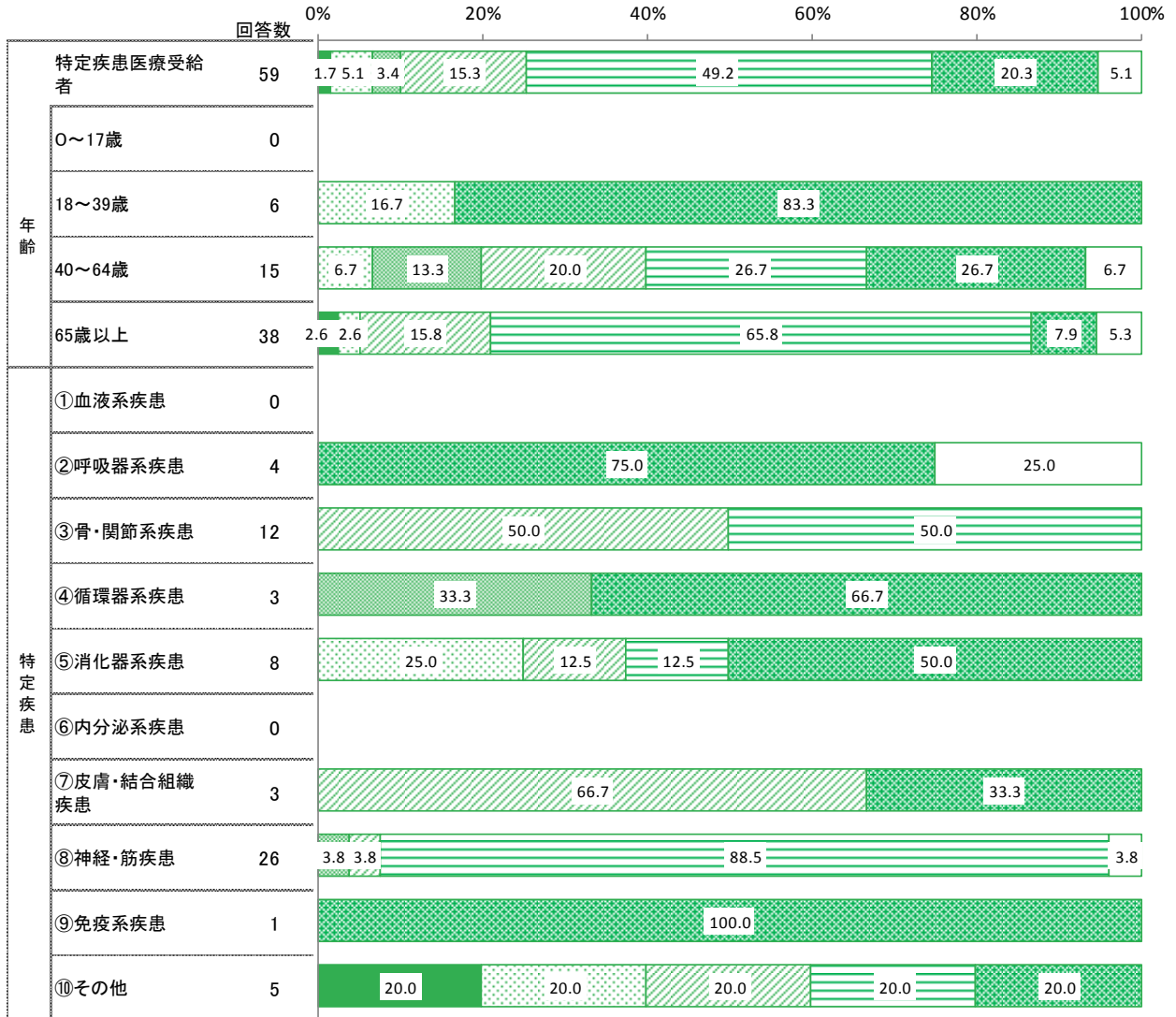
2 精神障がい

- 視覚障がい
- 音声・言語、そしゃく機能障がい
- 肢体不自由(下肢のみ)
- 内部障がい(1～6以外)
- 聴覚障がい、平衡機能障がい
- 肢体不自由(上肢のみ)
- 肢体不自由(上肢・下肢両方、体幹を含む)
- 無回答



3 特定疾患医療受給者

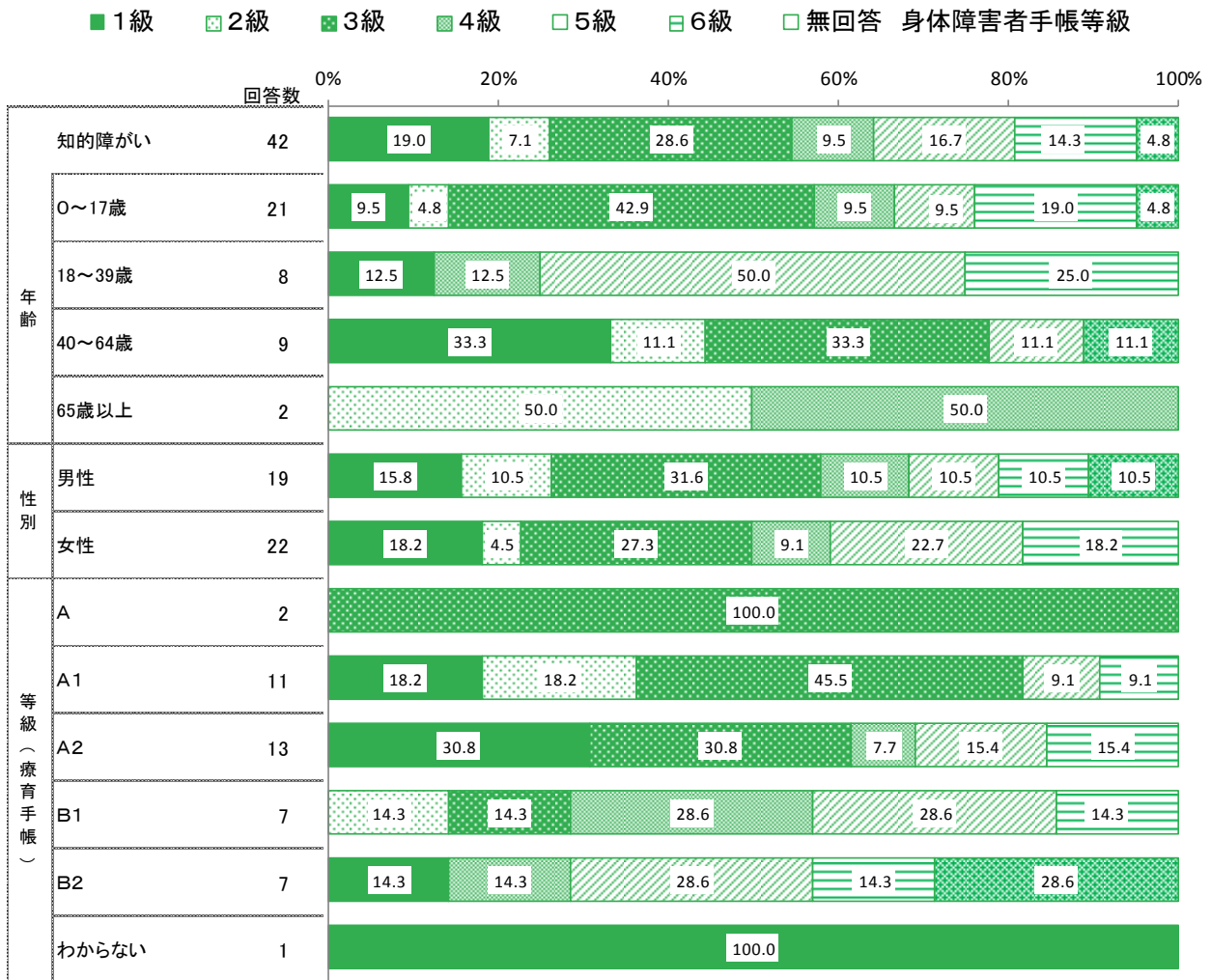
- 視覚障がい
- 音声・言語、そしやく機能障がい
- 肢体不自由(下肢のみ)
- 内部障がい(1~6以外)
- 聴覚障がい、平衡機能障がい
- 肢体不自由(上肢のみ)
- 肢体不自由(上肢・下肢両方、体幹を含む)
- 無回答



知的障がい者のうち身体障害者手帳3級の所持者が28.6%と最も多くなっています。精神障がい者は2級が42.9%、特定疾患医療受給者は2級が25.4%と最も多くなっています。

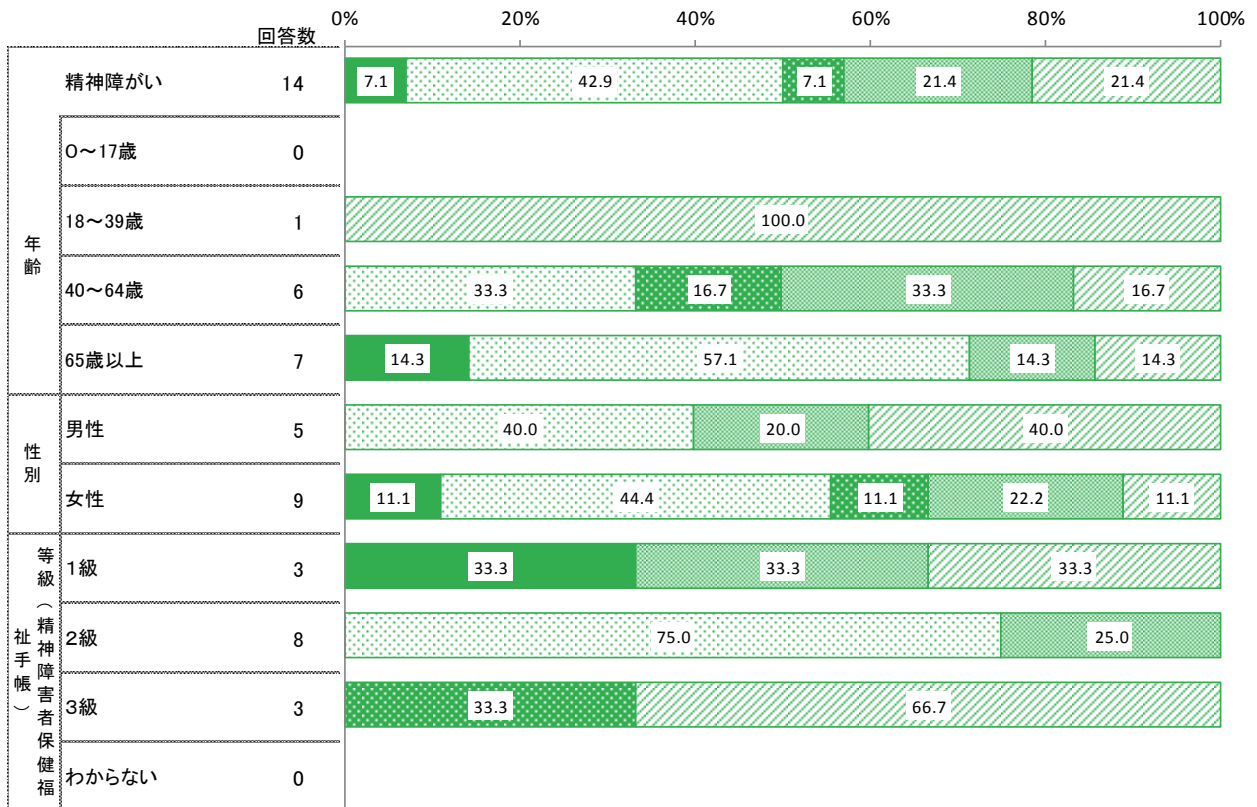
図表 13 重複障がい（身体障害者手帳の等級）

1 知的障がい



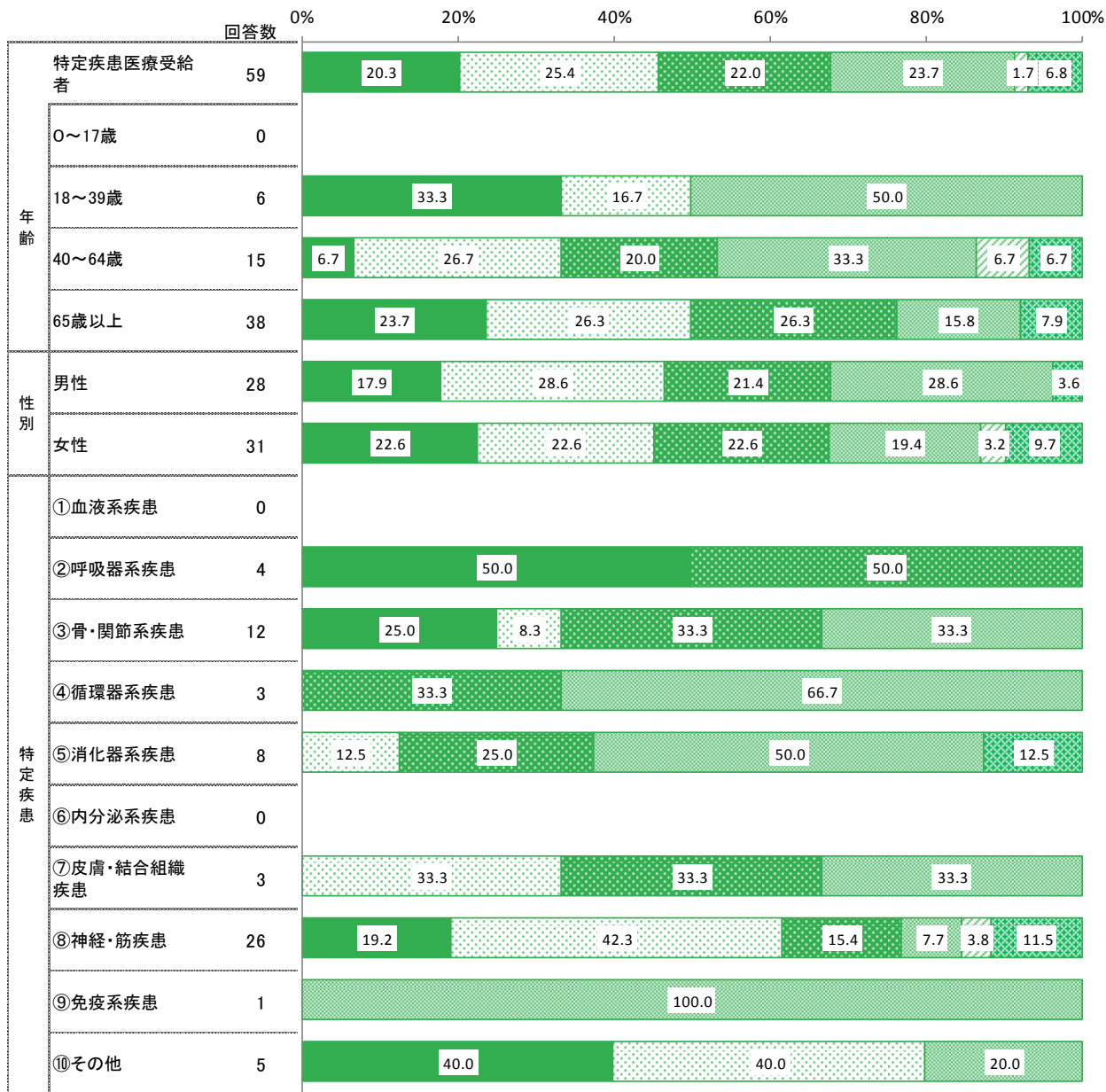
2 精神障がい

■ 1級 ■ 2級 ■ 3級 ■ 4級 □ 5級 □ 6級 身体障害者手帳等級



3 特定疾患医療受給者

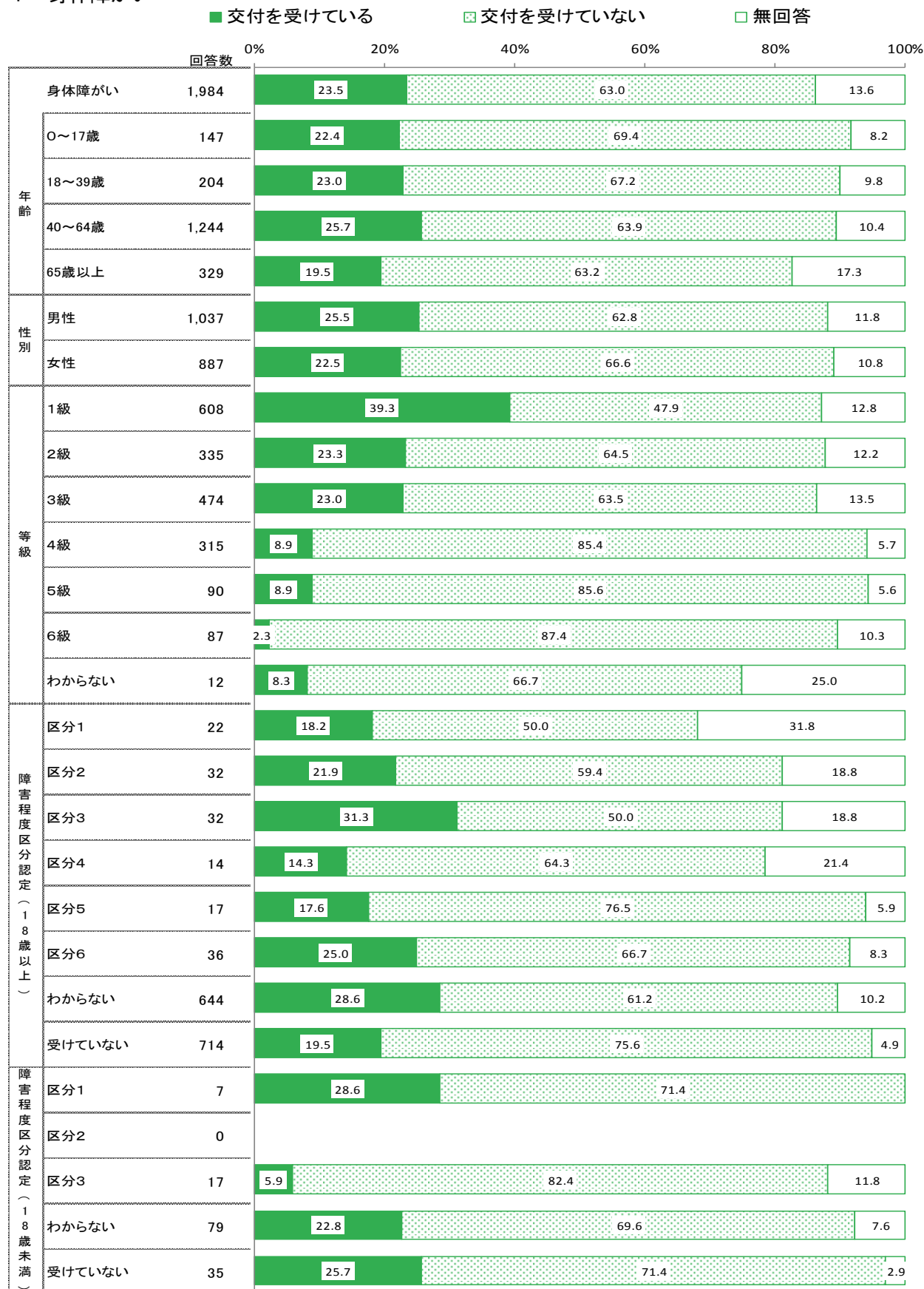
■ 1級 ■ 2級 ■ 3級 ■ 4級 □ 5級 ■ 6級 □ 無回答 身体障害者手帳等級



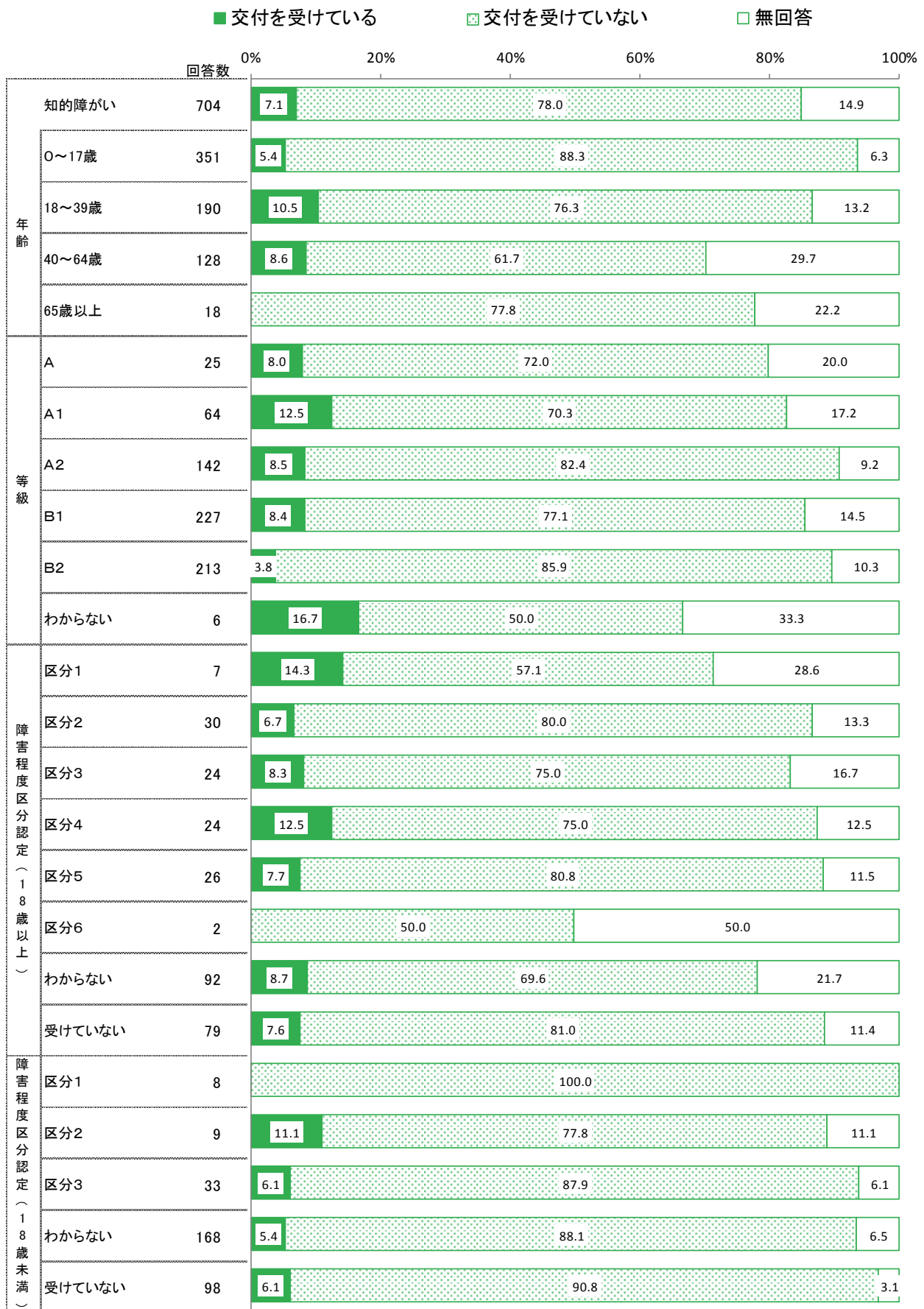
特定疾患医療受給者証の交付については、身体障がい者は 23.5%、知的障がい者は 7.1%、精神障がい者は 22.0%となっています。

図表 14 特定疾患医療受給者証の交付の有無

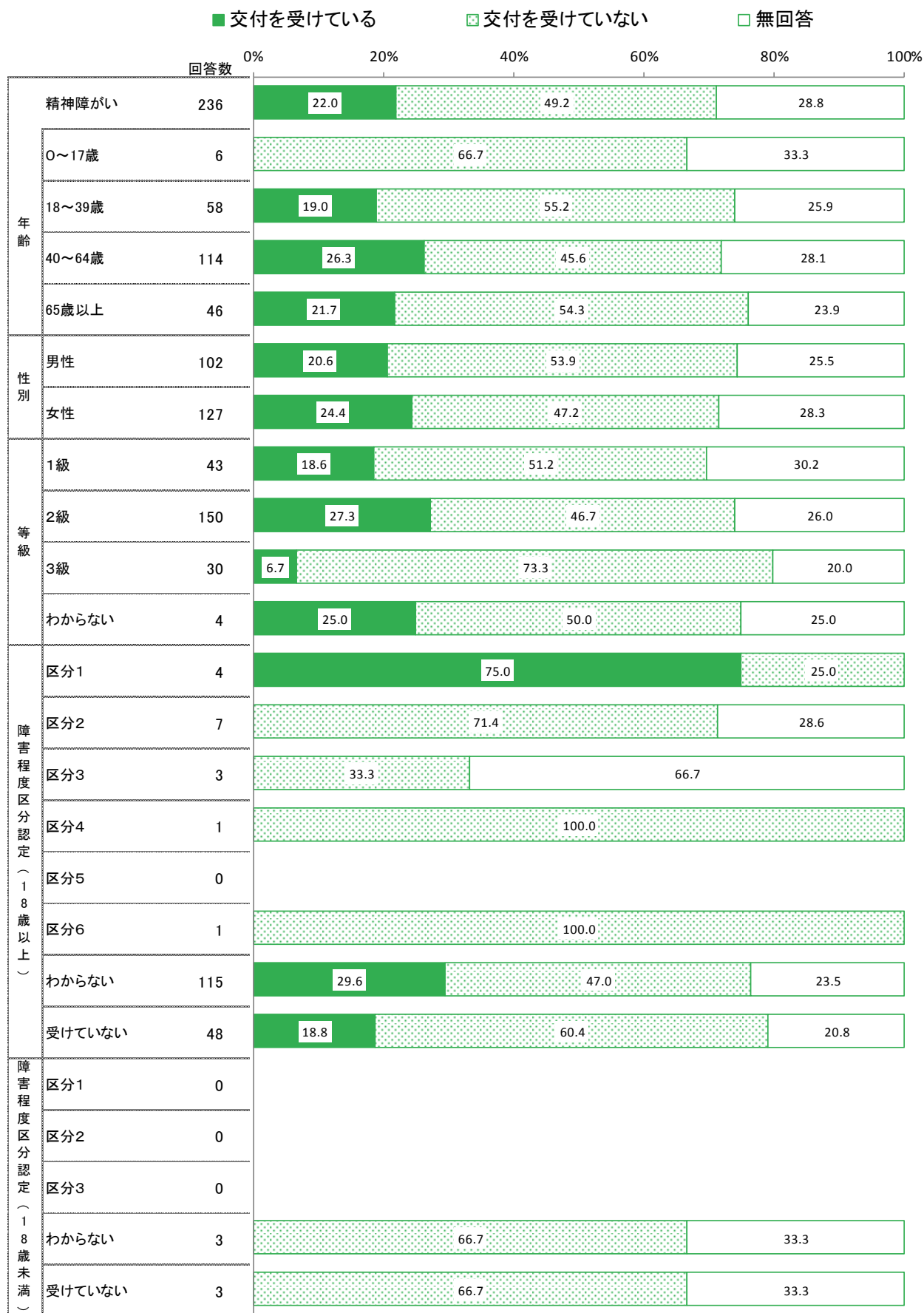
1 身体障がい



2 知的障がい



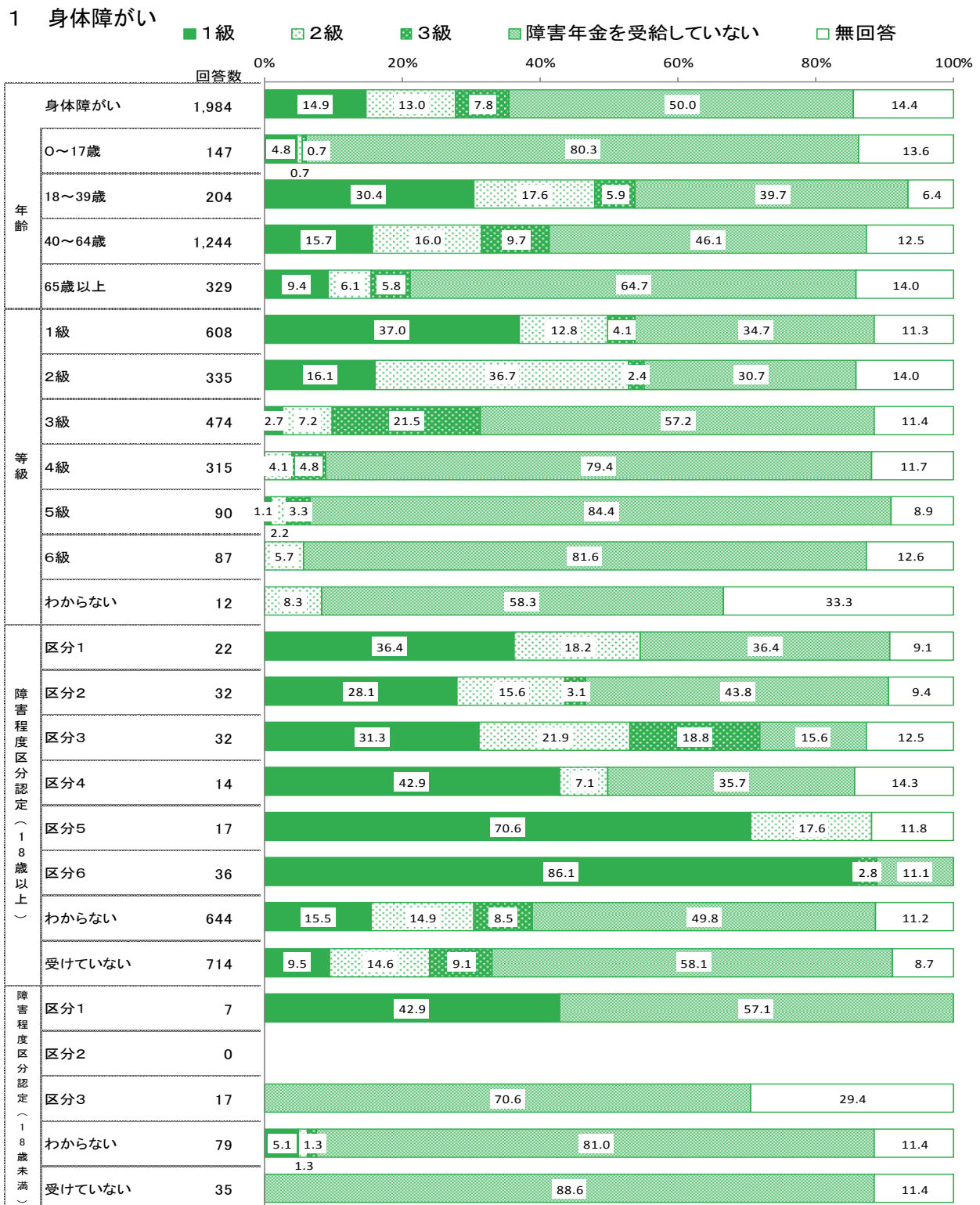
3 精神障がい



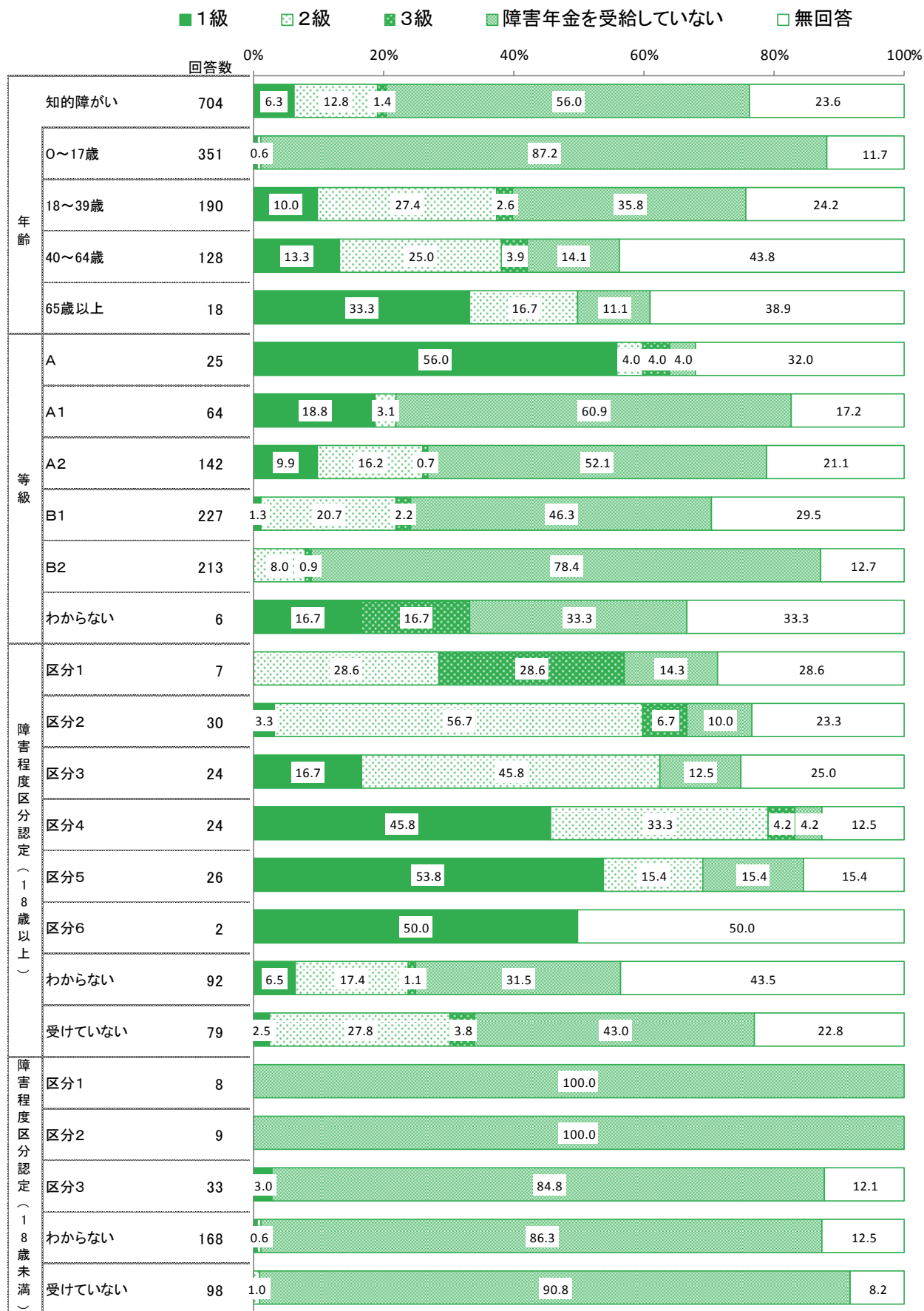
10 障害年金の等級

障害年金の等級は、身体障がい者は 35.7%が障害年金受給者で、1 級の人割合が 14.9%と最も多くなっています。知的障がい者は 20.5%が受給者で、2 級の人割合が 12.8%と最も多くなっています。精神障がい者は 54.3%が受給者で 2 級の人割合が 41.1%と多くなっています。特定疾患医療受給者は受給者の割合は 6.6%と少数となっています。

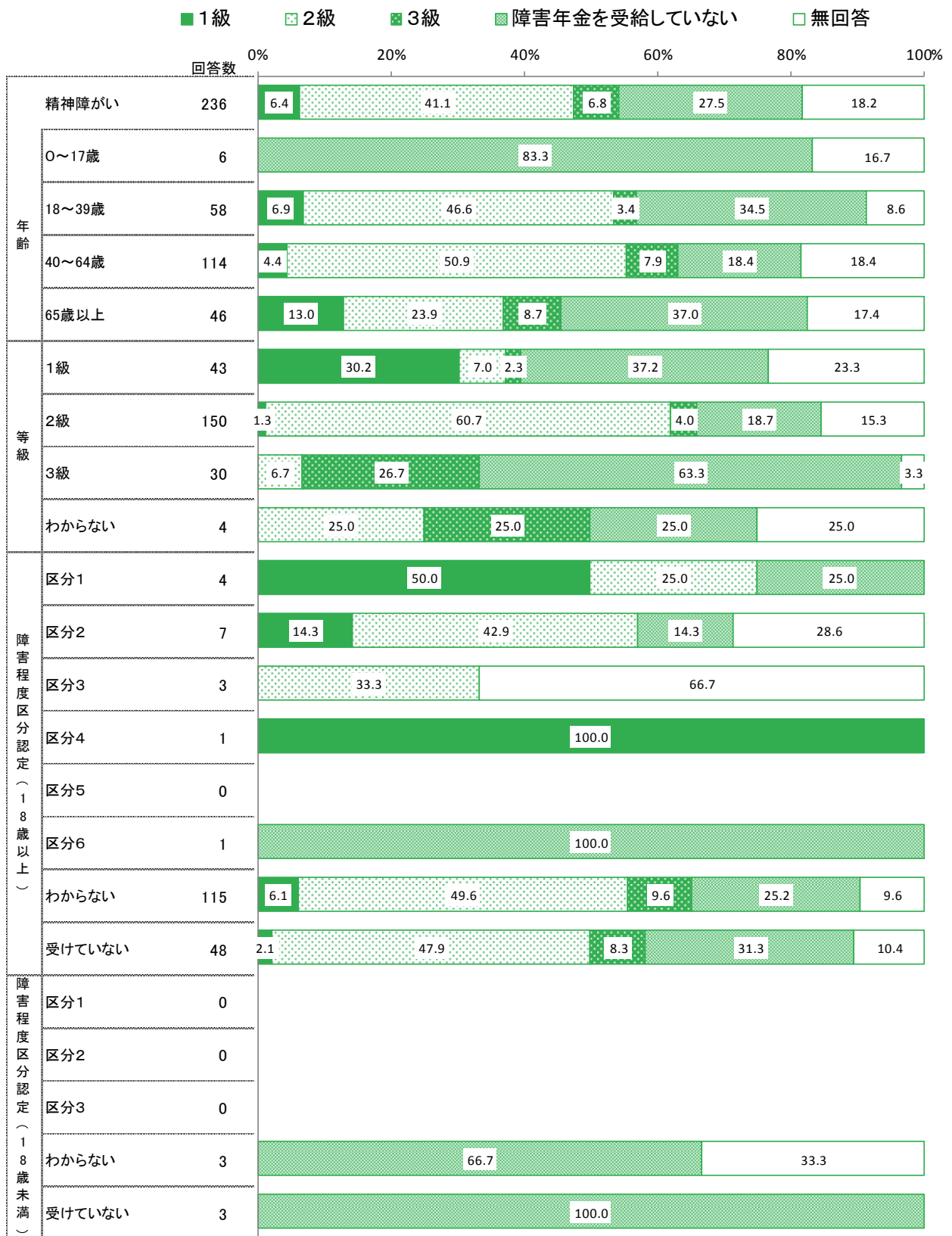
図表 15 障害年金の等級



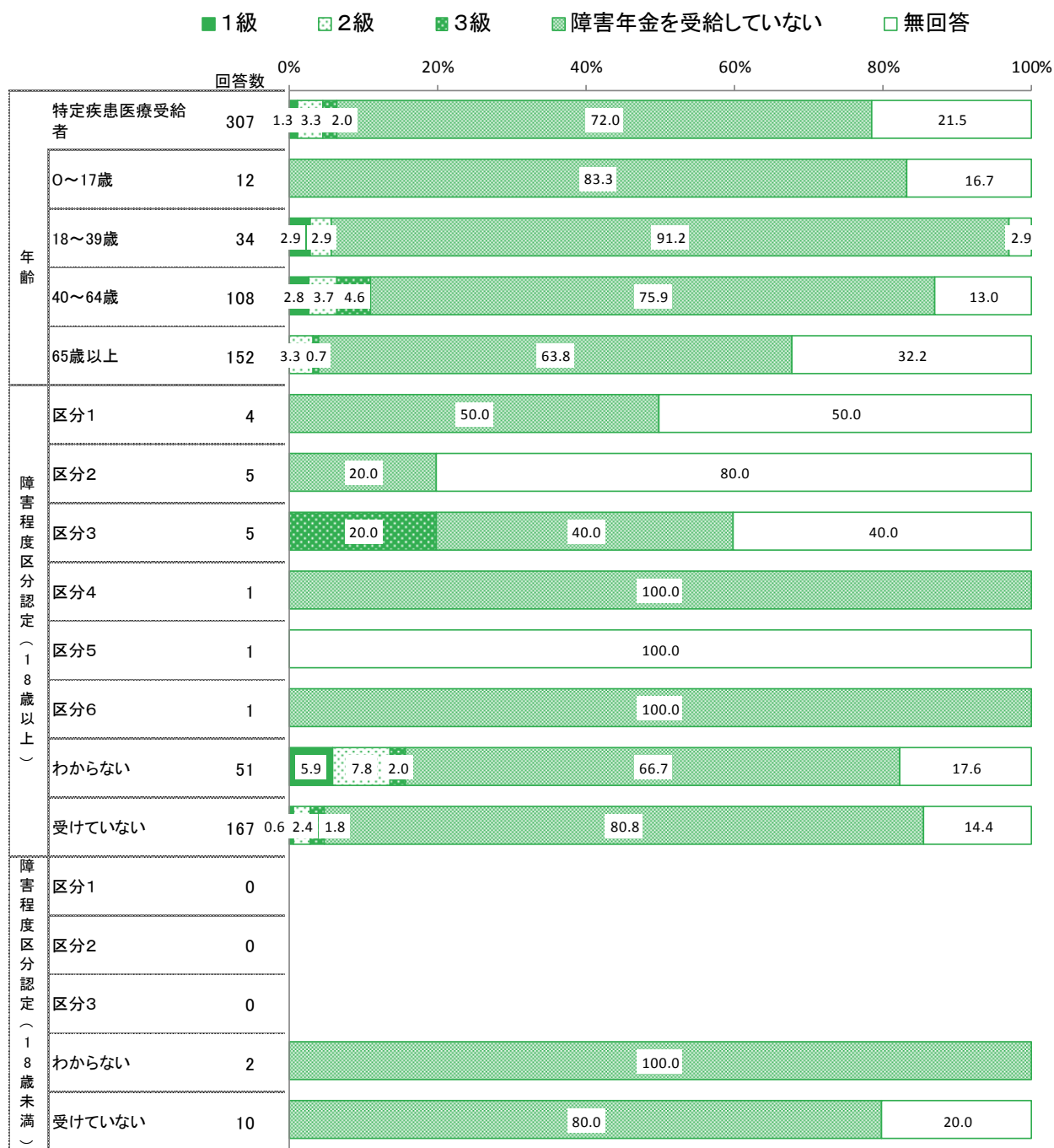
2 知的障がい



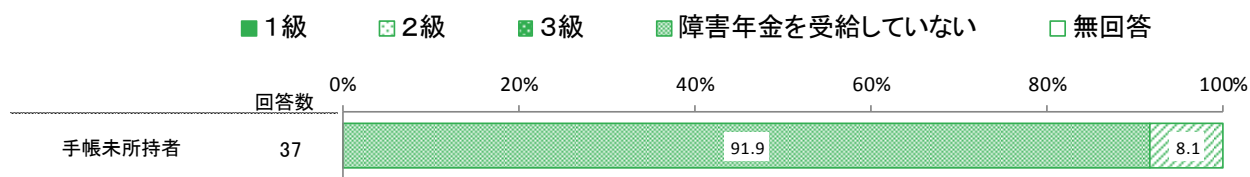
3 精神障がい



4 特定疾患医療受給者



5 手帳未所持者

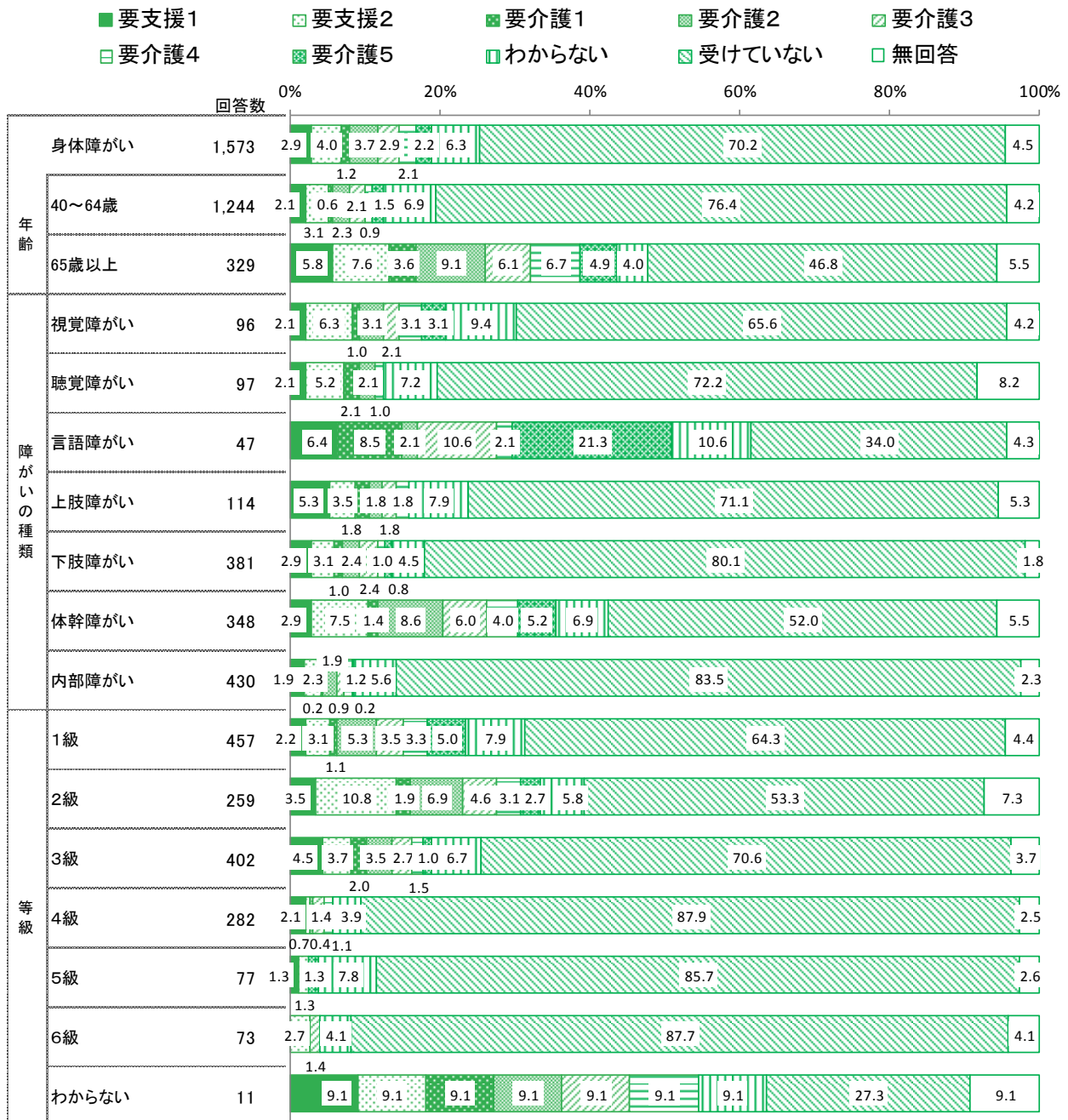


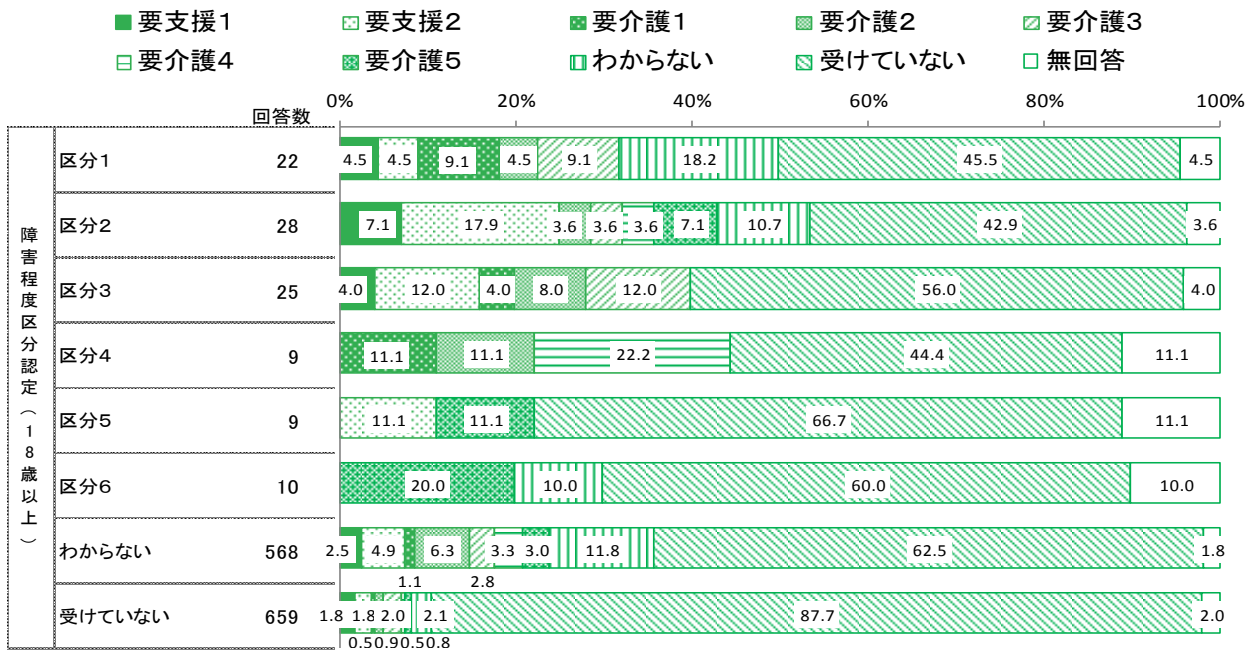
11 要介護認定

要介護認定は、身体障がい者は19.0%、知的障がい者は4.2%、精神障がい者は18.2%、特定疾患医療受給者は27.3%とそれぞれ認定を受けています。

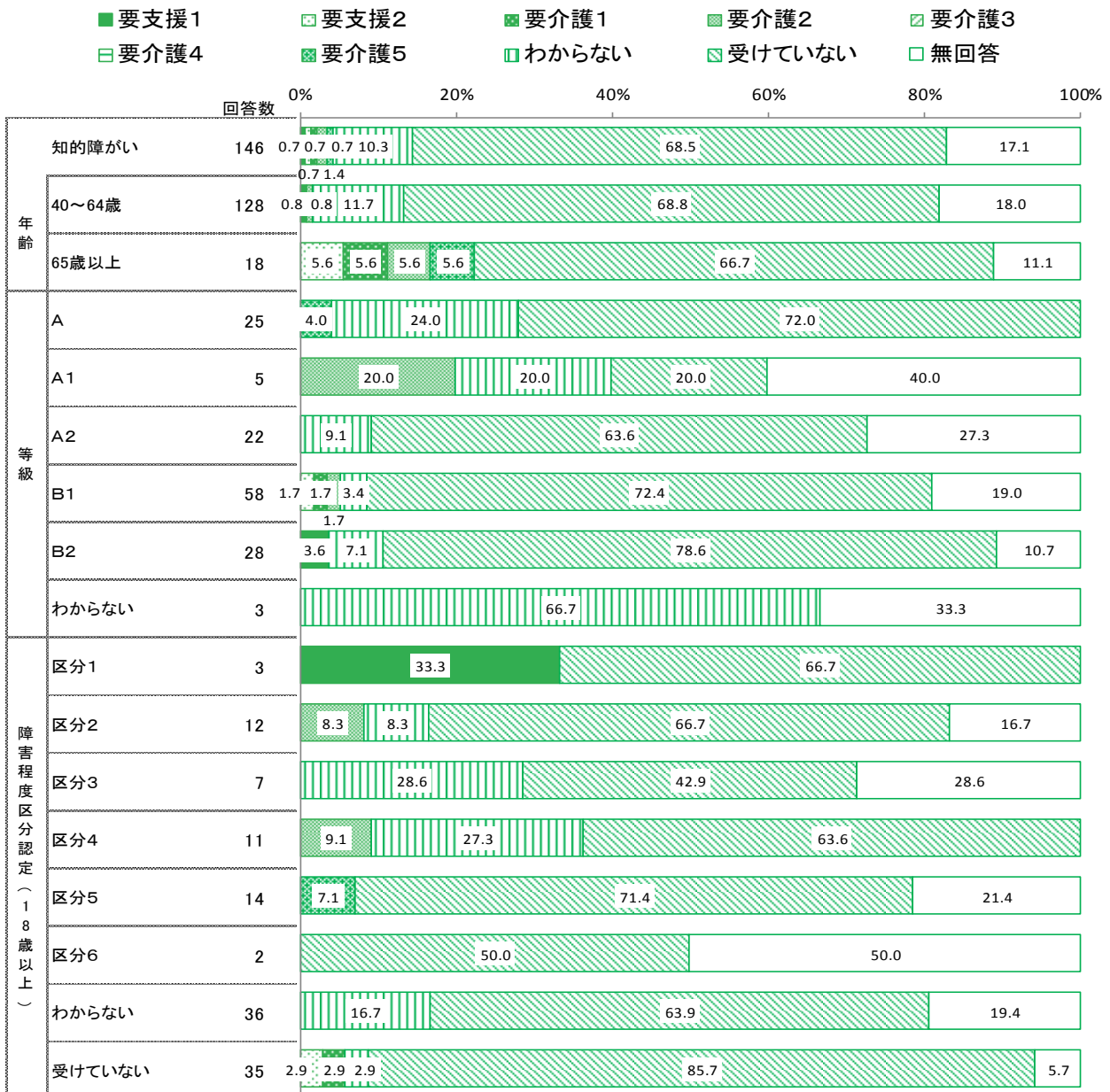
図表 16 要介護認定

1 身体障がい



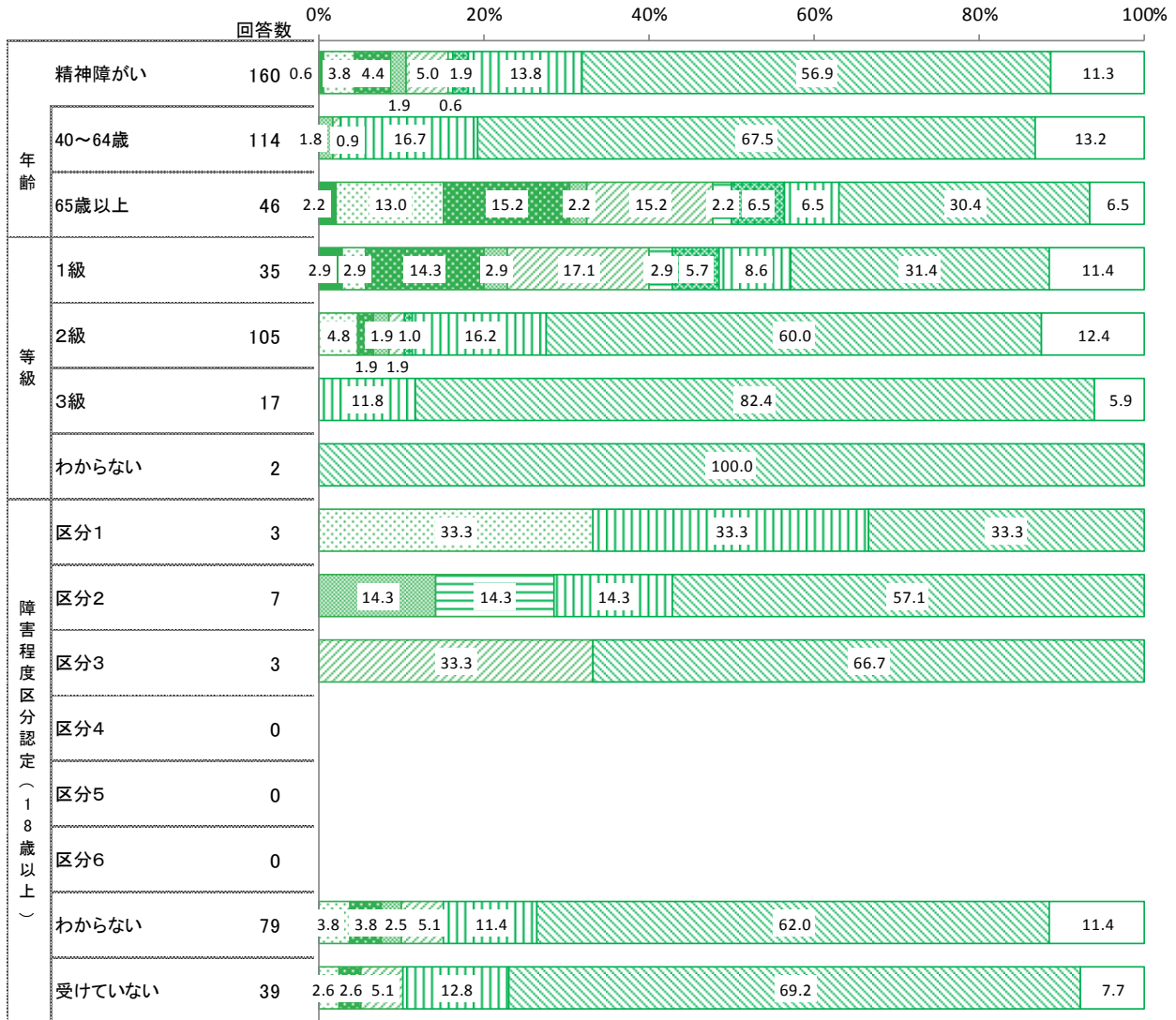


2 知的障がい



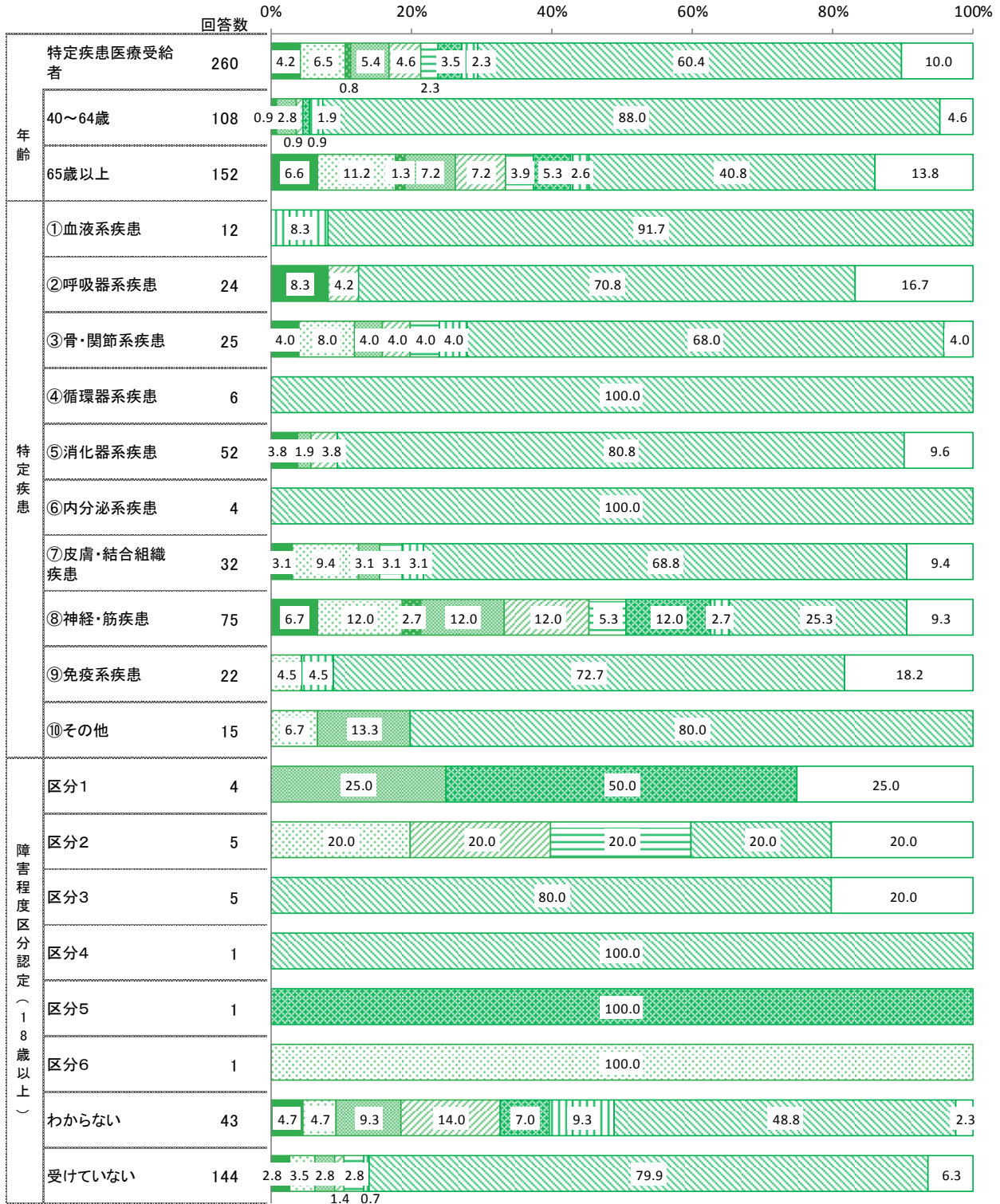
3 精神障がい

- 要支援1
- 要支援2
- 要介護1
- 要介護2
- 要介護3
- 要介護4
- 要介護5
- わからない
- 受けていない
- 無回答



4 特定疾患医療受給者

■ 要支援1 ▨ 要支援2 ▩ 要介護1 ▧ 要介護2 ▦ 要介護3
▤ 要介護4 ▥ 要介護5 □ わからない ▨ 受けていない □ 無回答

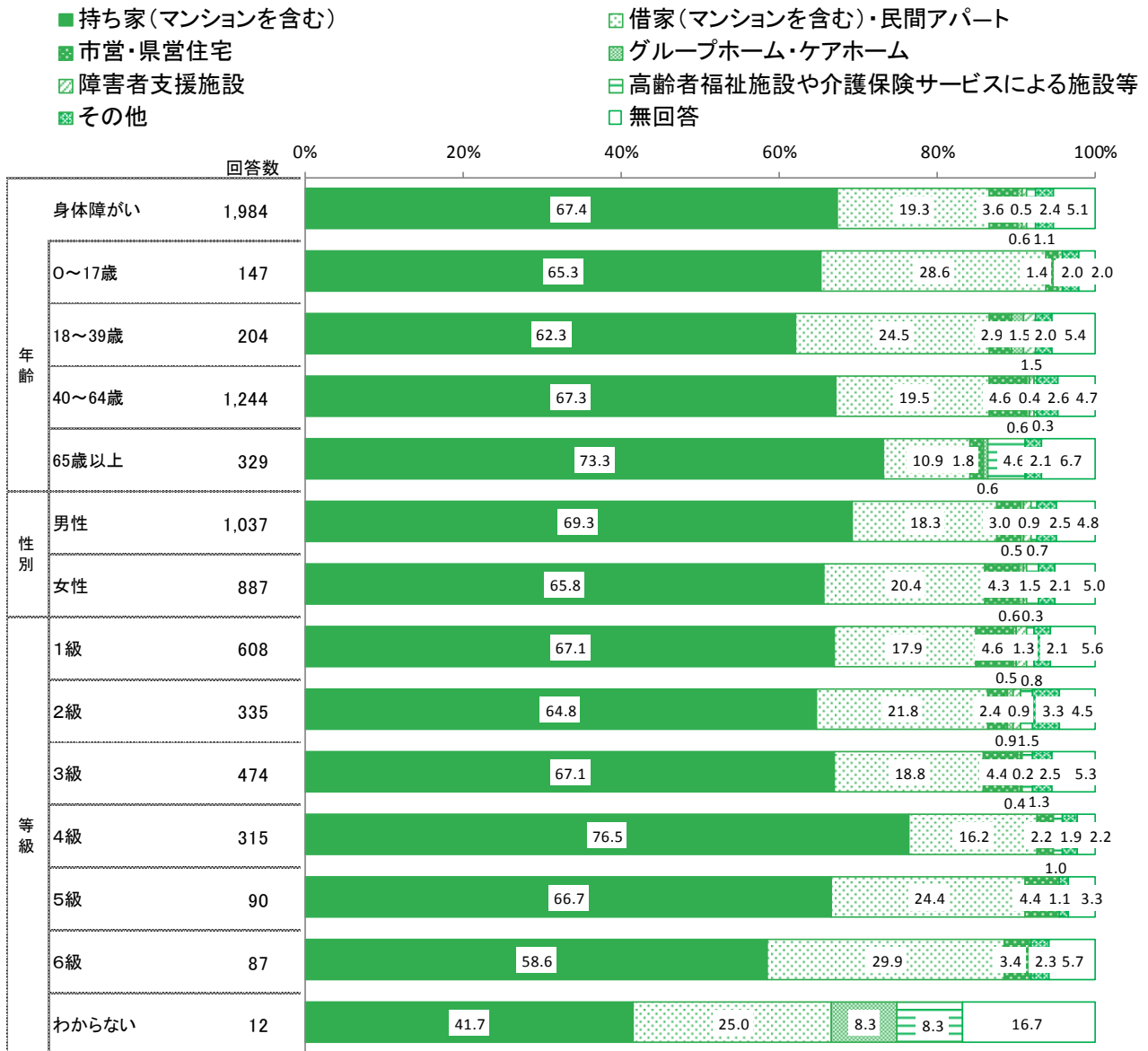


12 住まい

住まいについては持ち家の割合が多く、身体障がい者は 67.4%、知的障がい者は 56.3%、精神障がい者は 49.2%、特定疾患医療受給者は 78.2%、手帳未所持者は 59.5% となっています。

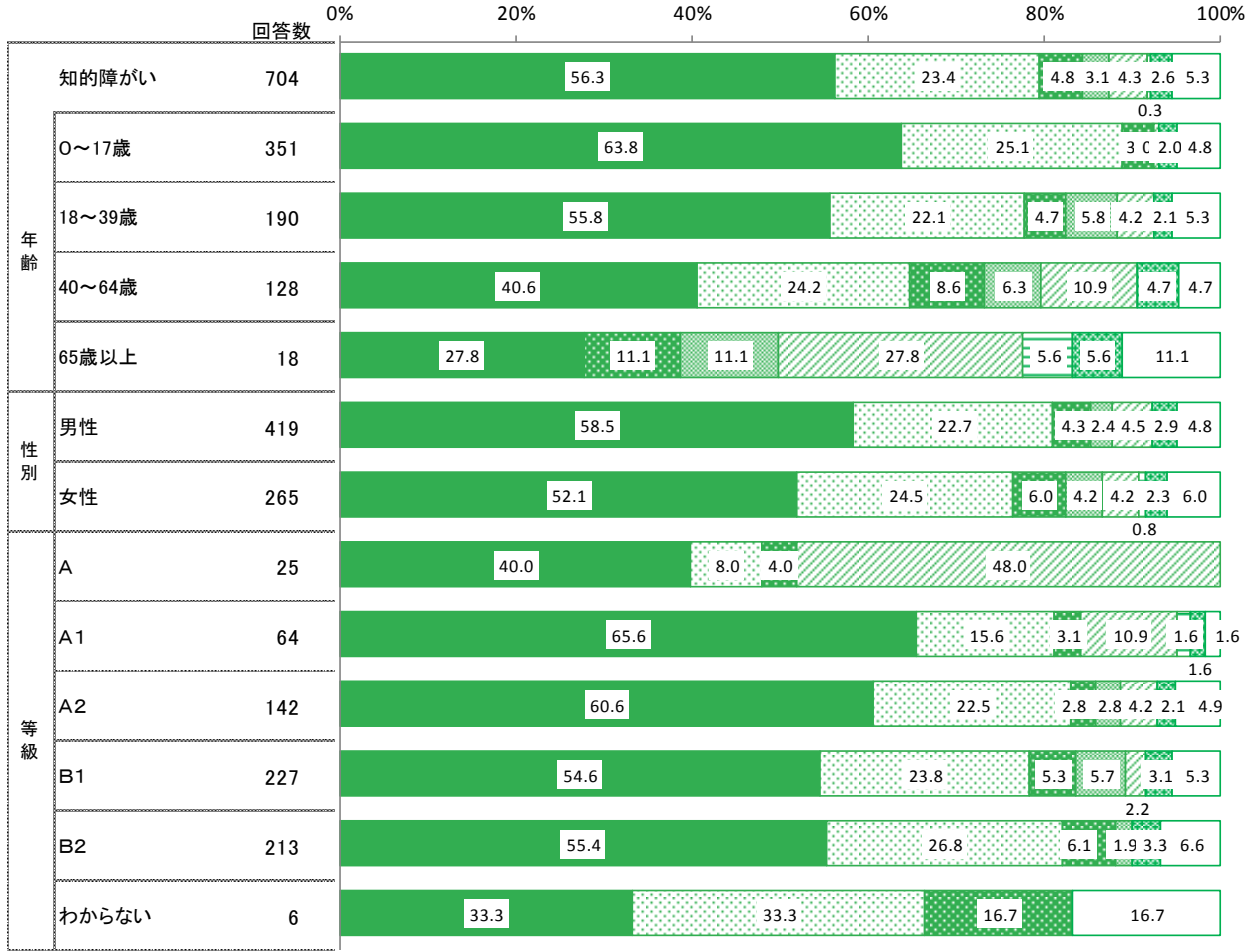
図表 17 住まい

1 身体障がい



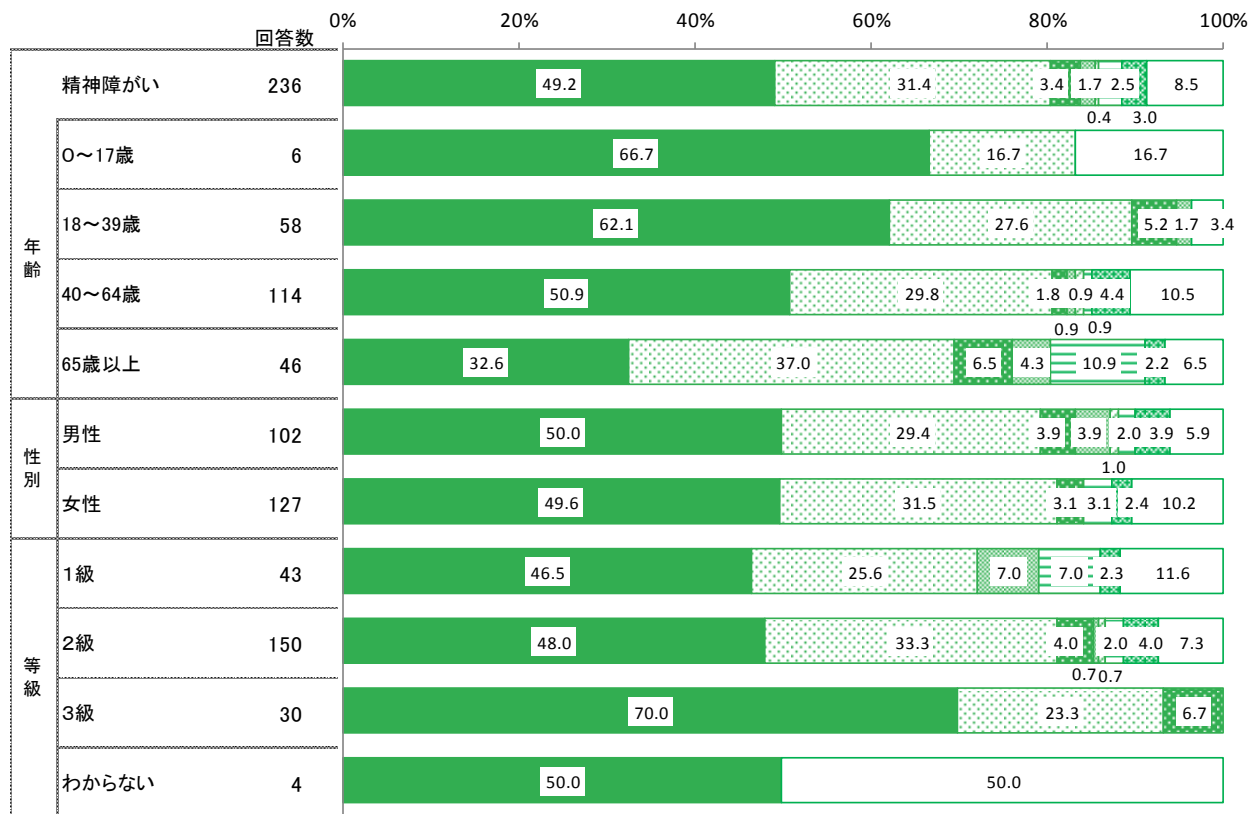
2 知的障がい

- 持ち家(マンションを含む)
- 市営・県営住宅
- 障害者支援施設
- その他
- 借家(マンションを含む)・民間アパート
- グループホーム・ケアホーム
- 高齢者福祉施設や介護保険サービスによる施設等
- 無回答



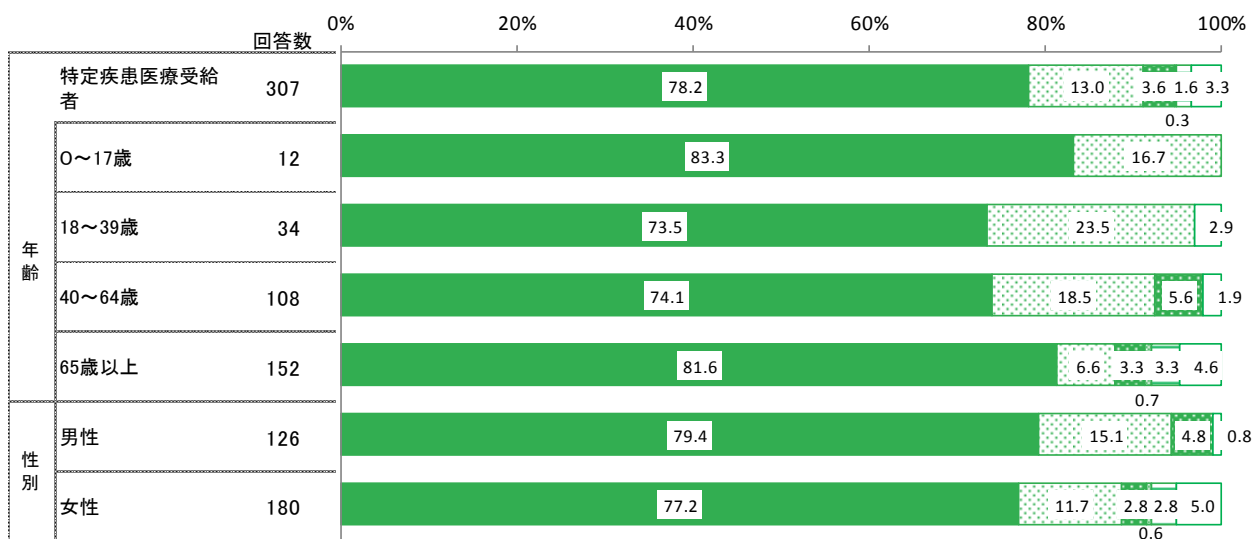
3 精神障がい

- 持ち家(マンションを含む)
- 市営・県営住宅
- 障害者支援施設
- その他
- 借家(マンションを含む)・民間アパート
- グループホーム・ケアホーム
- 高齢者福祉施設や介護保険サービスによる施設等
- 無回答



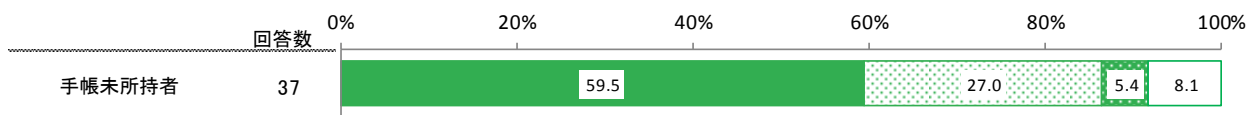
4 特定疾患医療受給者

- 持ち家(マンションを含む)
- 市営・県営住宅
- 障害者支援施設
- その他
- 借家(マンションを含む)・民間アパート
- グループホーム・ケアホーム
- 高齢者福祉施設や介護保険サービスによる施設等
- 無回答



5 手帳未所持者

- 持ち家(マンションを含む)
- 市営・県営住宅
- 障害者支援施設
- その他
- 借家(マンションを含む)・民間アパート
- グループホーム・ケアホーム
- 高齢者福祉施設や介護保険サービスによる施設等
- 無回答

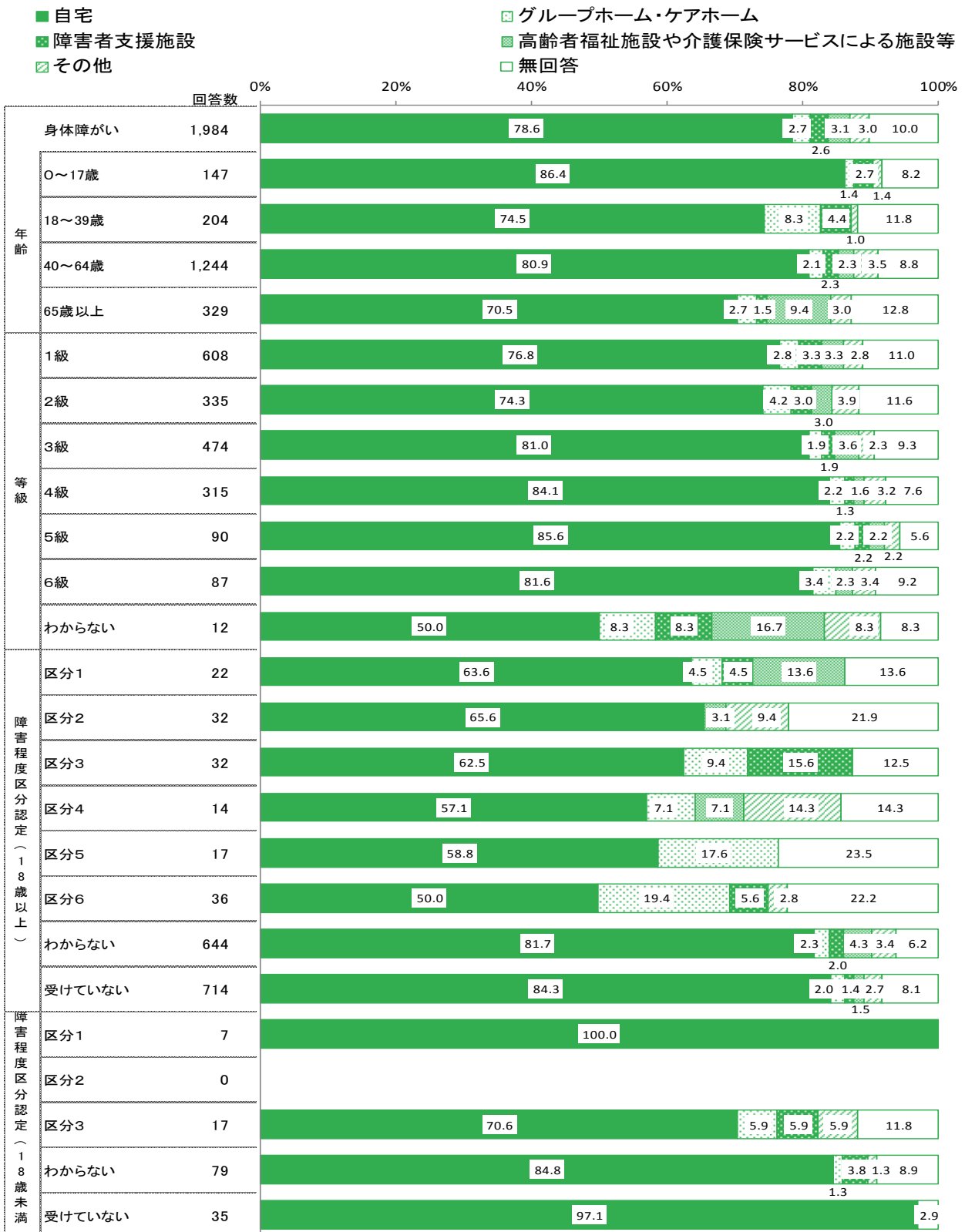


13 これからの生活の希望

これからの生活の希望として、自宅での生活を望む割合が多く、身体障がい者は78.6%、知的障がい者は64.9%、精神障がい者は67.4%、特定疾患医療受給者は87.6%、手帳未所持者は73.0%となっています。

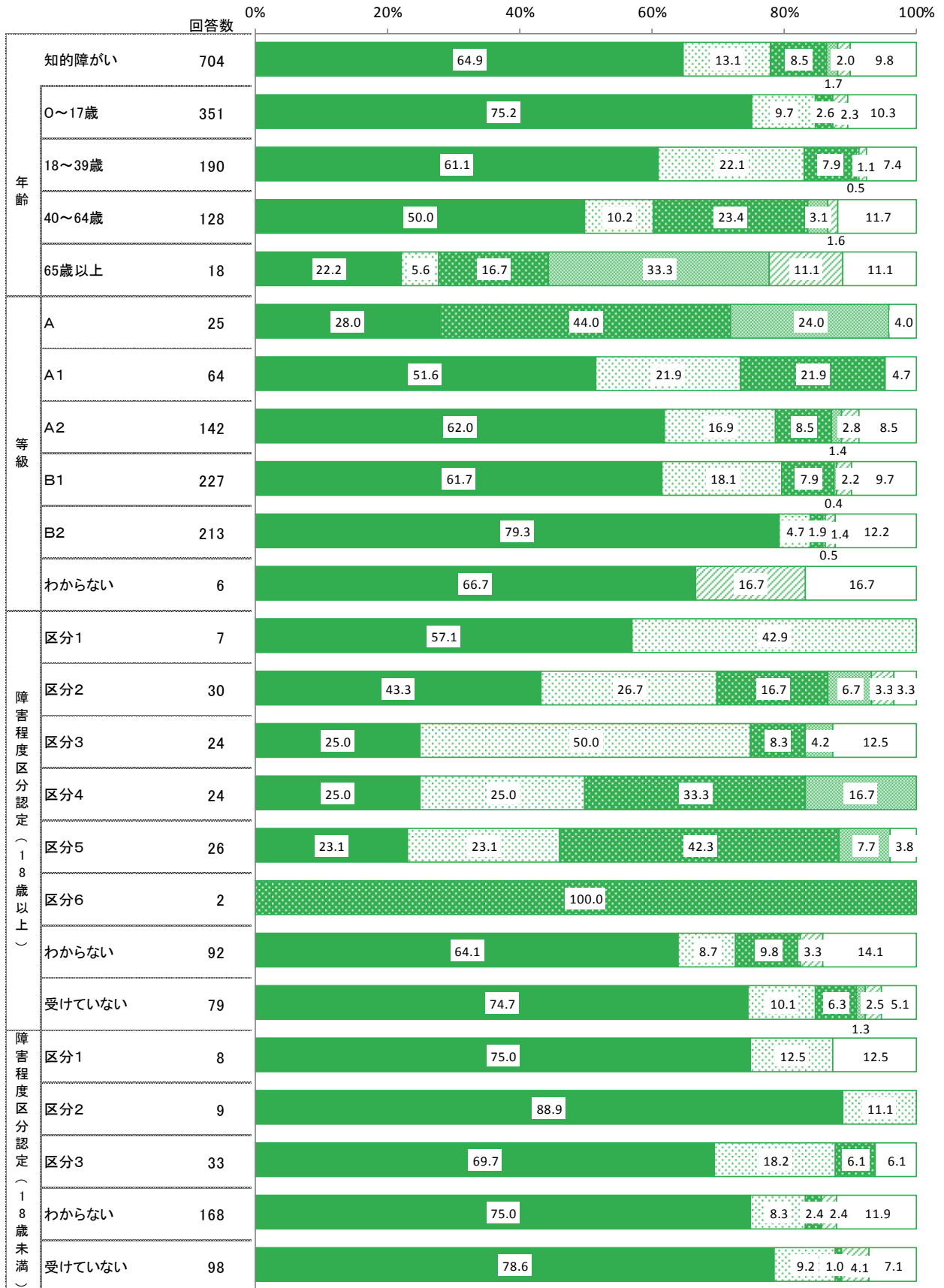
図表 18 これからの生活の希望

1 身体障がい



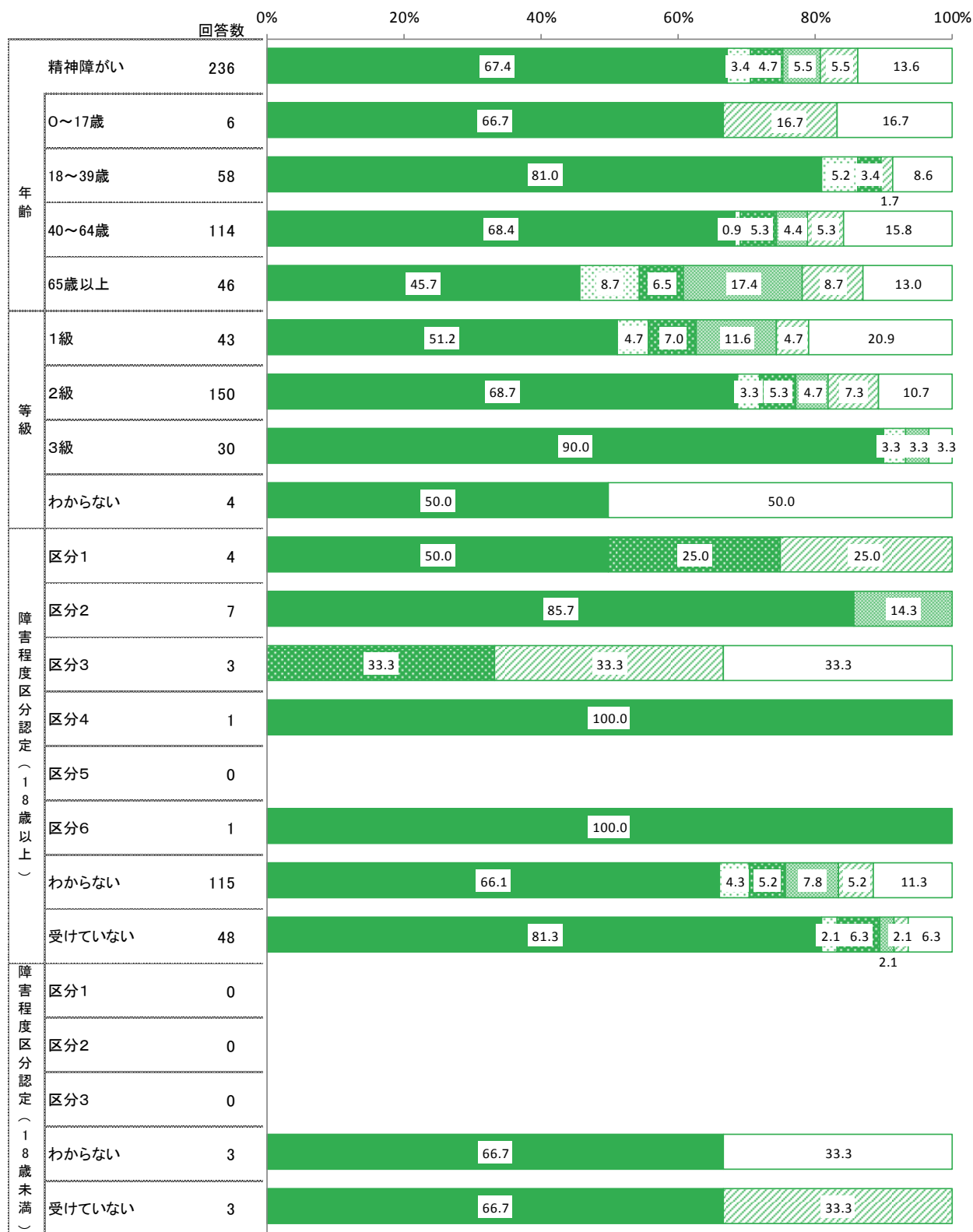
2 知的障がい

- 自宅
- グループホーム・ケアホーム
- 障害者支援施設
- 高齢者福祉施設や介護保険サービスによる施設等
- その他
- 無回答



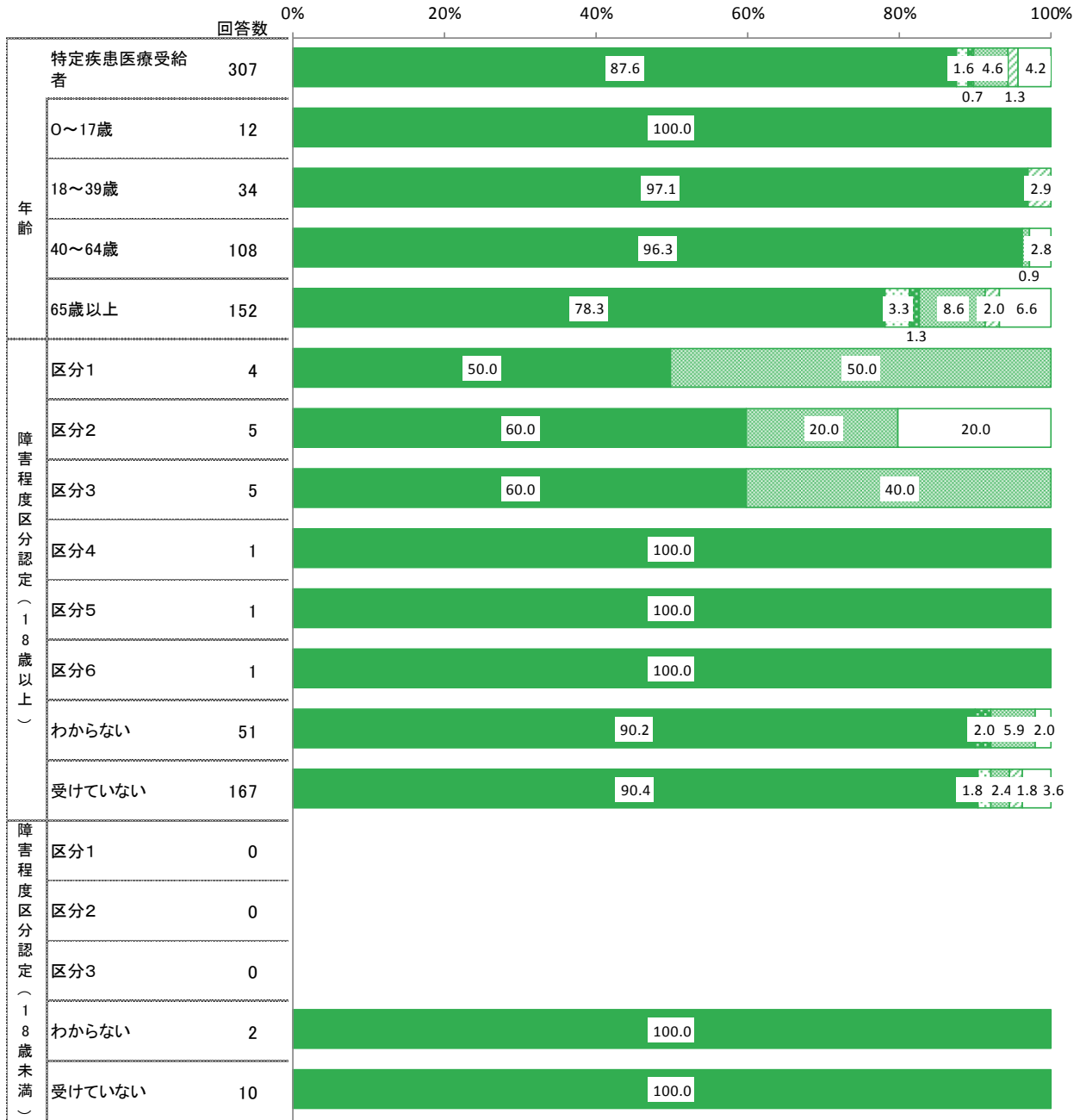
3 精神障がい

- 自宅
- 障害者支援施設
- その他
- グループホーム・ケアホーム
- 高齢者福祉施設や介護保険サービスによる施設等
- 無回答



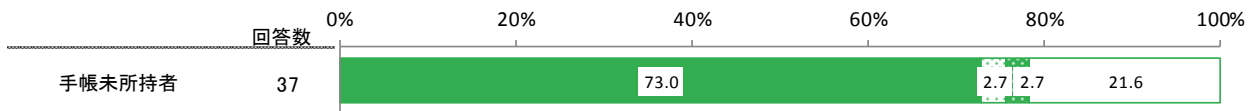
4 特定疾患医療受給者

- 自宅
- グループホーム・ケアホーム
- 障害者支援施設
- 高齢者福祉施設や介護保険サービスによる施設等
- その他
- 無回答



5 手帳未所持者

- 自宅
- グループホーム・ケアホーム
- 障害者支援施設
- 高齢者福祉施設や介護保険サービスによる施設等
- その他
- 無回答



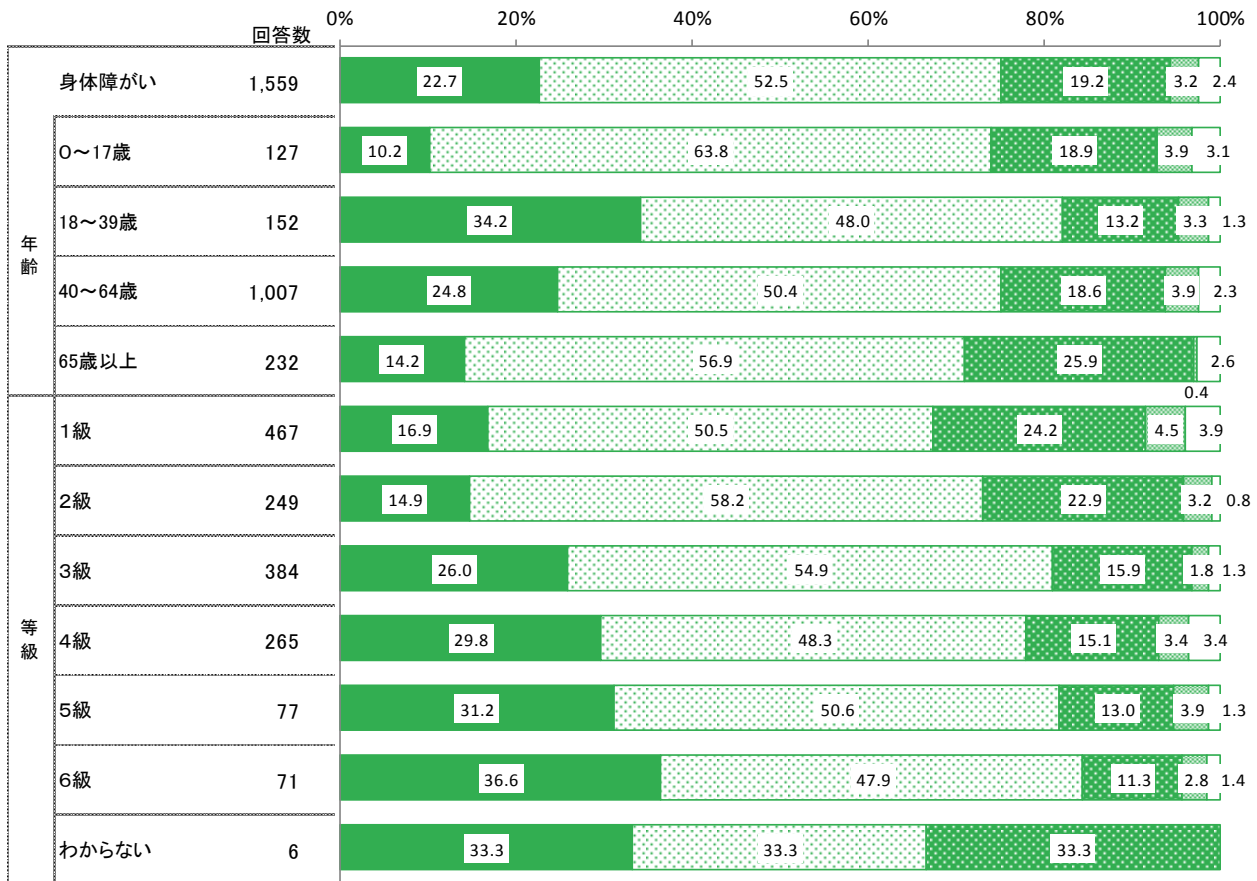
14 自宅での生活希望

自宅での生活希望がある方がどのように生活することを希望しているかについては「家族の支援で暮らしたい」の割合が多く、身体障がい者は 52.5%、知的障がい者は 62.8%、精神障がい者は 47.2%、特定疾患医療受給者は 51.3%、手帳未所持者は 77.8% となっています。

図表 19 自宅での生活希望（自宅で生活を送りたい方）

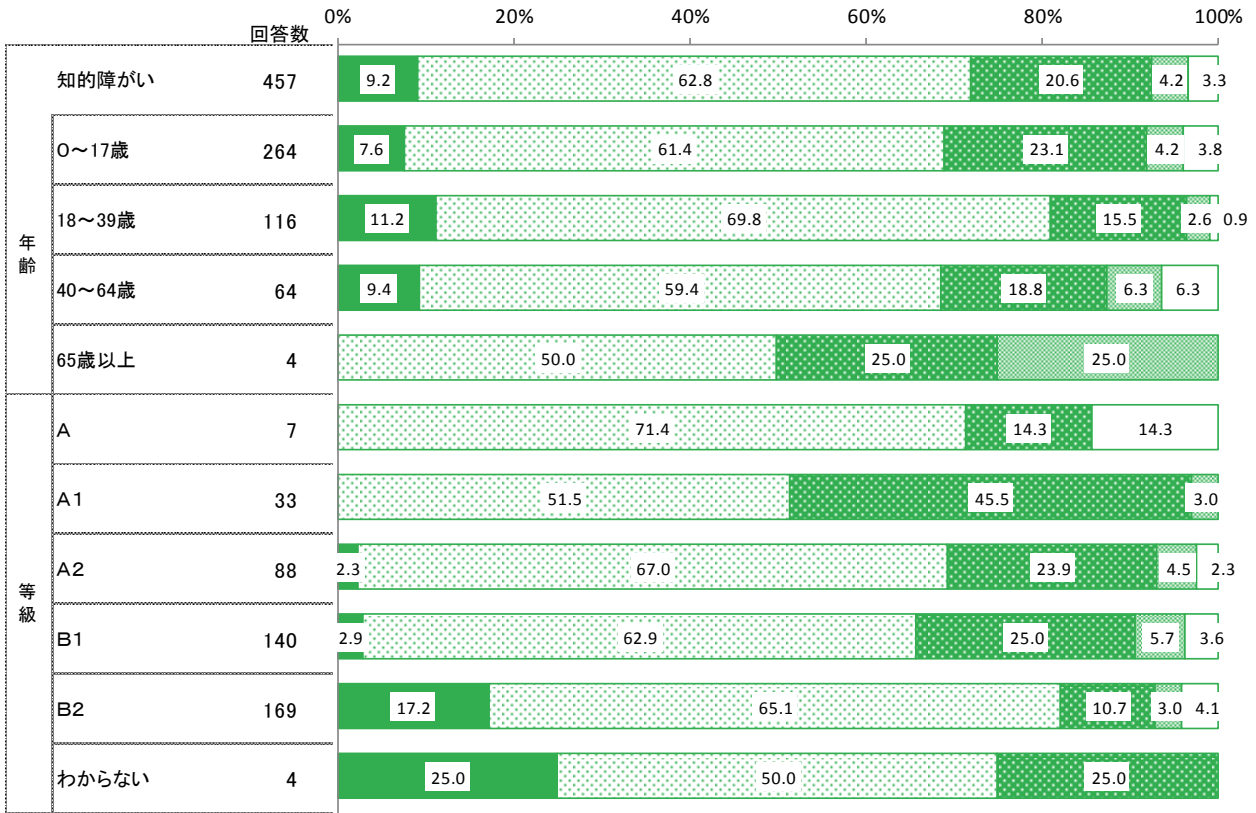
1 身体障がい

- だれの支援も受けなくて暮らしていきたい
- ▨ 家族の支援で暮らしたい
- ホームヘルプサービスや、デイサービスなどの施設へ通うサービスを利用して暮らしたい
- ▨ その他
- 無回答



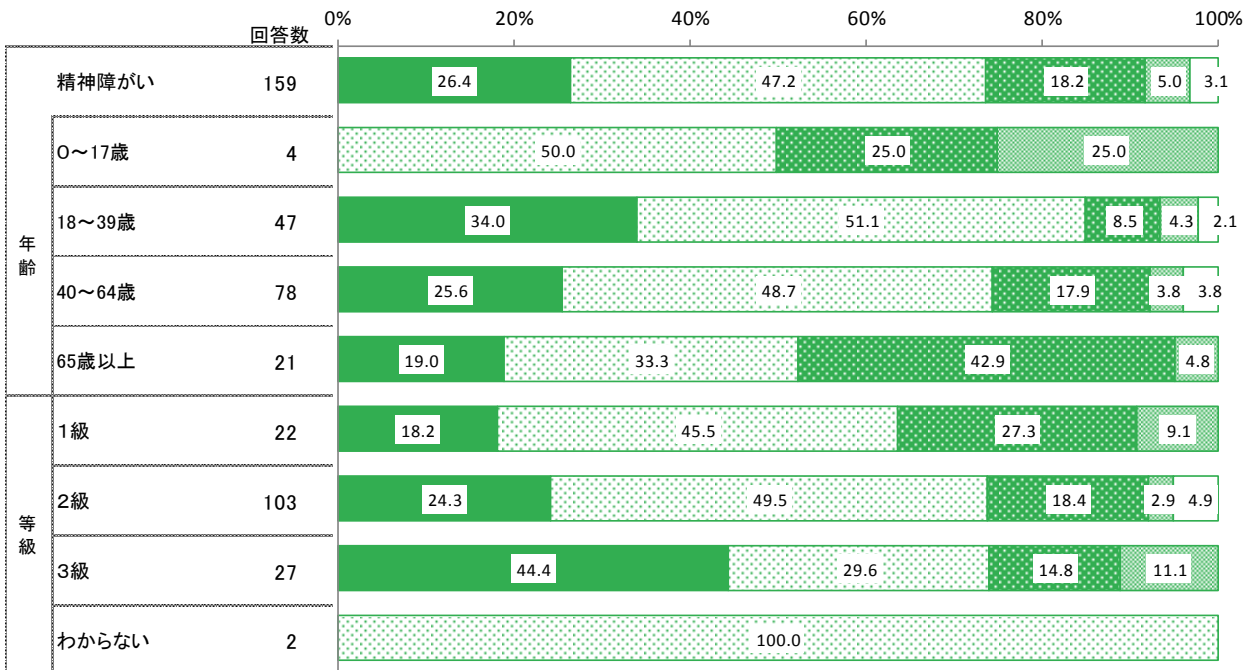
2 知的障がい

- だれの支援も受けなくて暮らしていきたい
- ▨ 家族の支援で暮らしたい
- ホームヘルプサービスやデイサービスなどの施設へ通うサービスを利用して暮らしたい
- ▨ その他
- 無回答



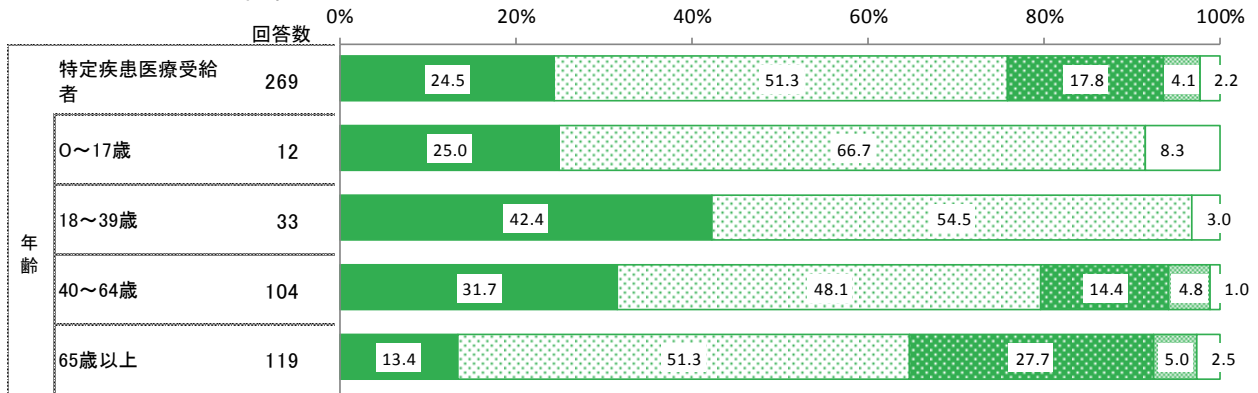
3 精神障がい

- だれの支援も受けなくて暮らしていきたい
- ▨ 家族の支援で暮らしたい
- ホームヘルプサービスやデイサービスなどの施設へ通うサービスを利用して暮らしたい
- ▨ その他
- 無回答



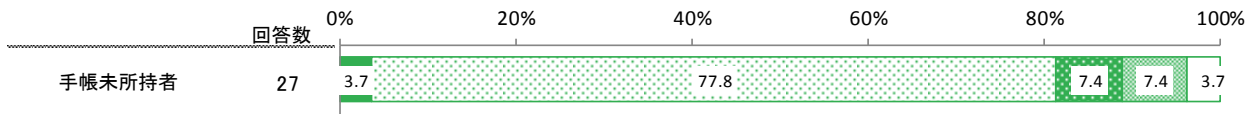
4 特定疾患医療受給者

- だれの支援も受けなくて暮らしていきたい
- ▨ 家族の支援で暮らしたい
- ホームヘルプサービスやデイサービスなどの施設へ通うサービスを利用して暮らしたい
- ▨ その他
- 無回答



5 手帳未所持者

- だれの支援も受けなくて暮らしていきたい
- ▨ 家族の支援で暮らしたい
- ホームヘルプサービスや、デイサービスなどの施設へ通うサービスを利用して暮らしたい
- ▨ その他
- 無回答

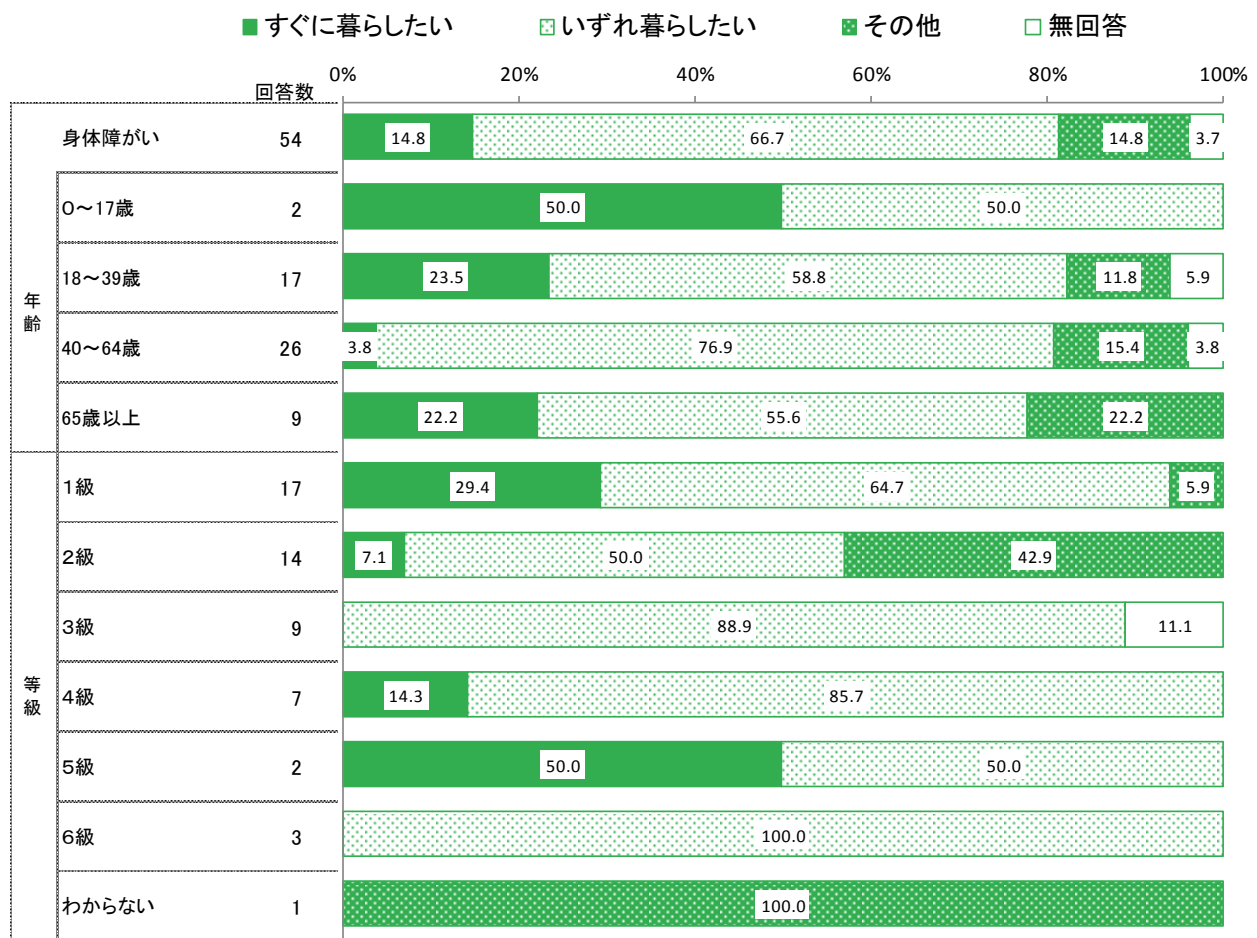


15 グループホーム等での生活希望

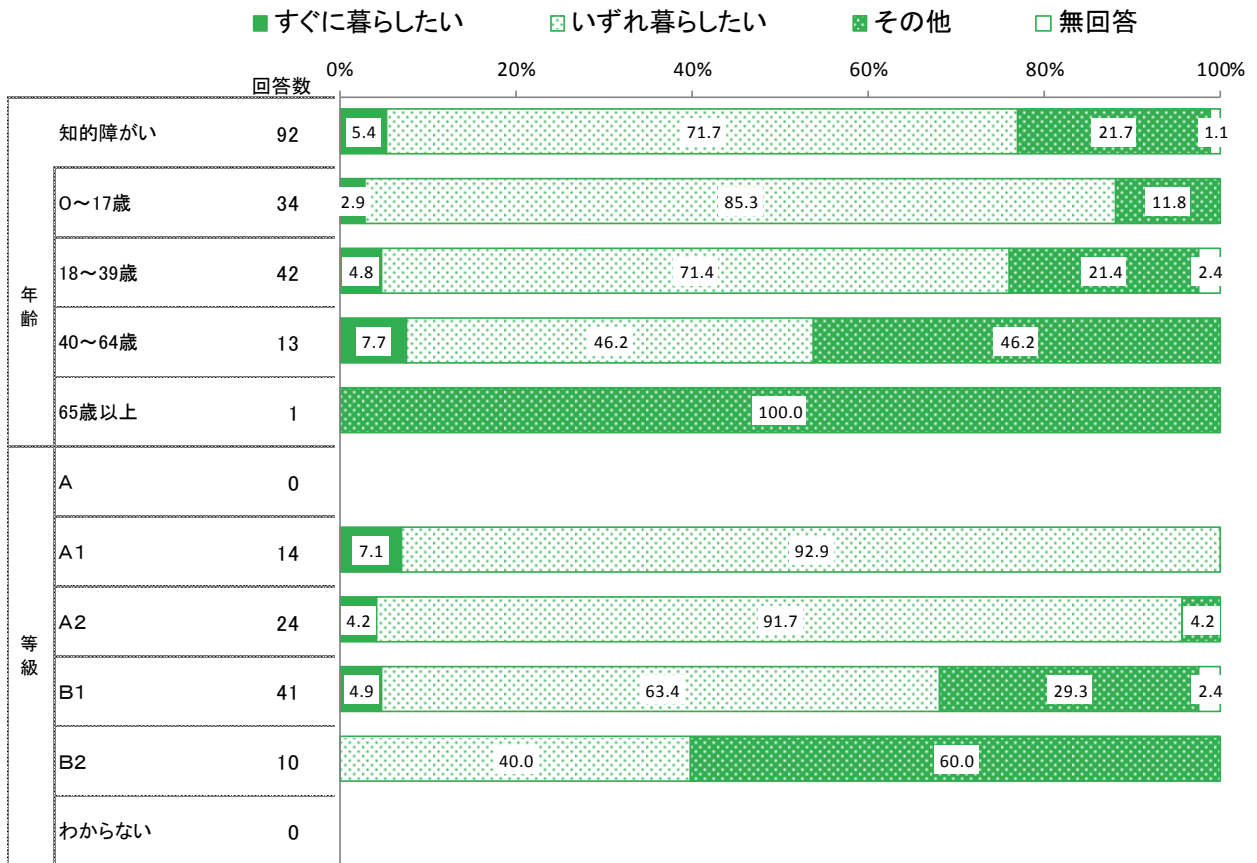
これからの生活をグループホームで送りたいと答えた方に対して、いつから暮らしたいかおたずねしたところ、身体障がい者では、いずれ暮らしたい（66.7%）と半数以上を占めています。同様に知的障がい者は71.7%、精神障がい者は62.5%となっています。

図表 20 グループホーム等での生活希望（グループホーム・ケアホーム等で生活を送りたい方）

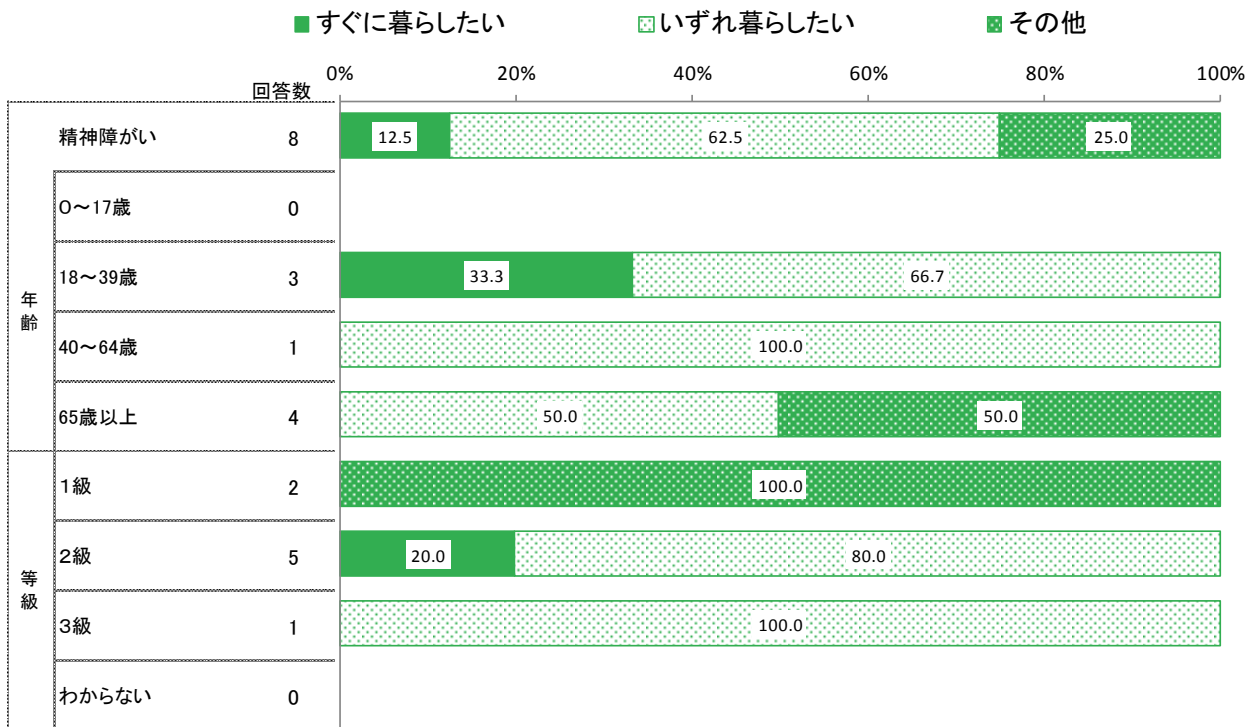
1 身体障がい



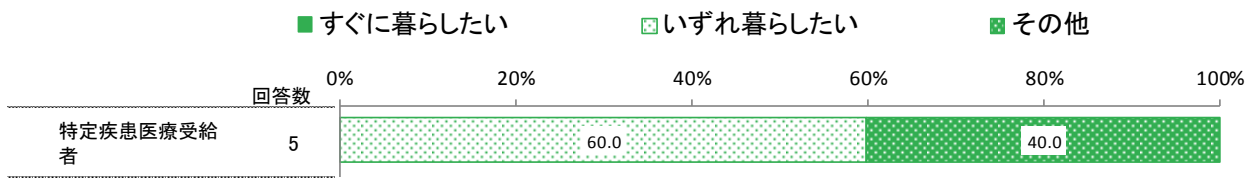
2 知的障がい



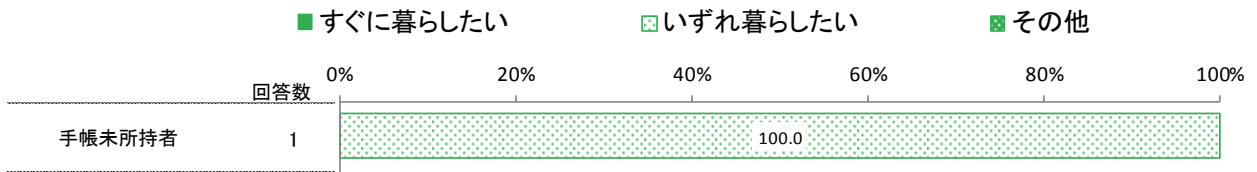
3 精神障がい



4 特定疾患医療受給者



5 手帳未所持者



16 日常生活自立度等

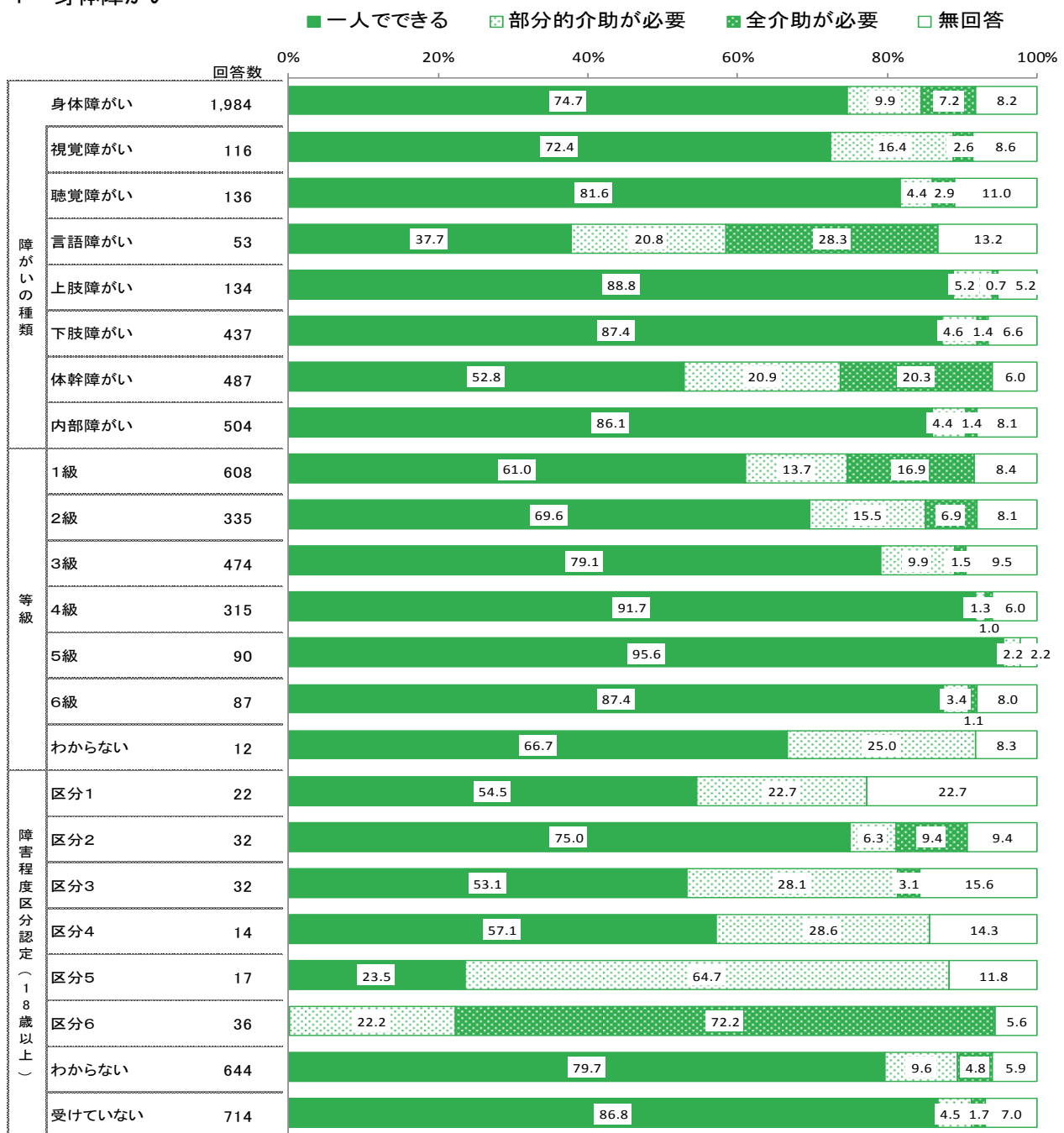
日常生活自立度として、食事、トイレ、衣服の着替え、入浴、掃除・洗濯、炊事、家の中の移動、外出、家族以外とのコミュニケーション・会話等の項目についておたずねしました。

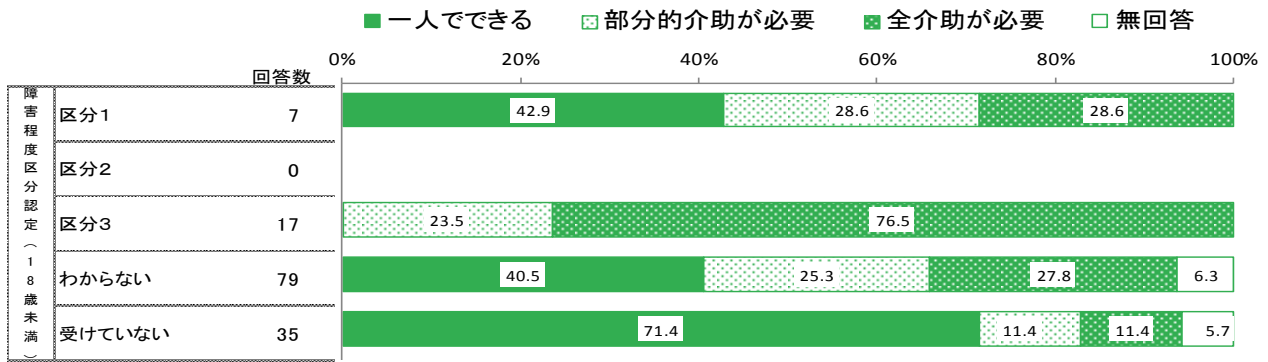
食事の介助が必要な方は、身体障がい者は17.1%、知的障がい者は25.8%、精神障がい者は16.5%、特定疾患医療受給者は10.4%、手帳未所持者は51.3%となっています。

(1) 食事

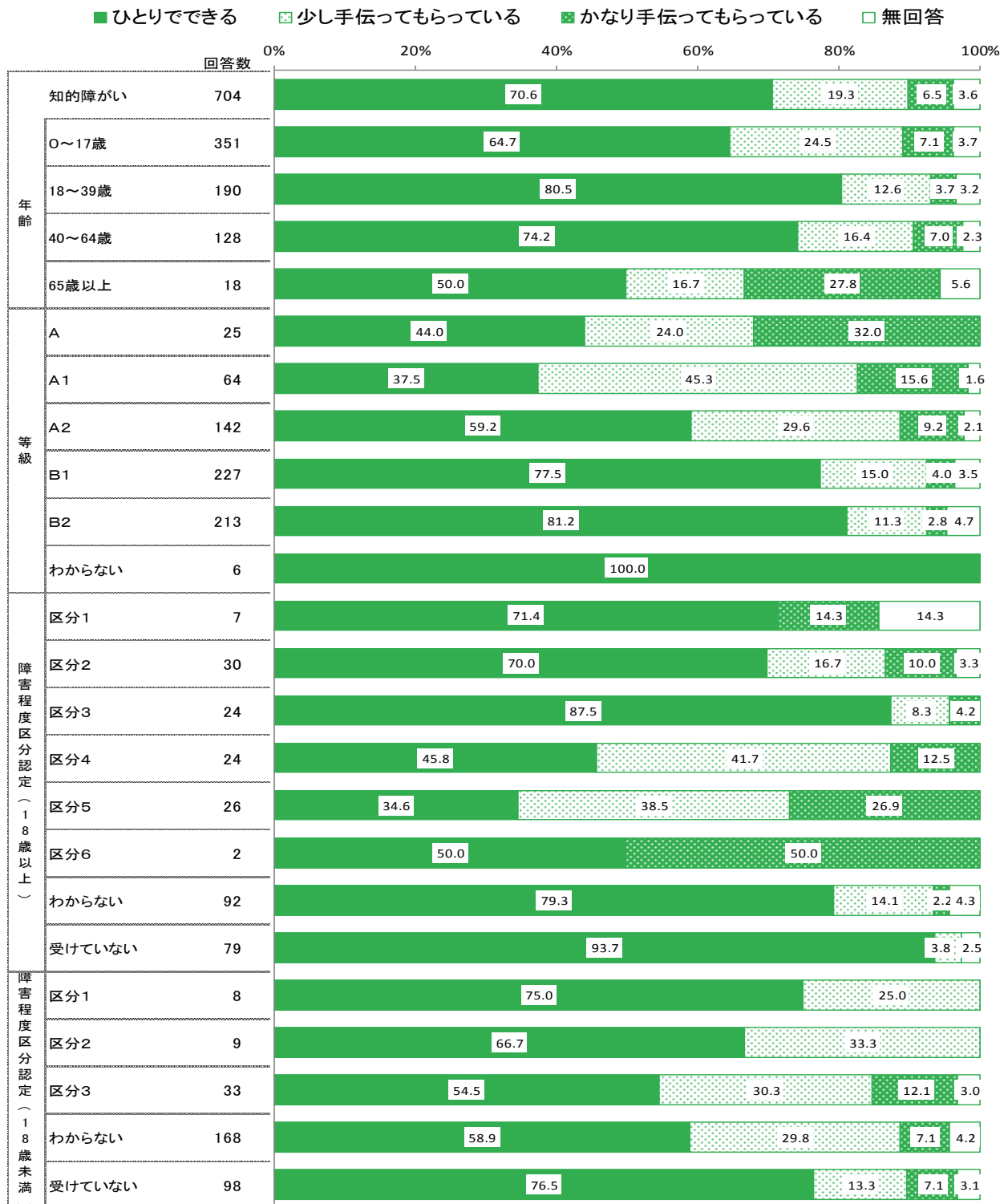
図表 21 食事

1 身体障がい

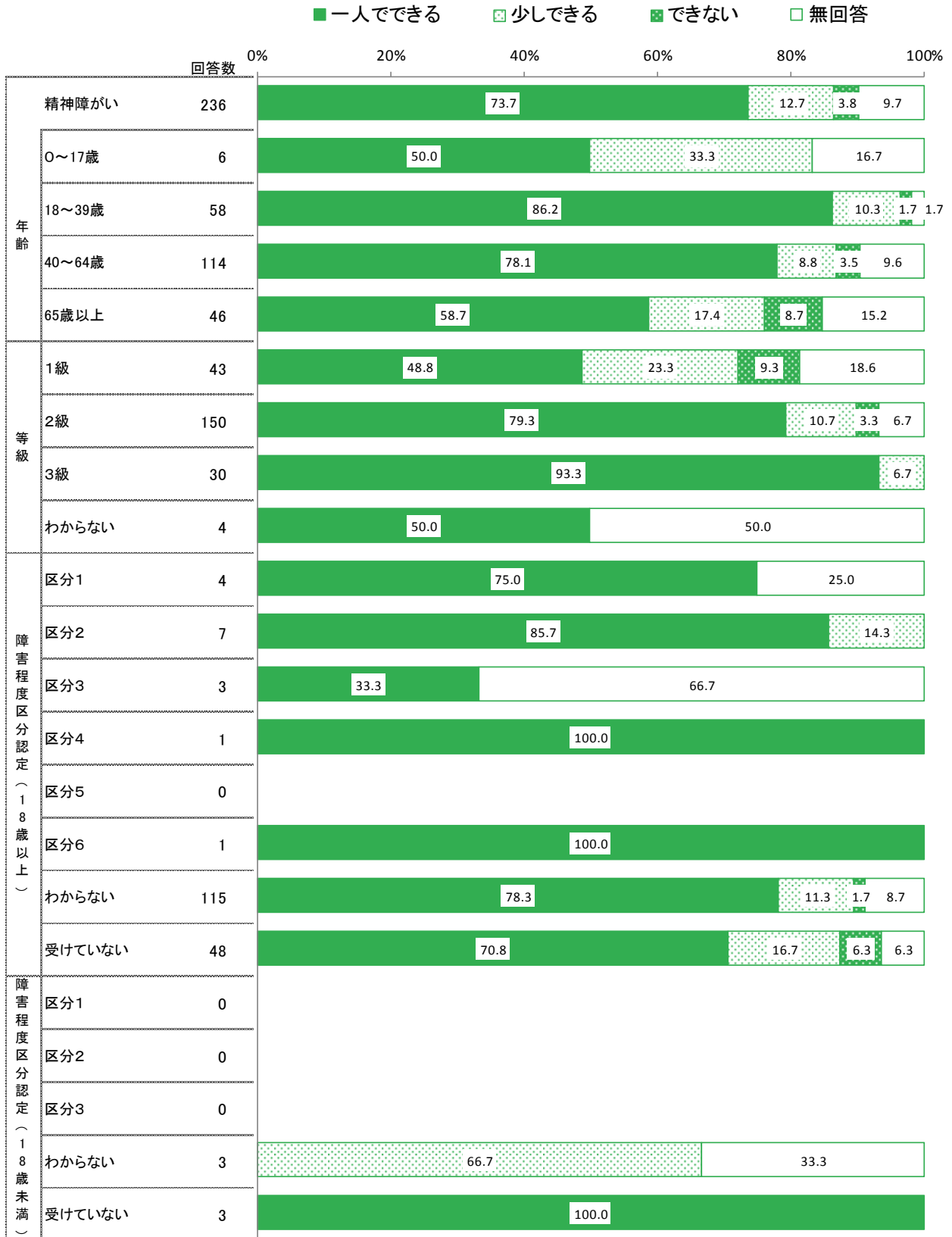




2 知的障がい

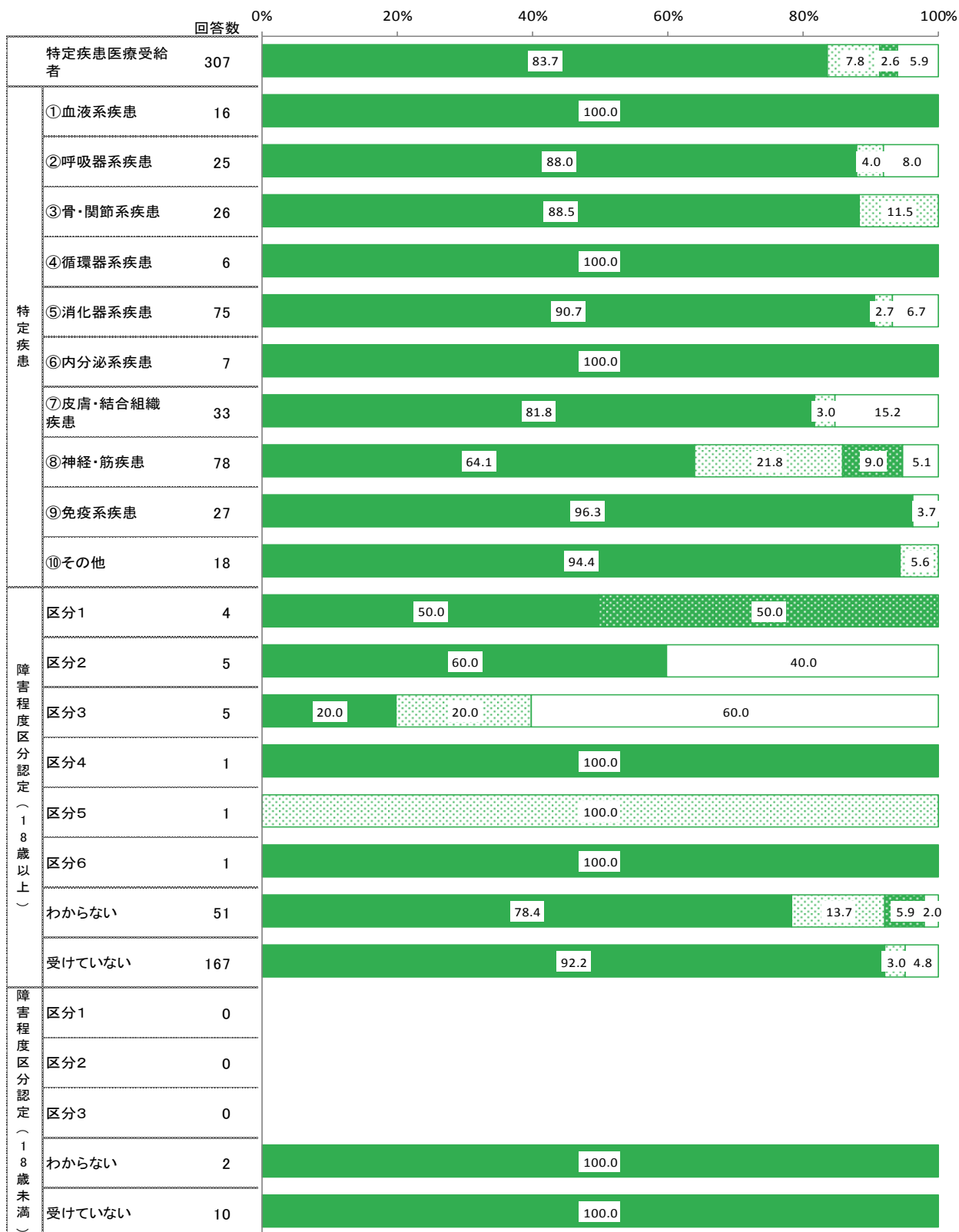


3 精神障がい



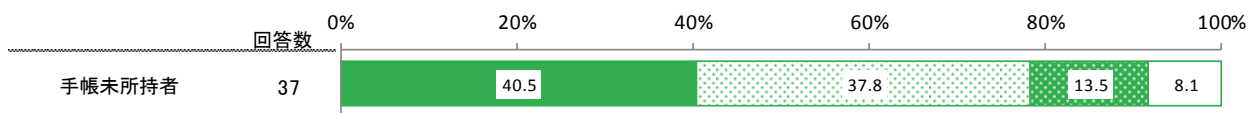
4 特定疾患医療受給者

■ 一人でできる ■ 部分的介助が必要 ■ 全介助が必要 □ 無回答



5 手帳未所持者

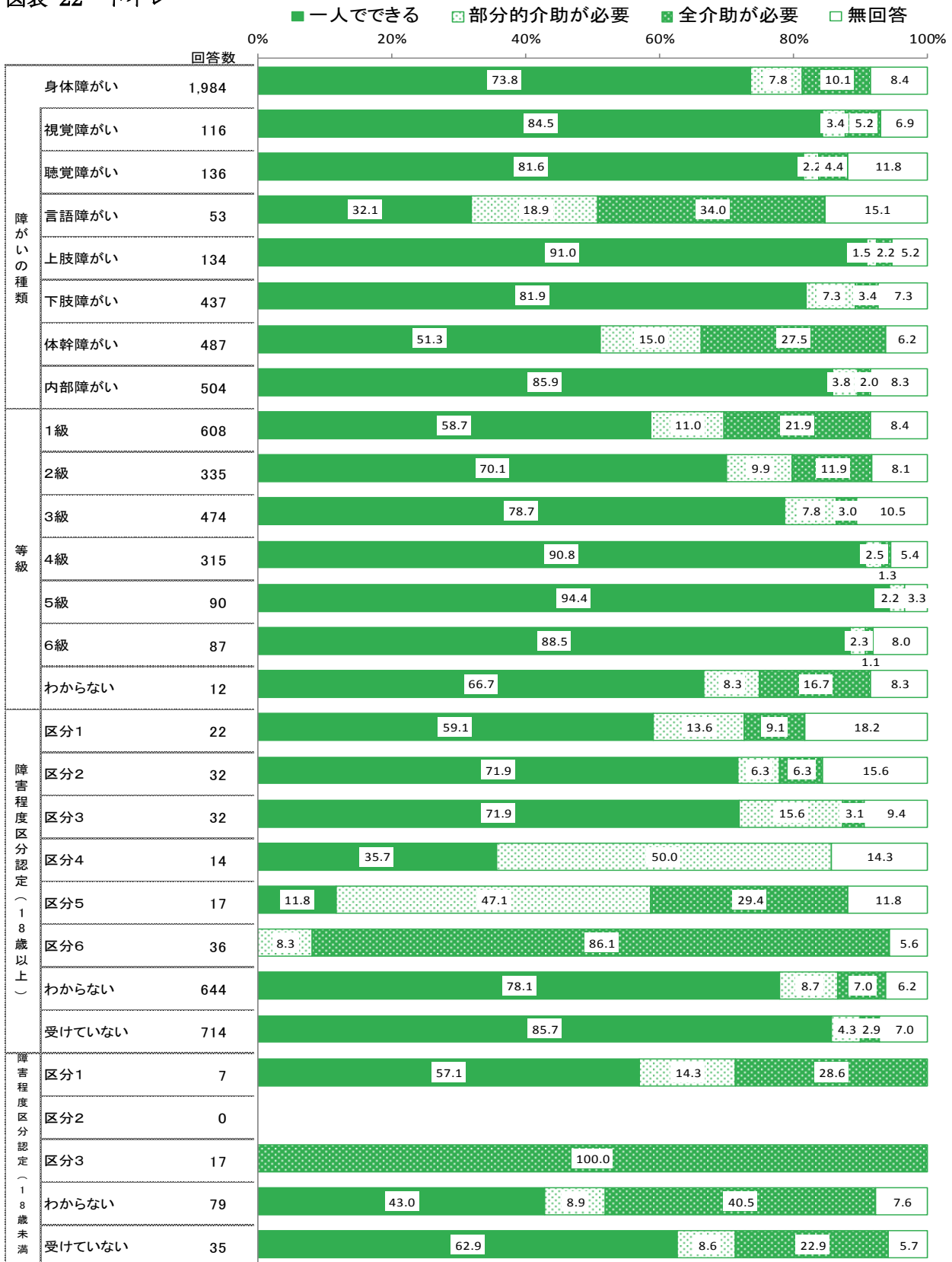
■ ひとりでできる ■ 少し手伝ってもらっている ■ かなり手伝ってもらっている □ 無回答



(2) トイレ

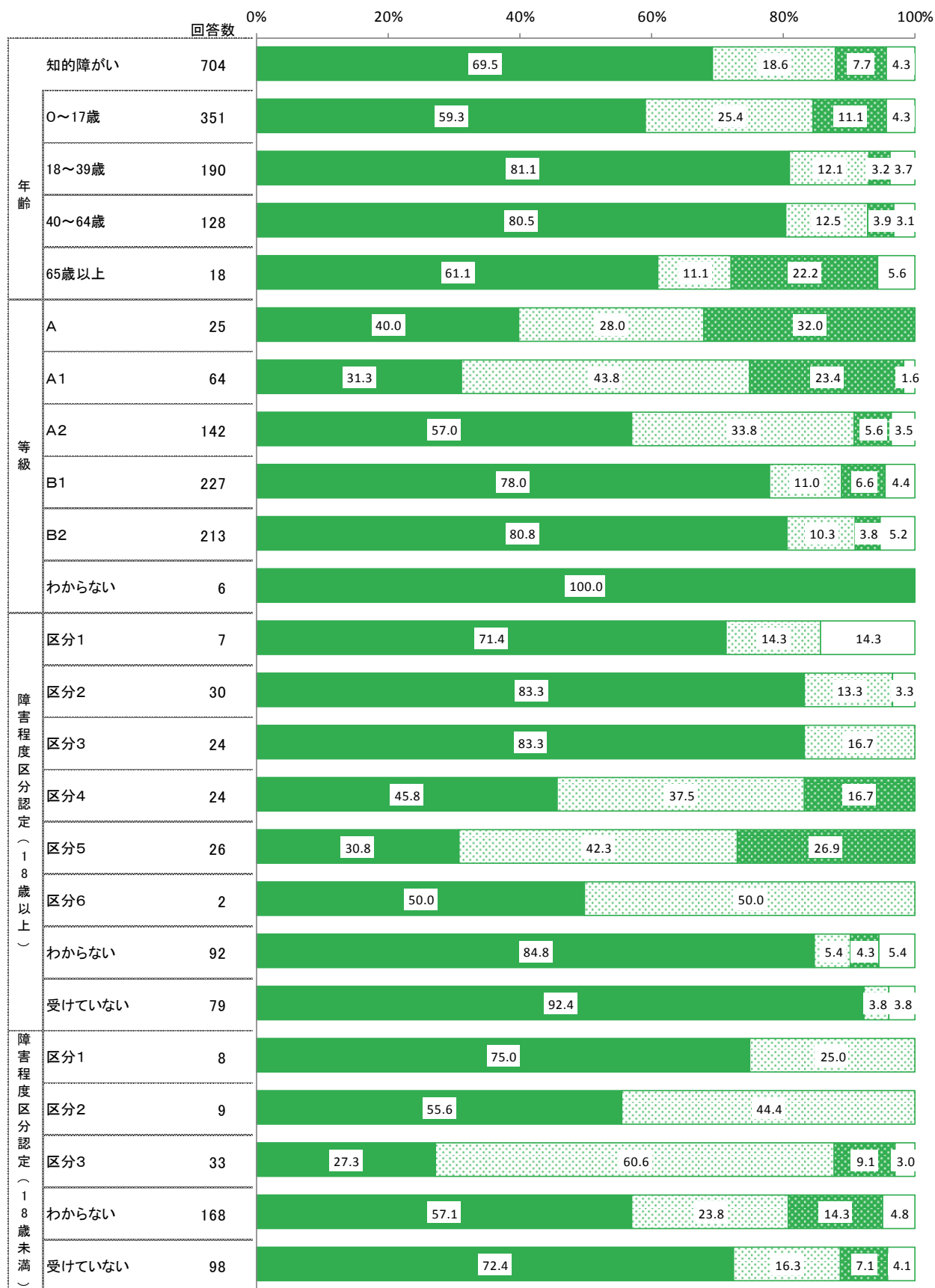
トイレの介助が必要な方は、身体障がい者は17.9%、知的障がい者は26.3%、精神障がい者は9.3%、特定疾患医療受給者は14.0%、手帳未所持者は51.3%となっています。

図表 22 トイレ

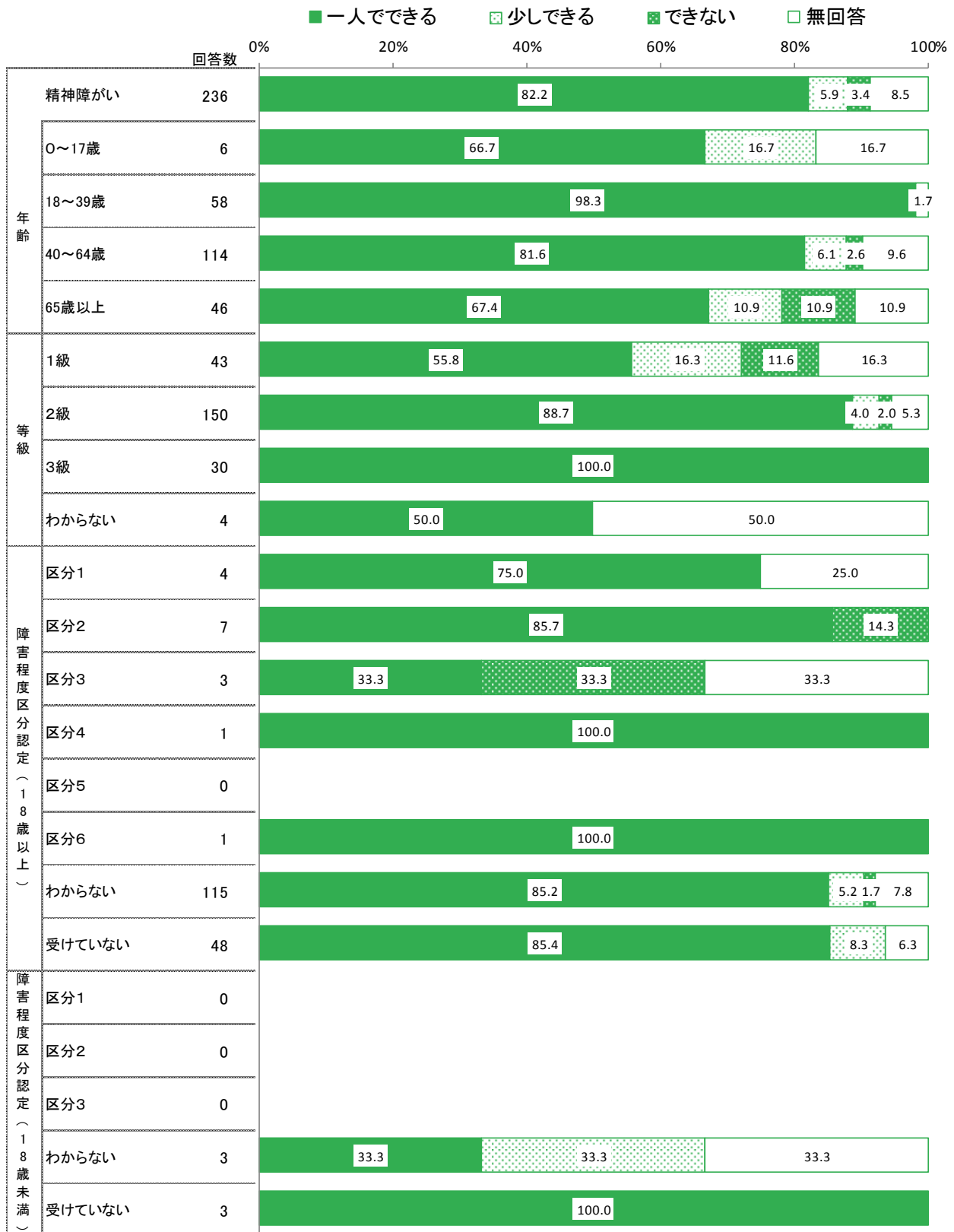


2 知的障がい

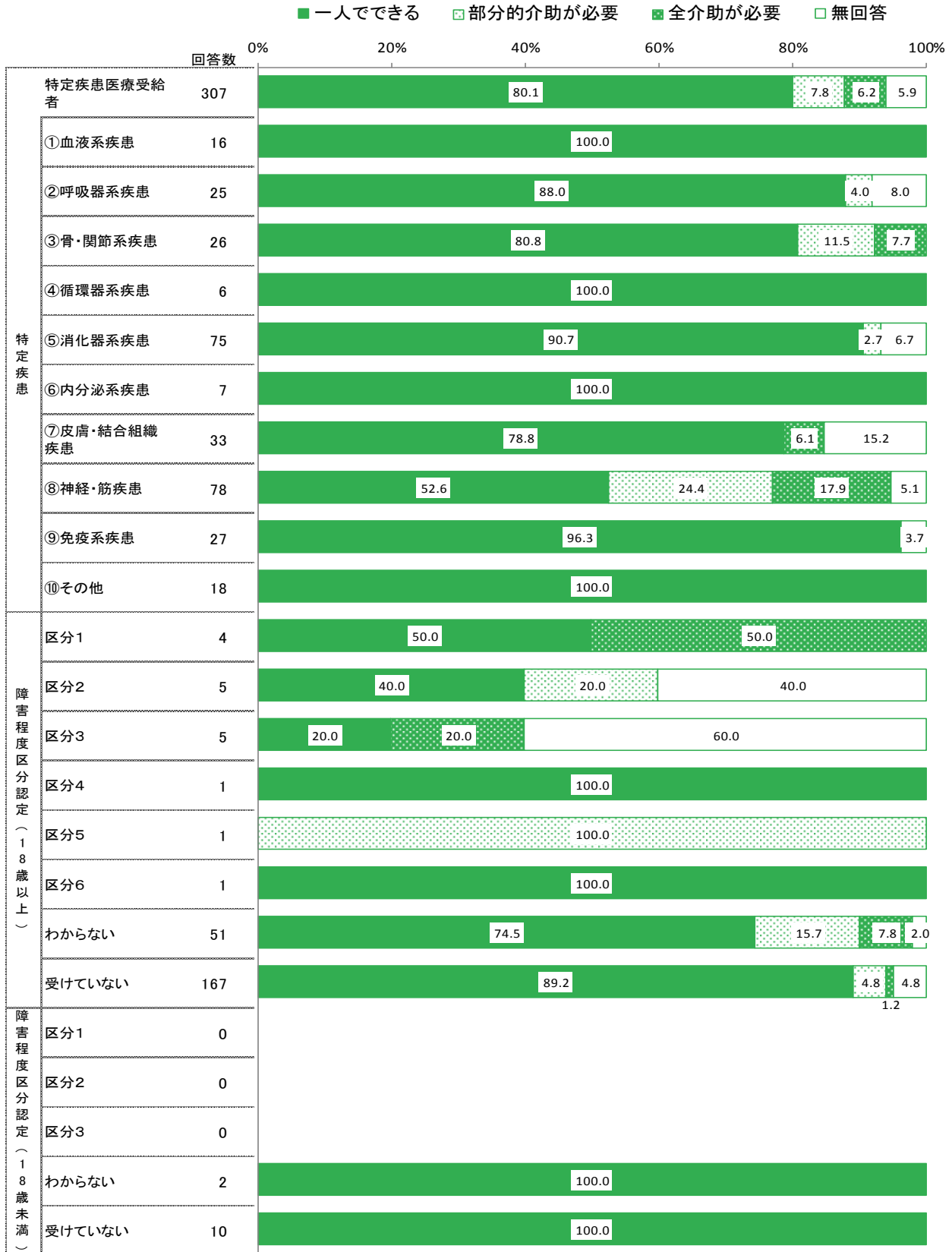
■ ひとりでできる □ 少し手伝ってもらっている ■ かなり手伝ってもらっている □ 無回答



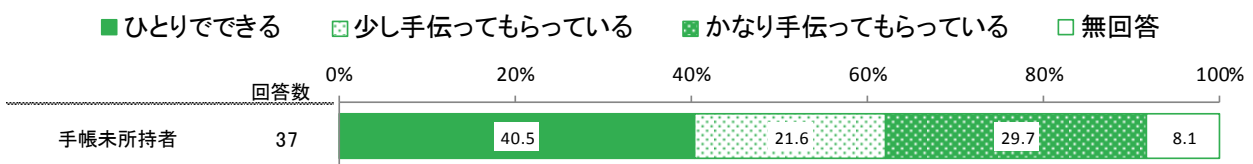
3 精神障がい



4 特定疾患医療受給者



5 手帳未所持者

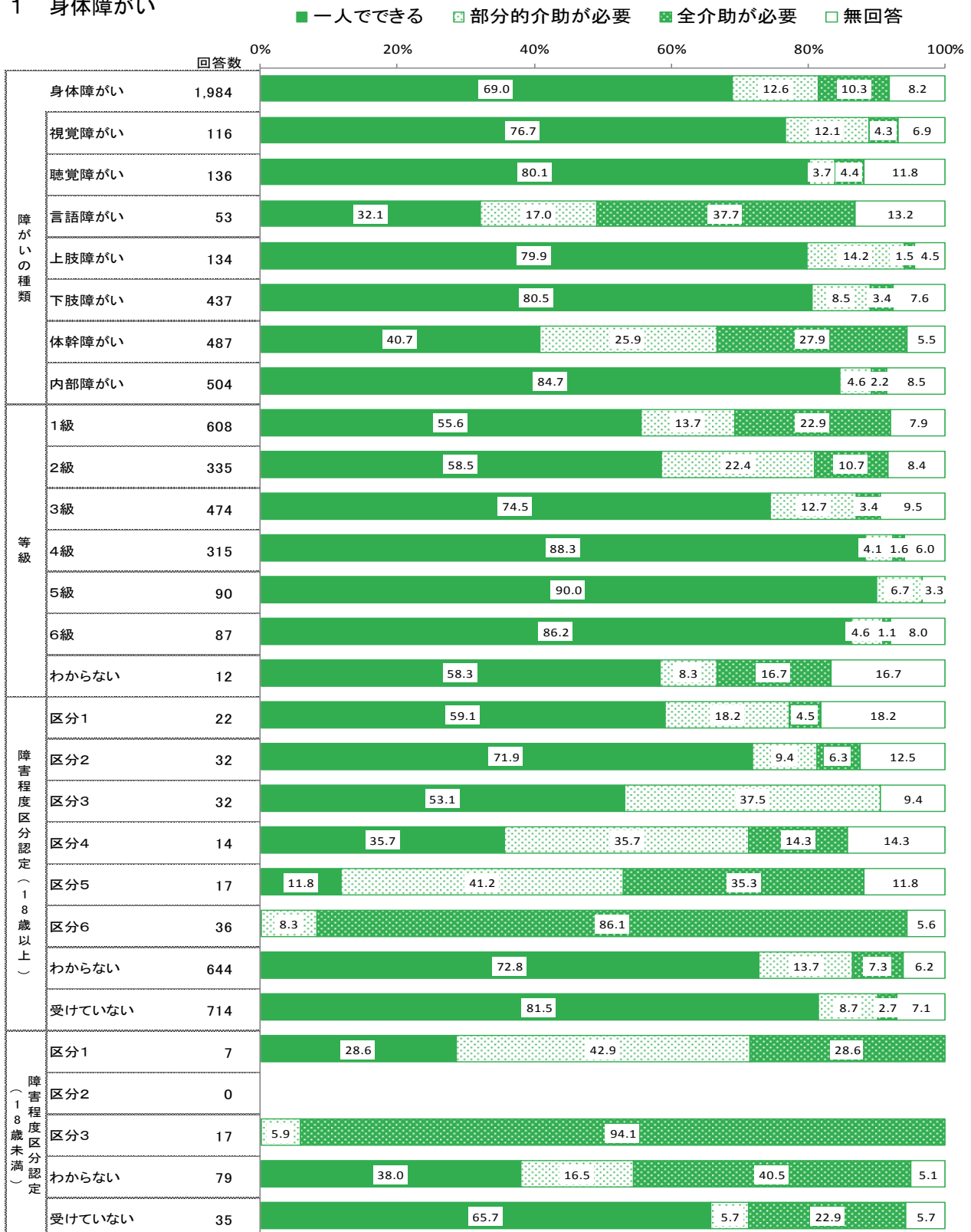


(3) 衣服の着替え

衣服の着替えの介助が必要な方は、身体障がい者は22.9%、知的障がい者は28.7%、精神障がい者は15.3%、特定疾患医療受給者は16.0%、手帳未所持者は51.3%となっています。

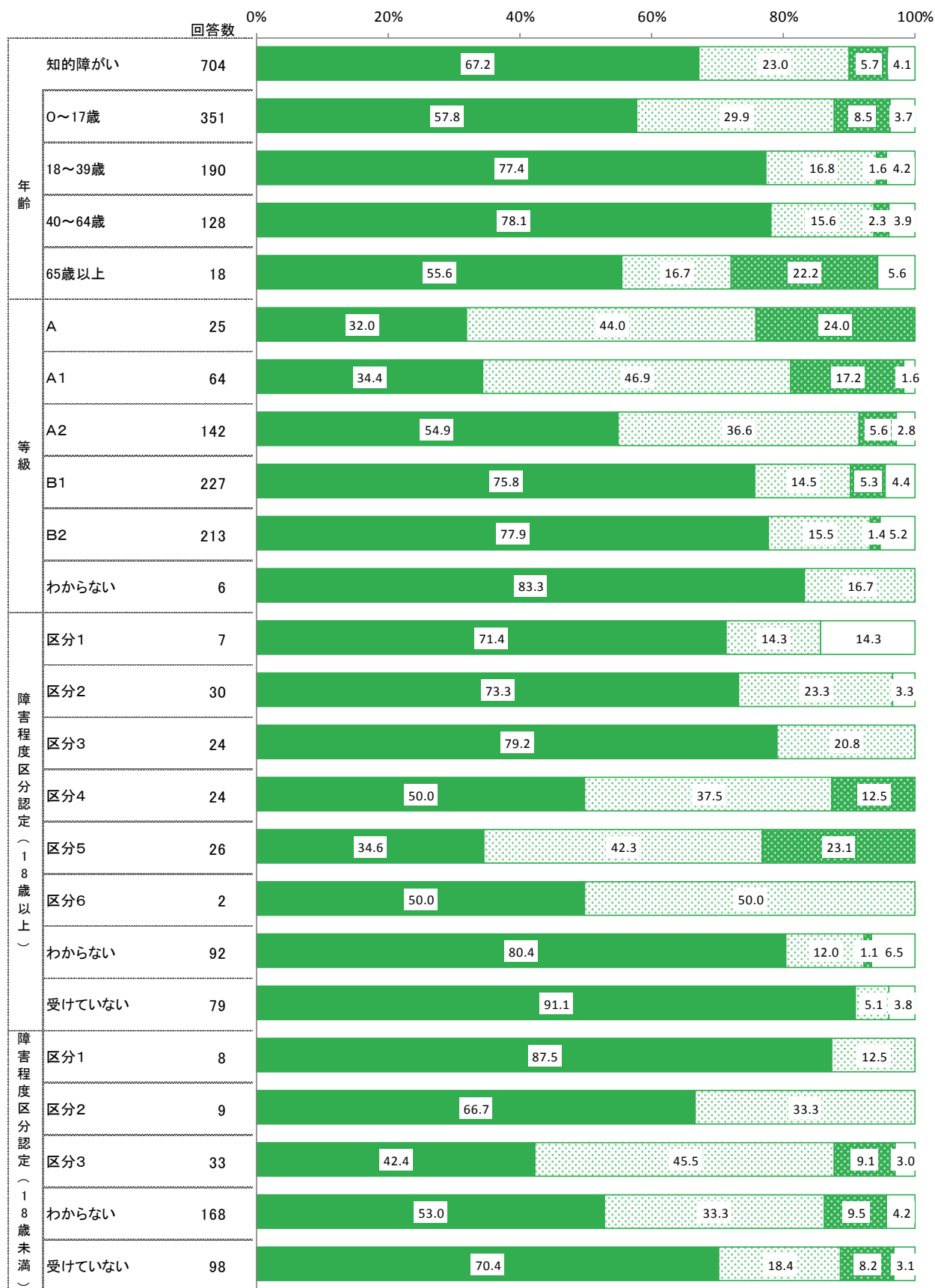
図表 23 衣服の着替え

1 身体障がい

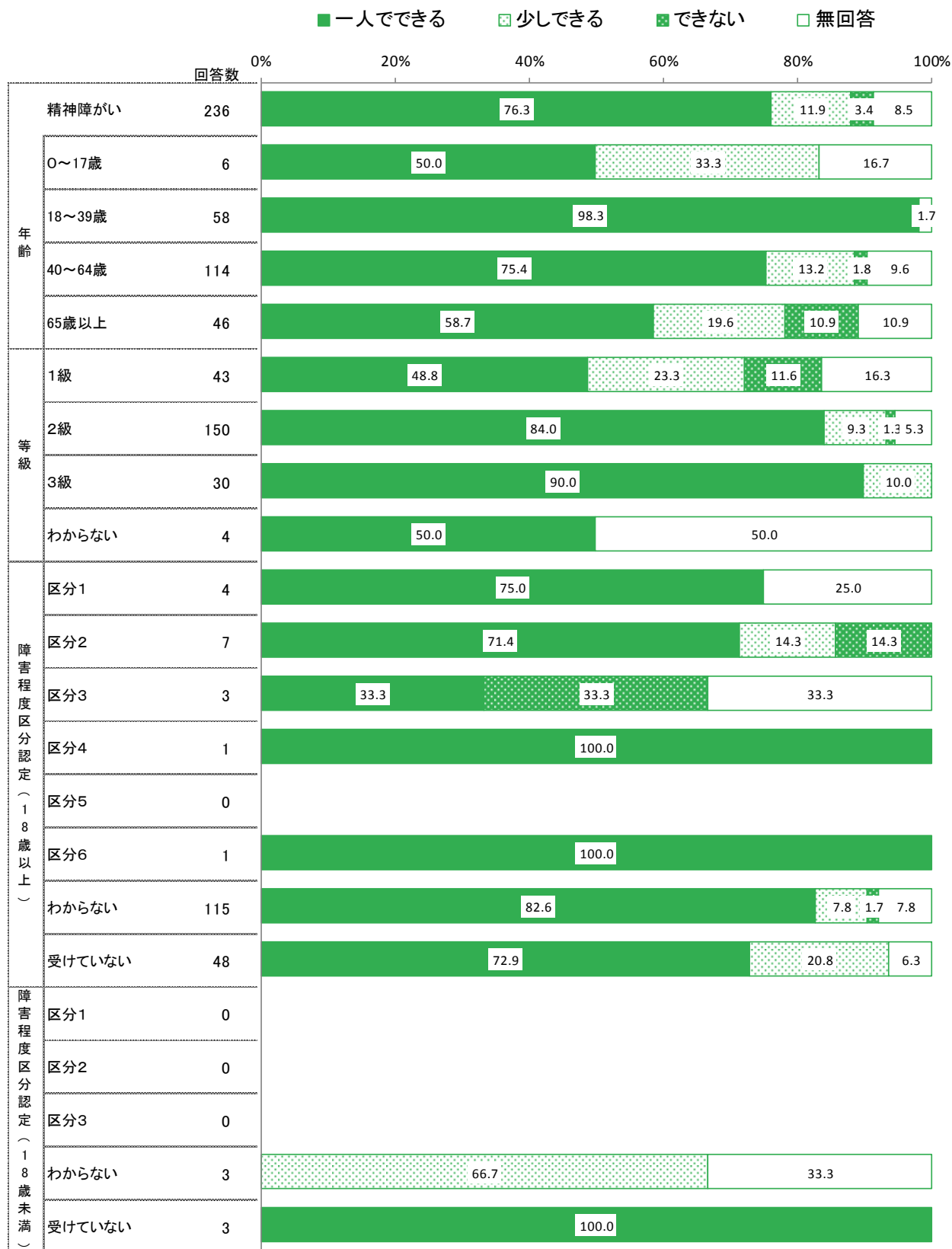


2 知的障がい

■ ひとりでできる ■ 少し手伝ってもらっている ■ かなり手伝ってもらっている □ 無回答

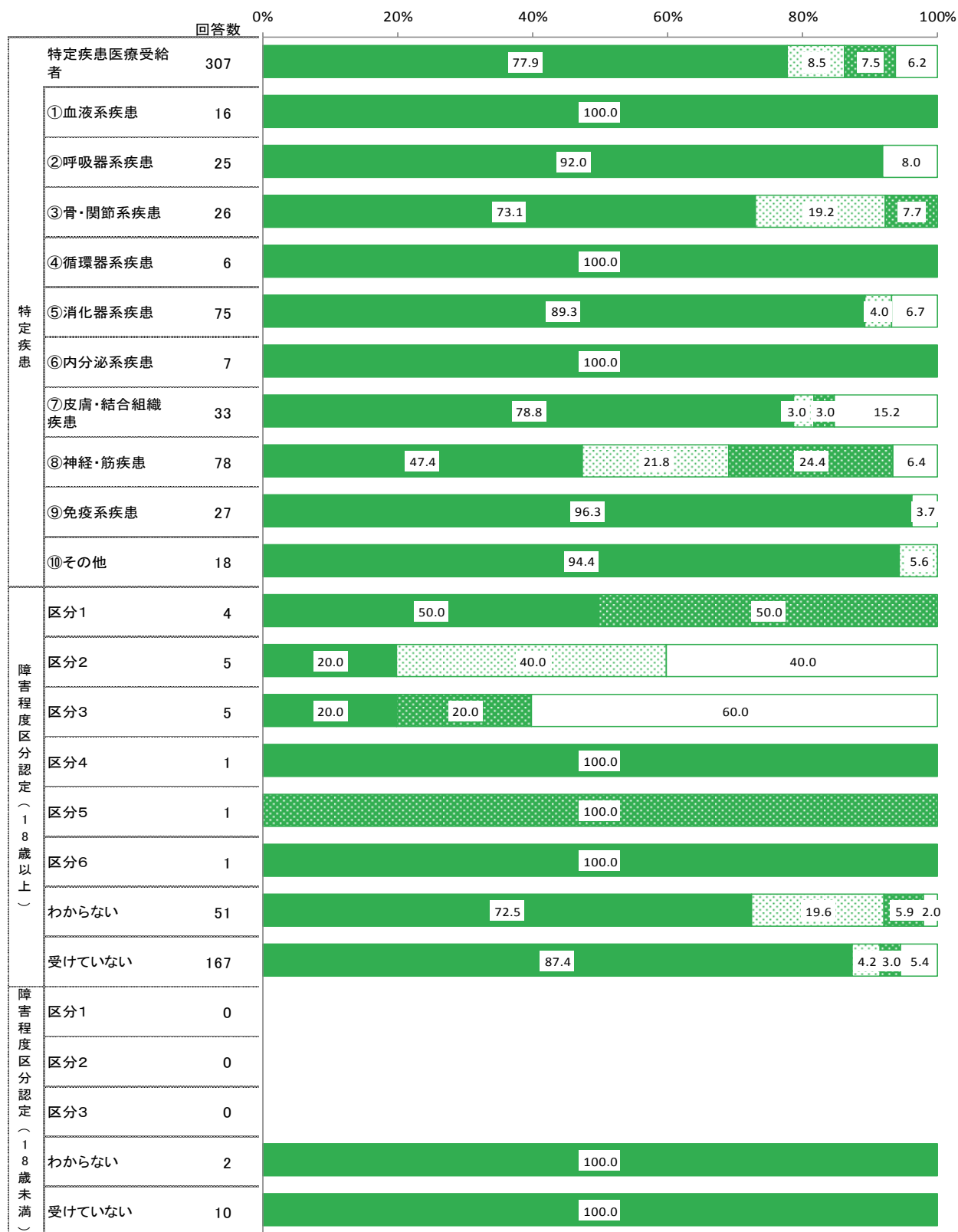


3 精神障がい



4 特定疾患医療受給者

■ 一人でできる ■ 部分的介助が必要 ■ 全介助が必要 □ 無回答



5 手帳未所持者

■ ひとりでできる ■ 少し手伝ってもらっている ■ かなり手伝ってもらっている □ 無回答

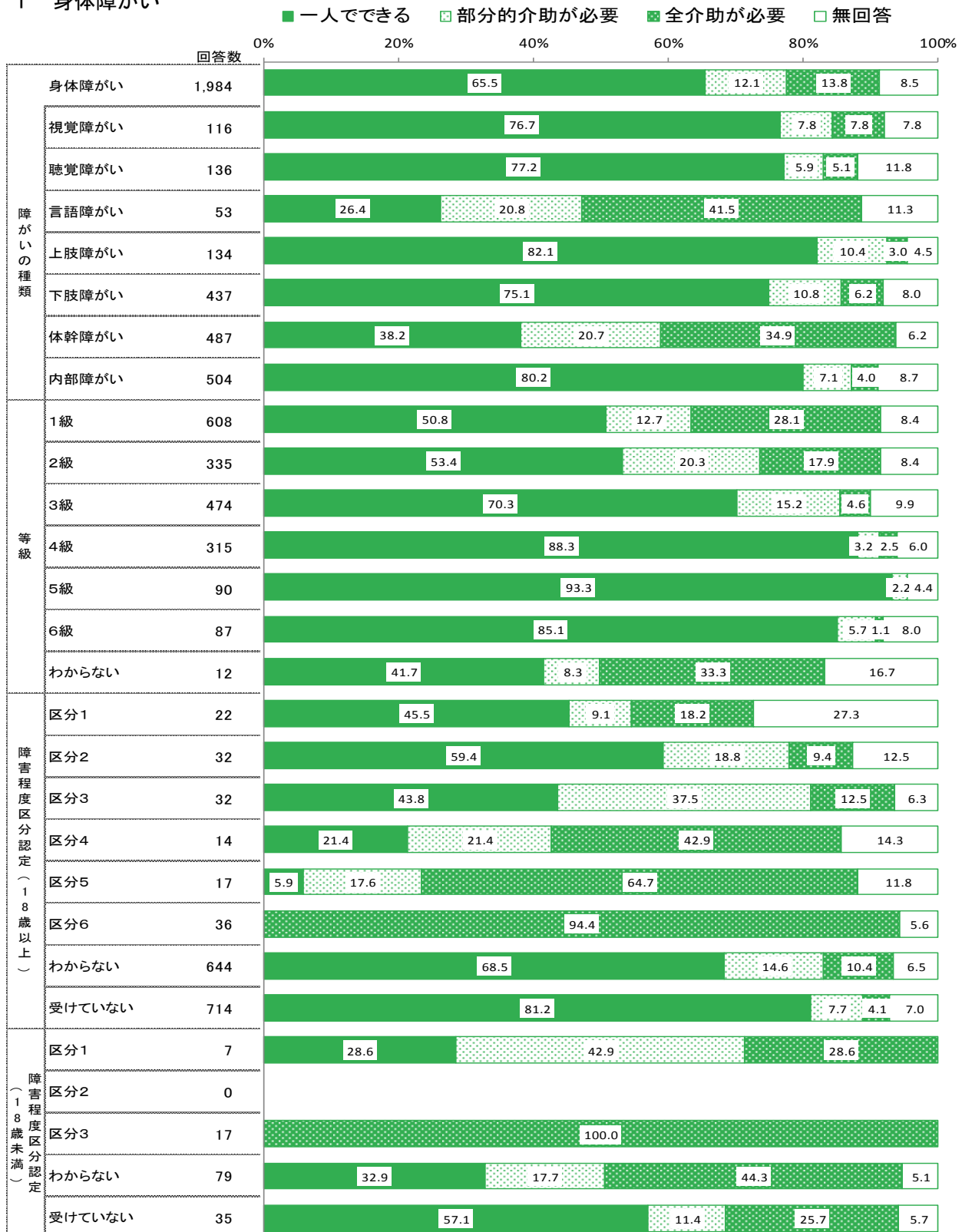


(4) 入浴

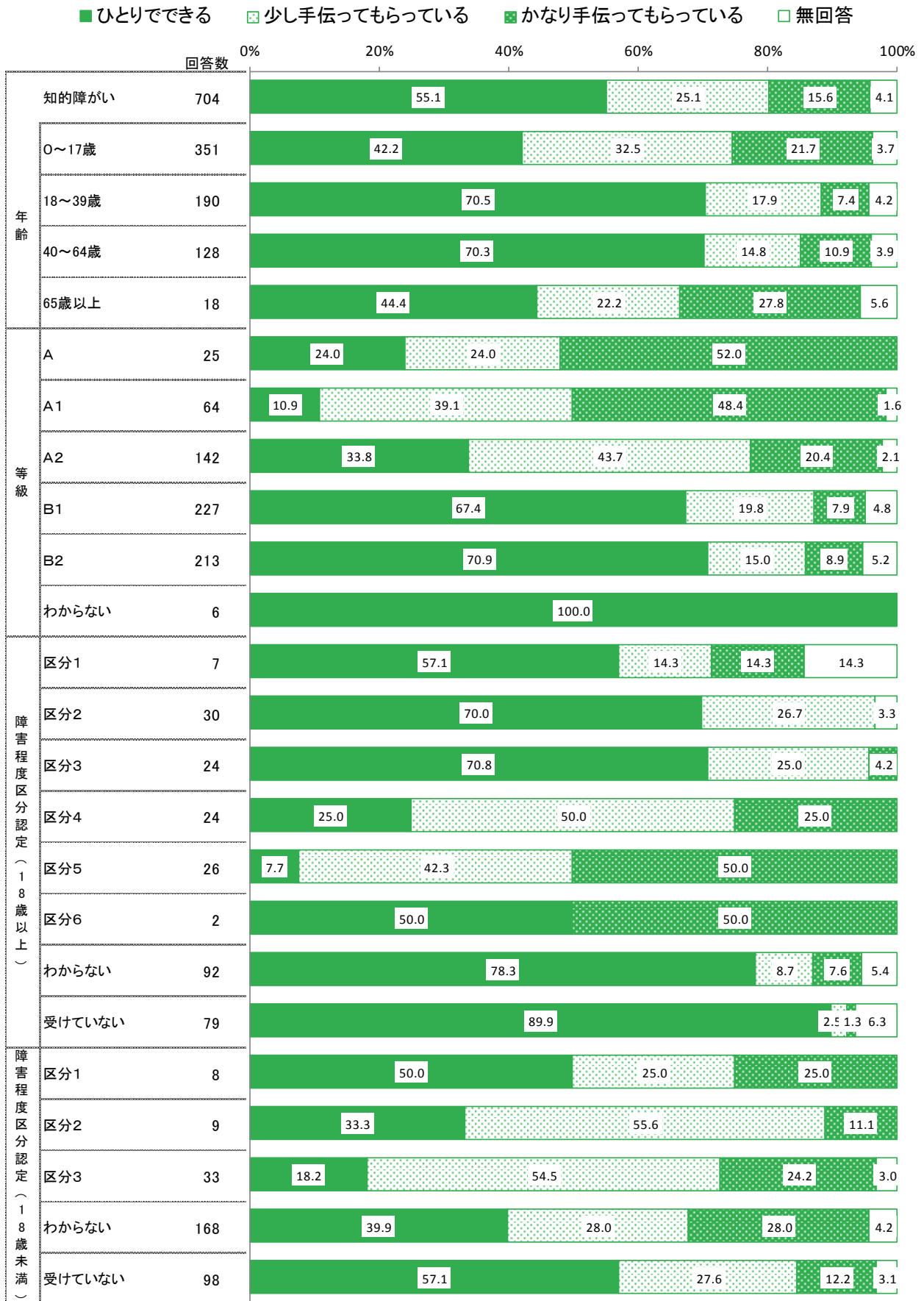
入浴の介助が必要な方は、身体障がい者は25.9%、知的障がい者は40.7%、精神障がい者は17.0%、特定疾患医療受給者は17.6%、手帳未所持者は64.8%となっています。

図表 24 入浴

1 身体障がい

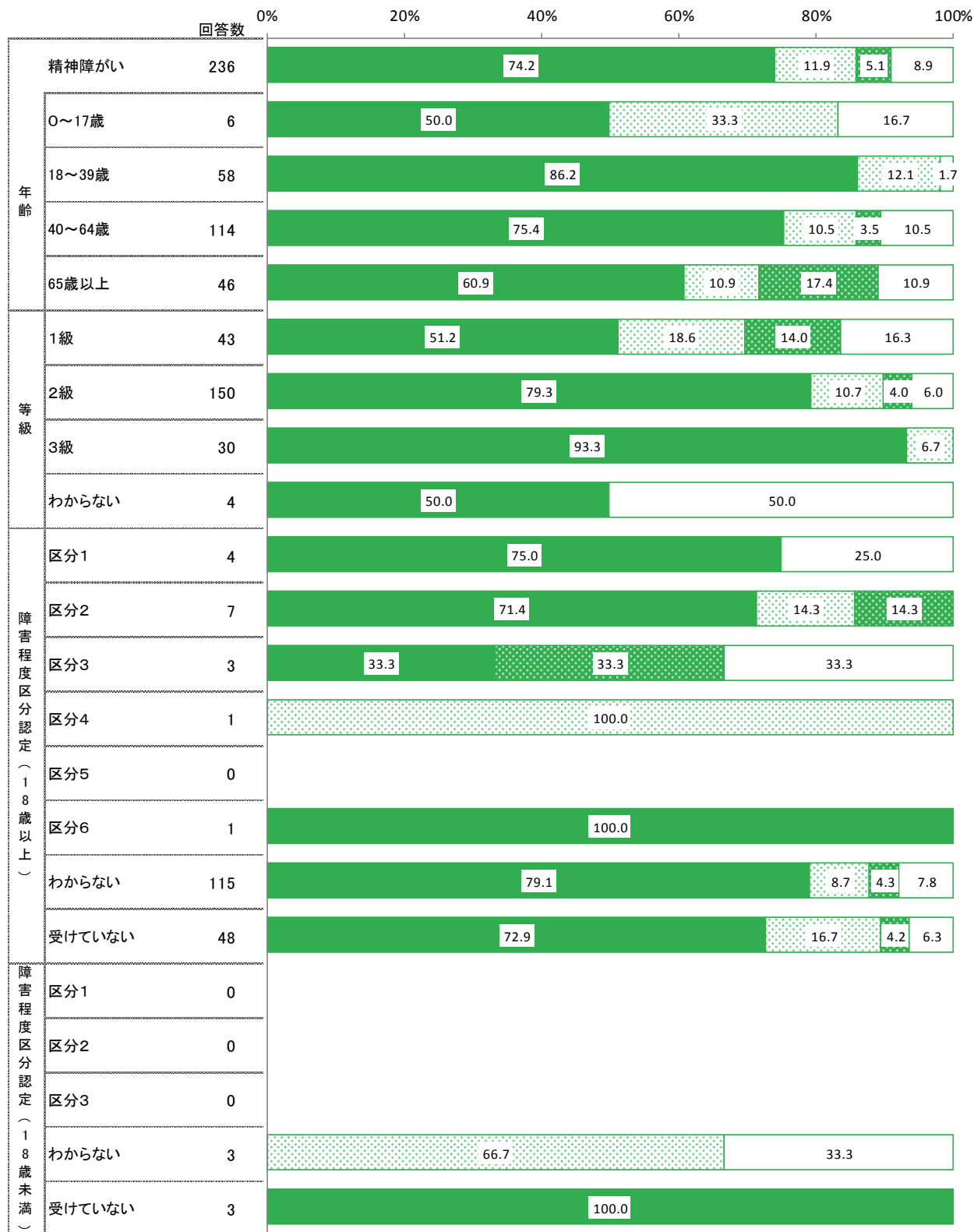


2 知的障がい

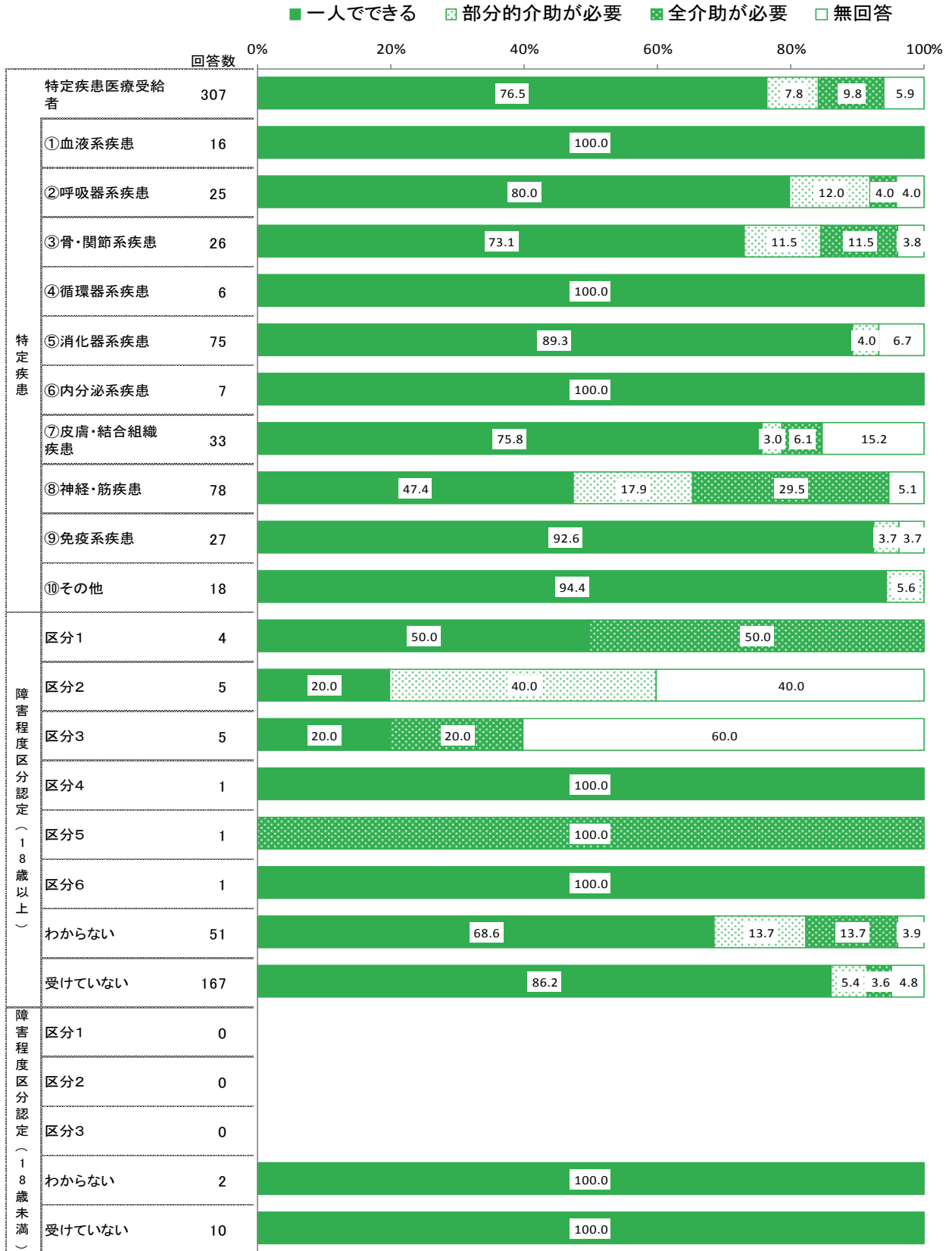


3 精神障がい

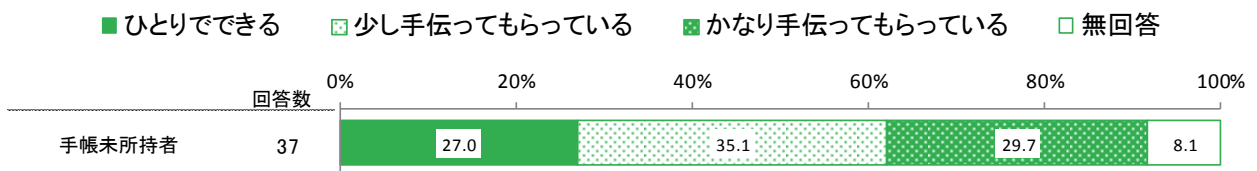
■ ひとりでできる ■ 少し手伝ってもらっている ■ かなり手伝ってもらっている □ 無回答



4 特定疾患医療受給者



5 手帳未所持者

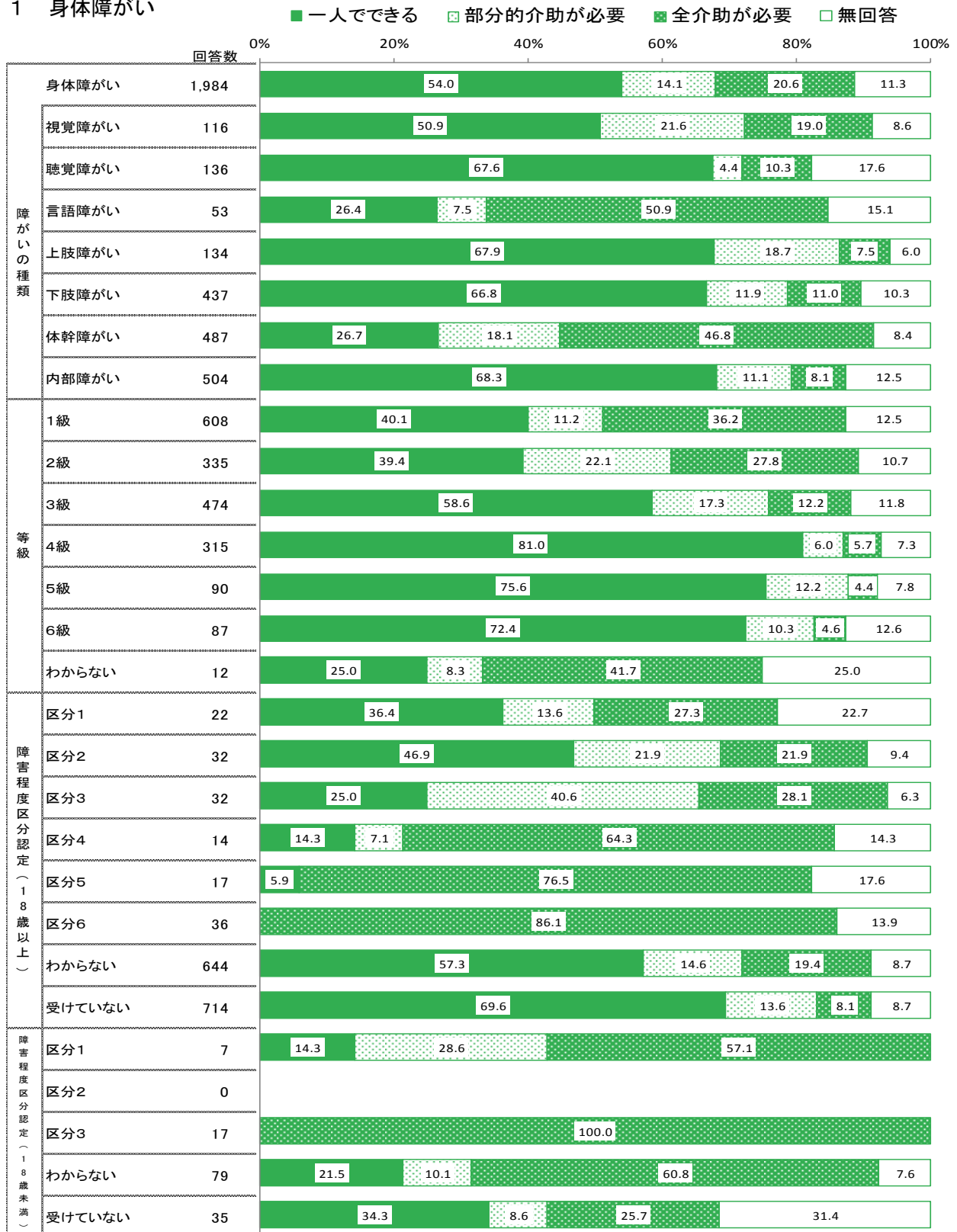


(5) 掃除・洗濯

掃除・洗濯の介助が必要な方は、身体障がい者は 34.7%、知的障がい者は 65.8%、精神障がい者は 51.7%、特定疾患医療受給者は 28.4%、手帳未所持者は 78.4%となっています。

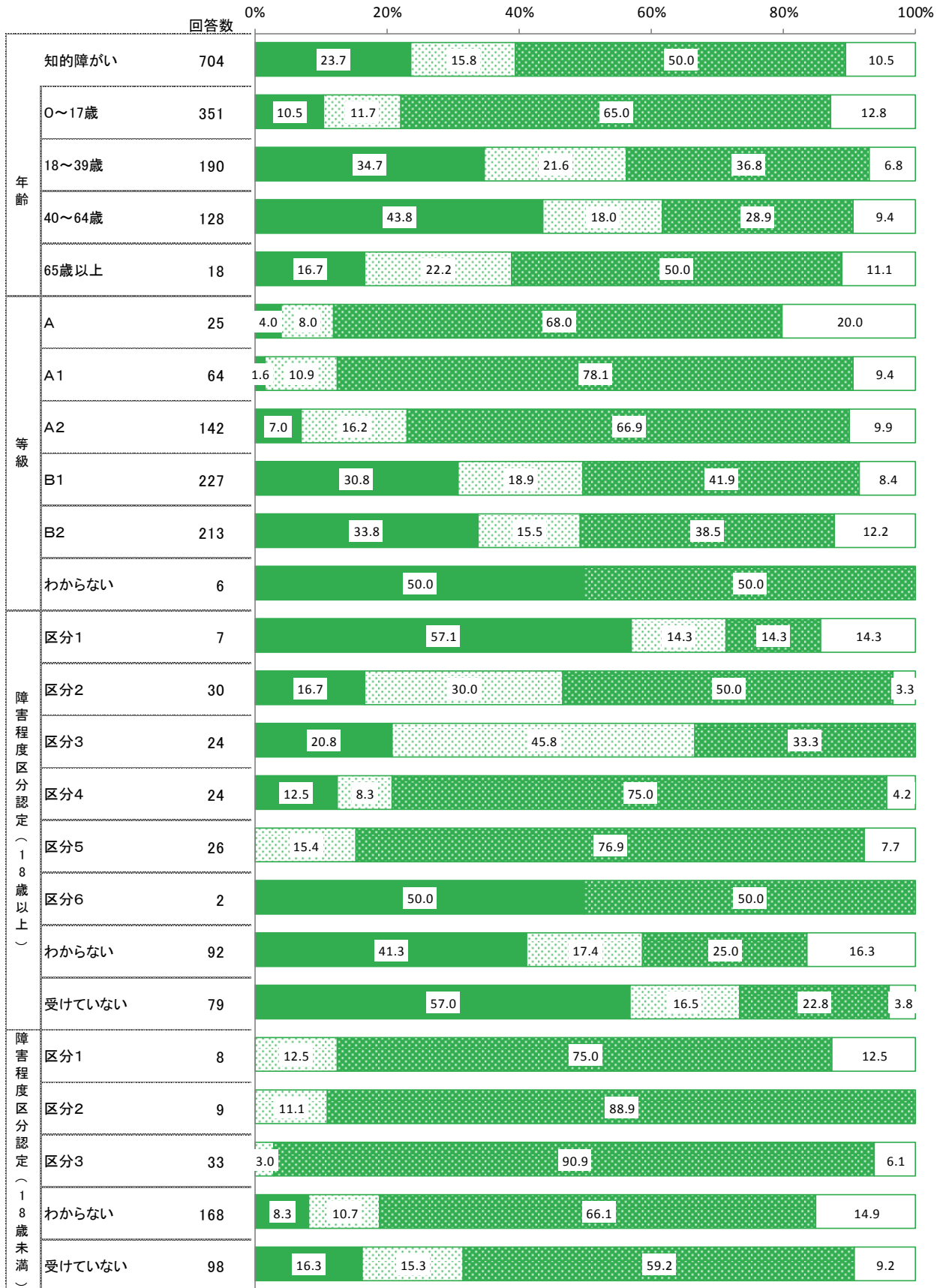
図表 25 掃除・洗濯

1 身体障がい

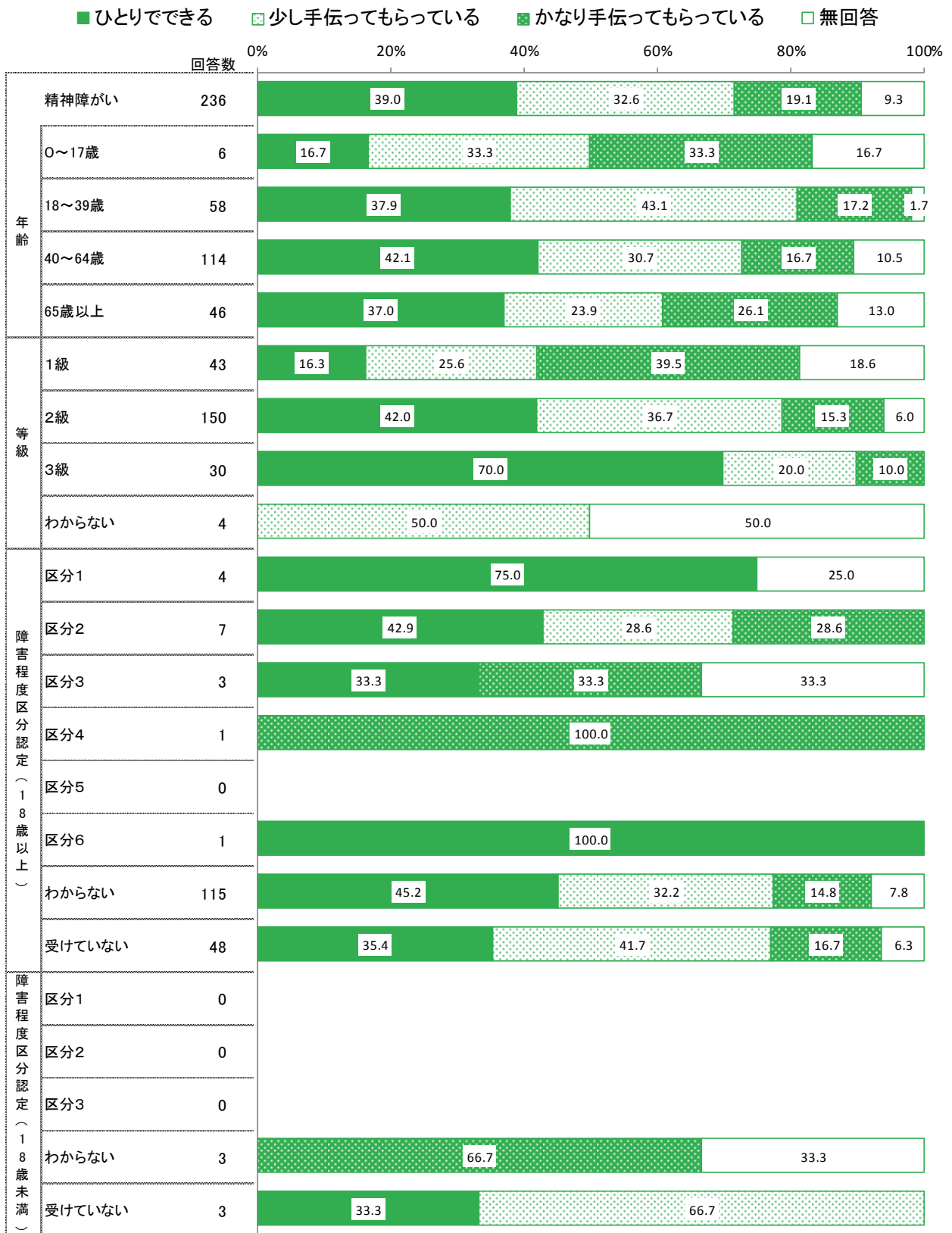


2 知的障がい

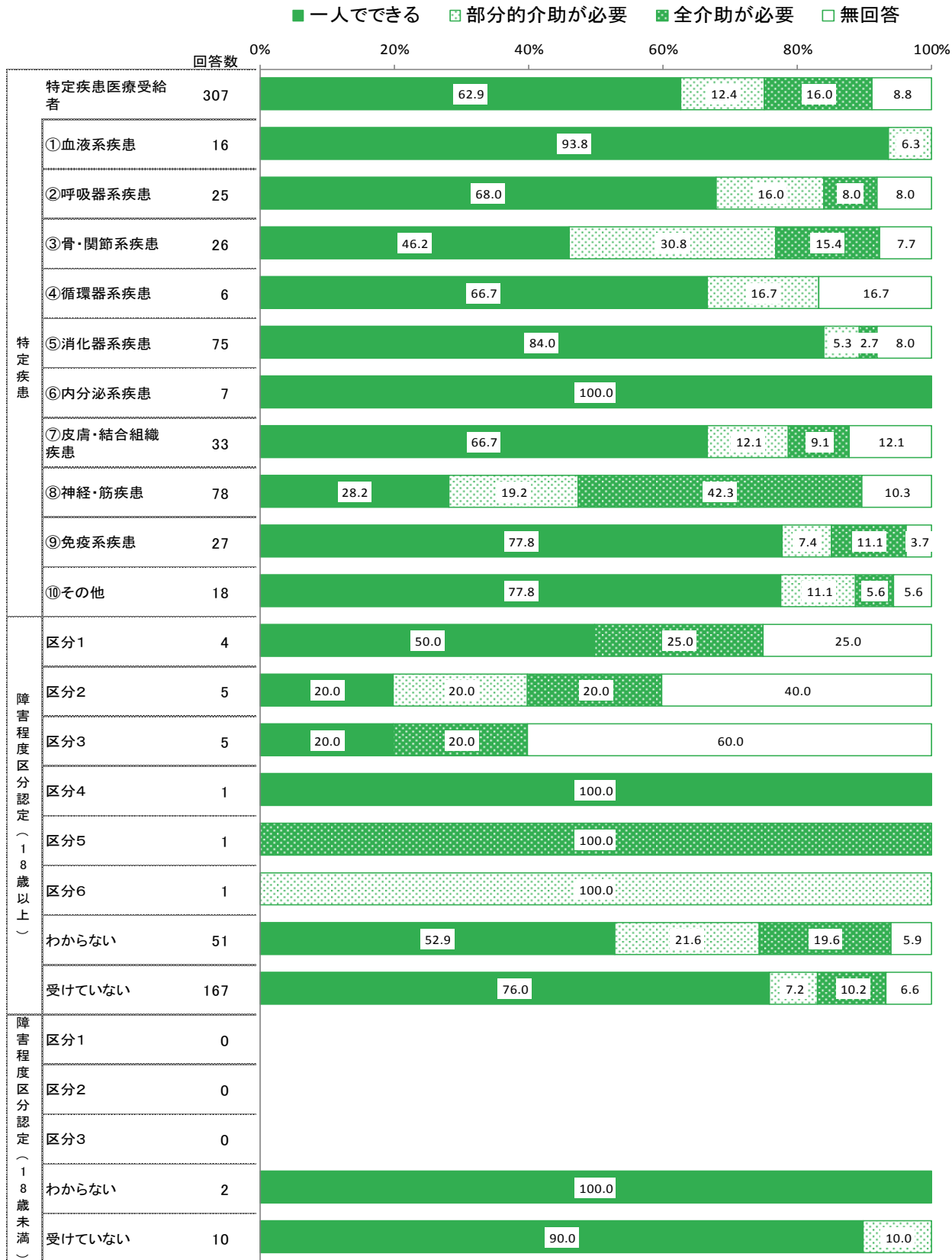
■ ひとりでできる ■ 少し手伝ってもらっている ■ かなり手伝ってもらっている □ 無回答



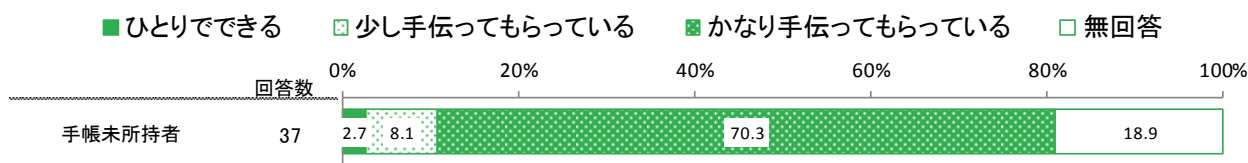
3 精神障がい



4 特定疾患医療受給者



5 手帳未所持者

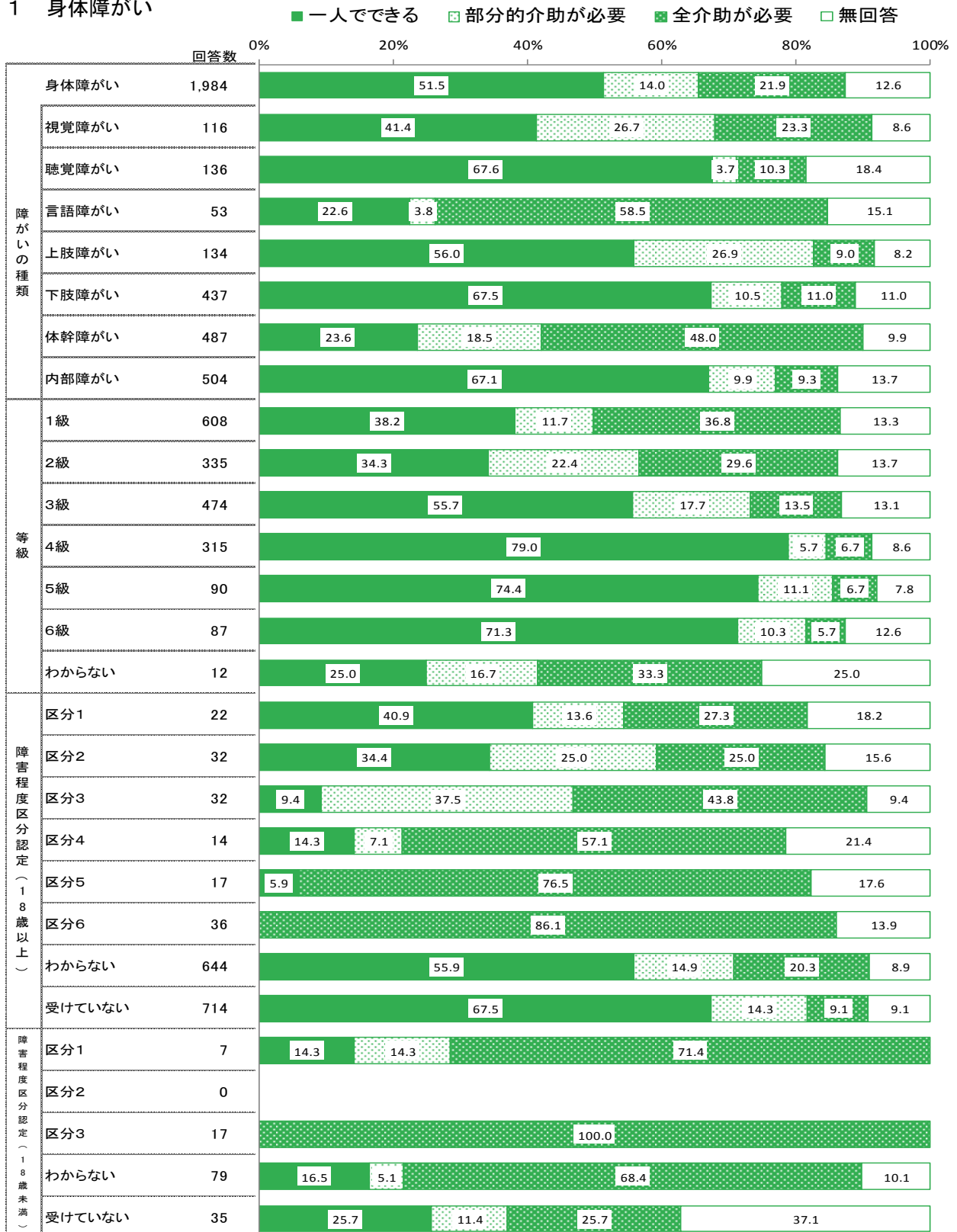


(6) 炊事

炊事の介助が必要な方は、身体障がい者は 35.9%、知的障がい者は 73.0%、精神障がい者は 61.4%、特定疾患医療受給者は 26.1%、手帳未所持者は 83.8%となっています。

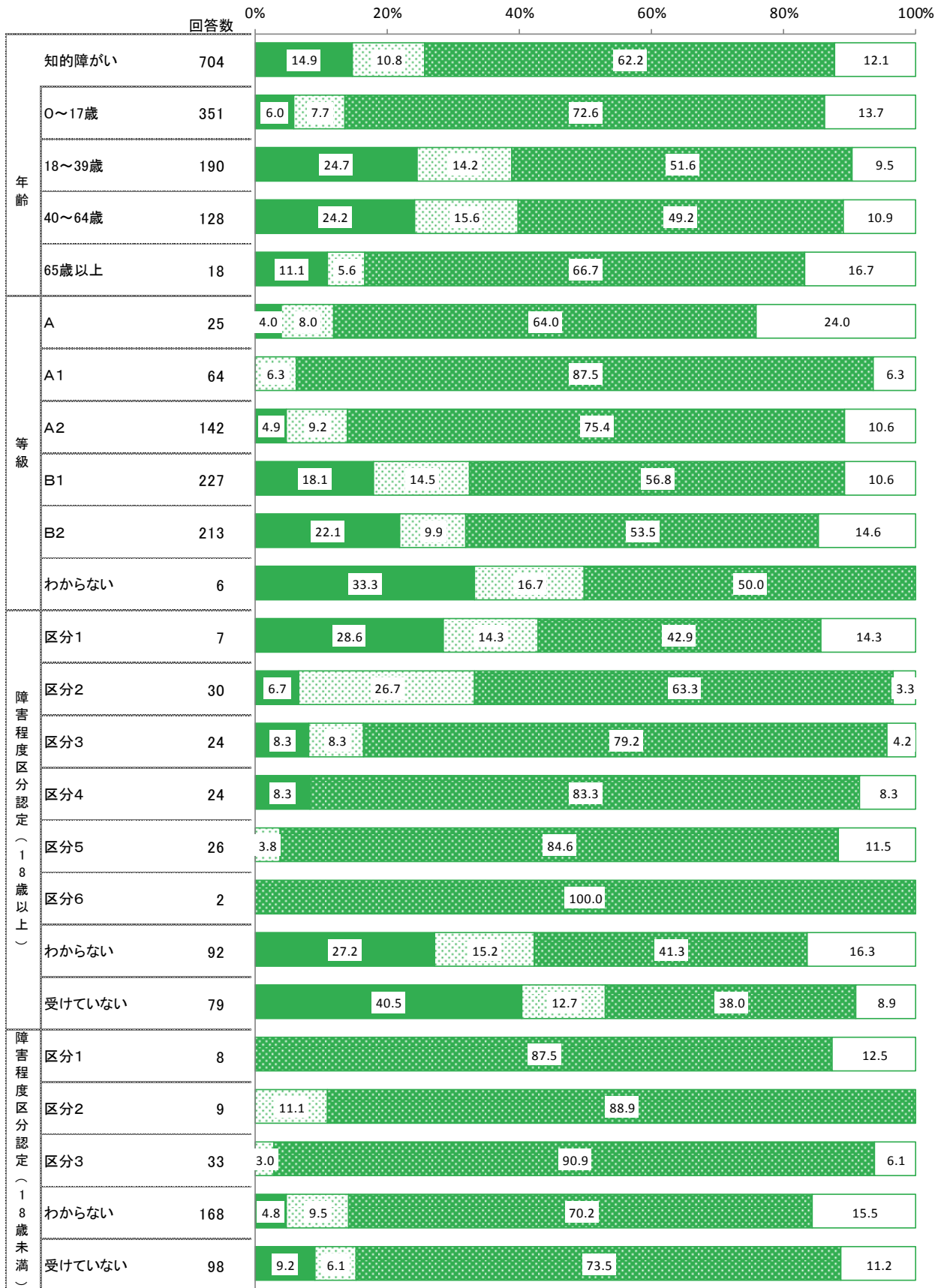
図表 26 炊事

1 身体障がい



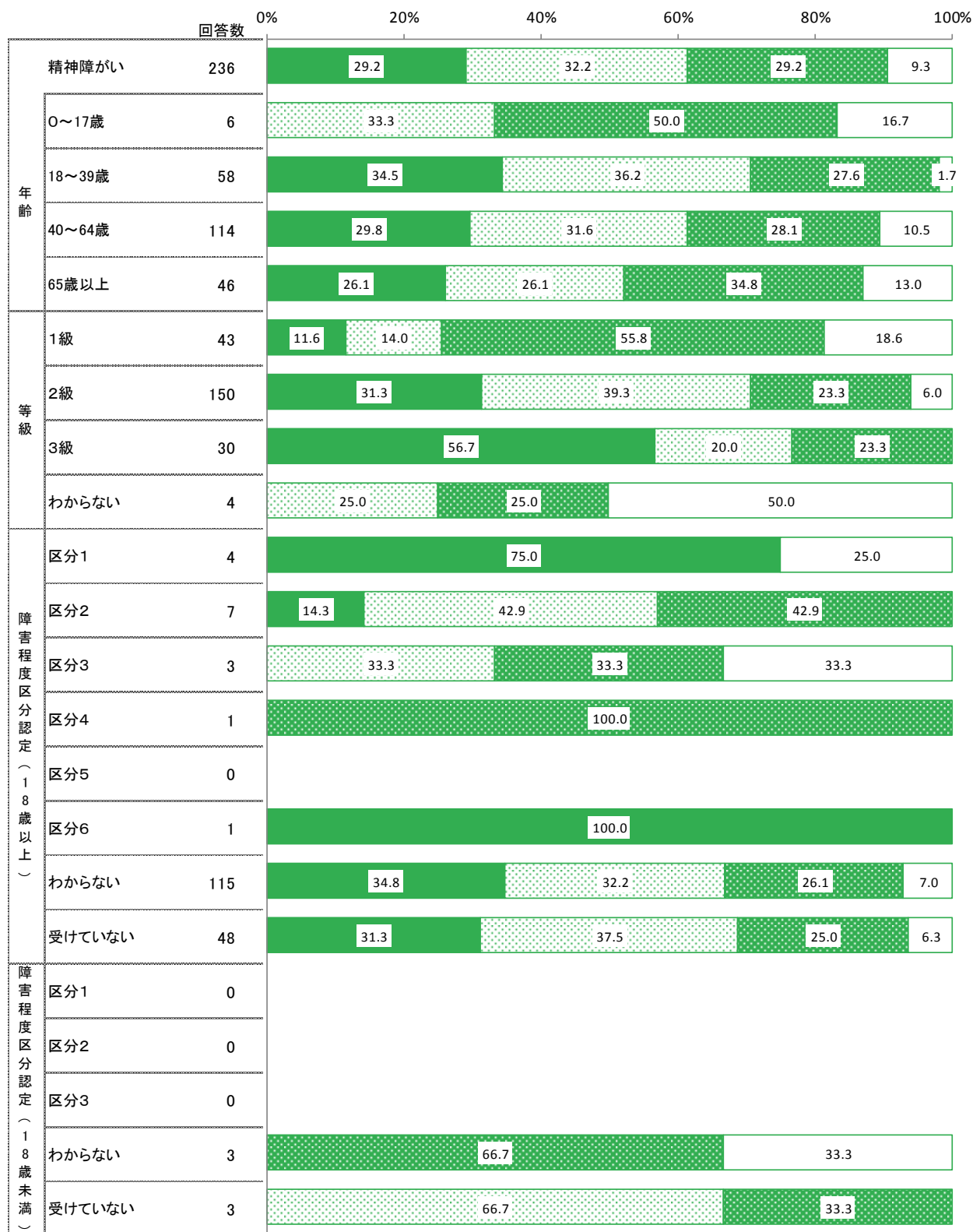
2 知的障がい

■ ひとりでできる ■ 少し手伝ってもらっている ■ かなり手伝ってもらっている □ 無回答

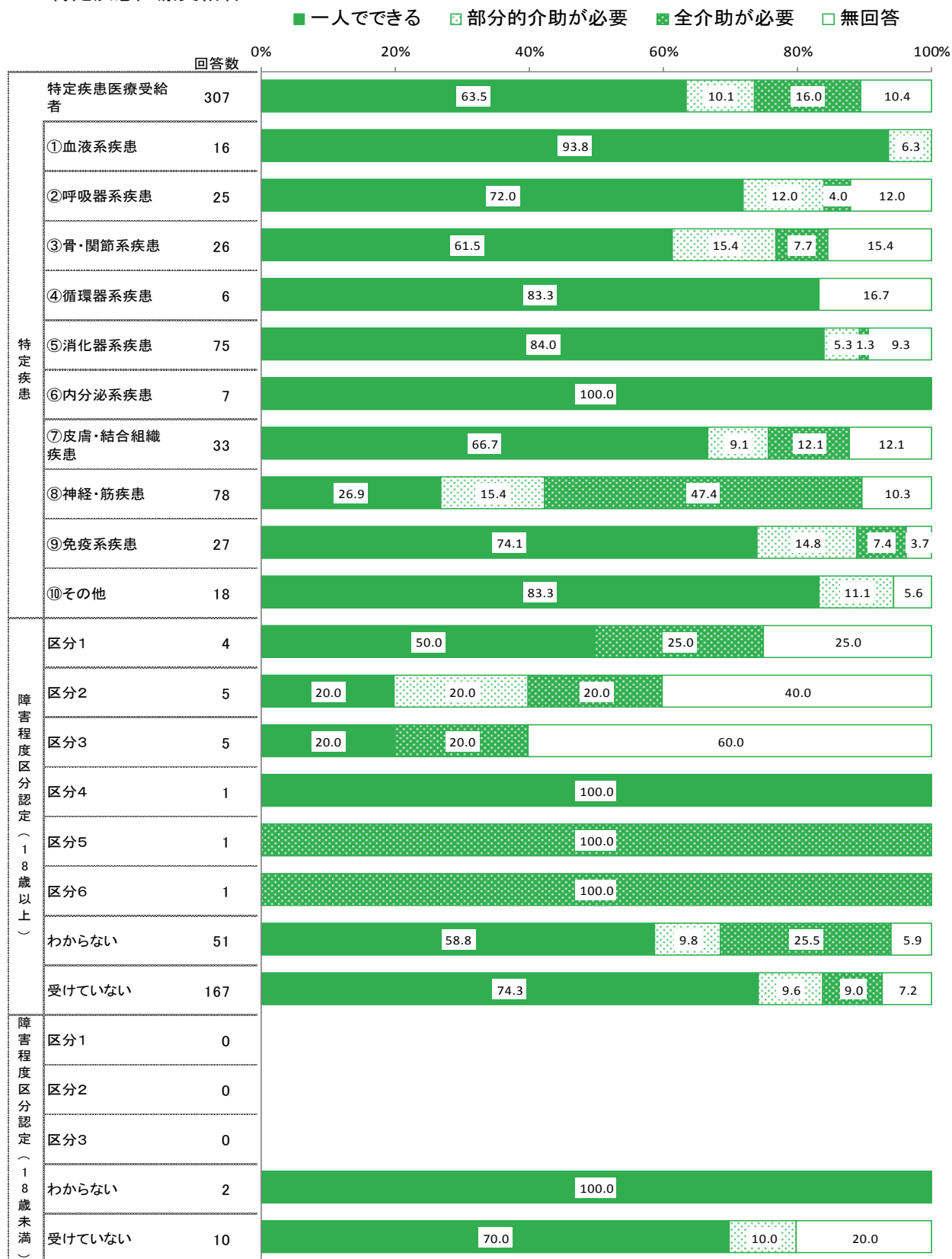


3 精神障がい

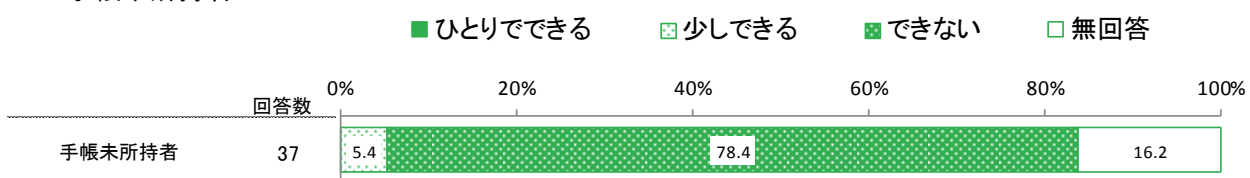
■ ひとりでできる ■ 少し手伝ってもらっている ■ かなり手伝ってもらっている □ 無回答



4 特定疾患医療受給者



5 手帳未所持者

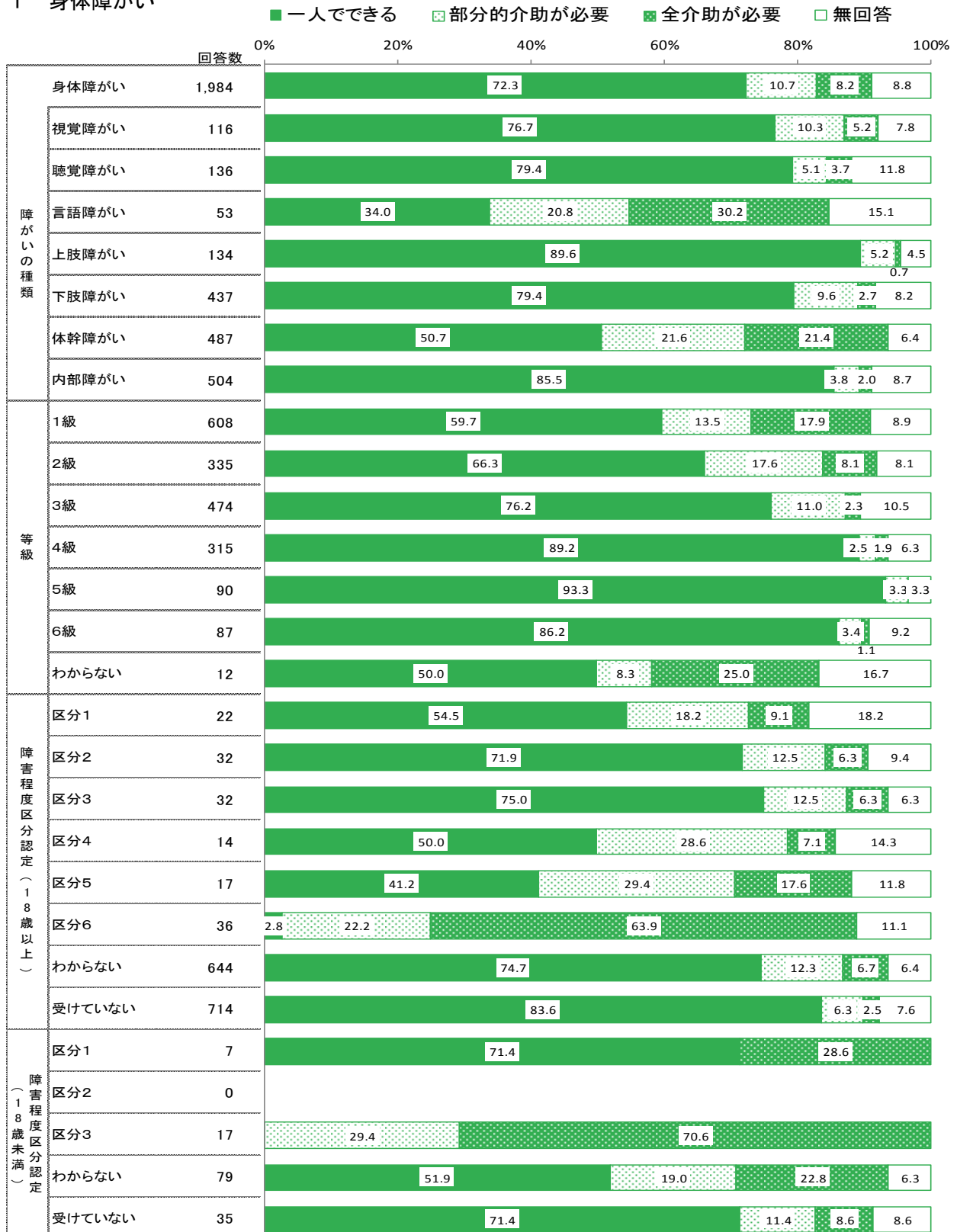


(7) 家の中の移動

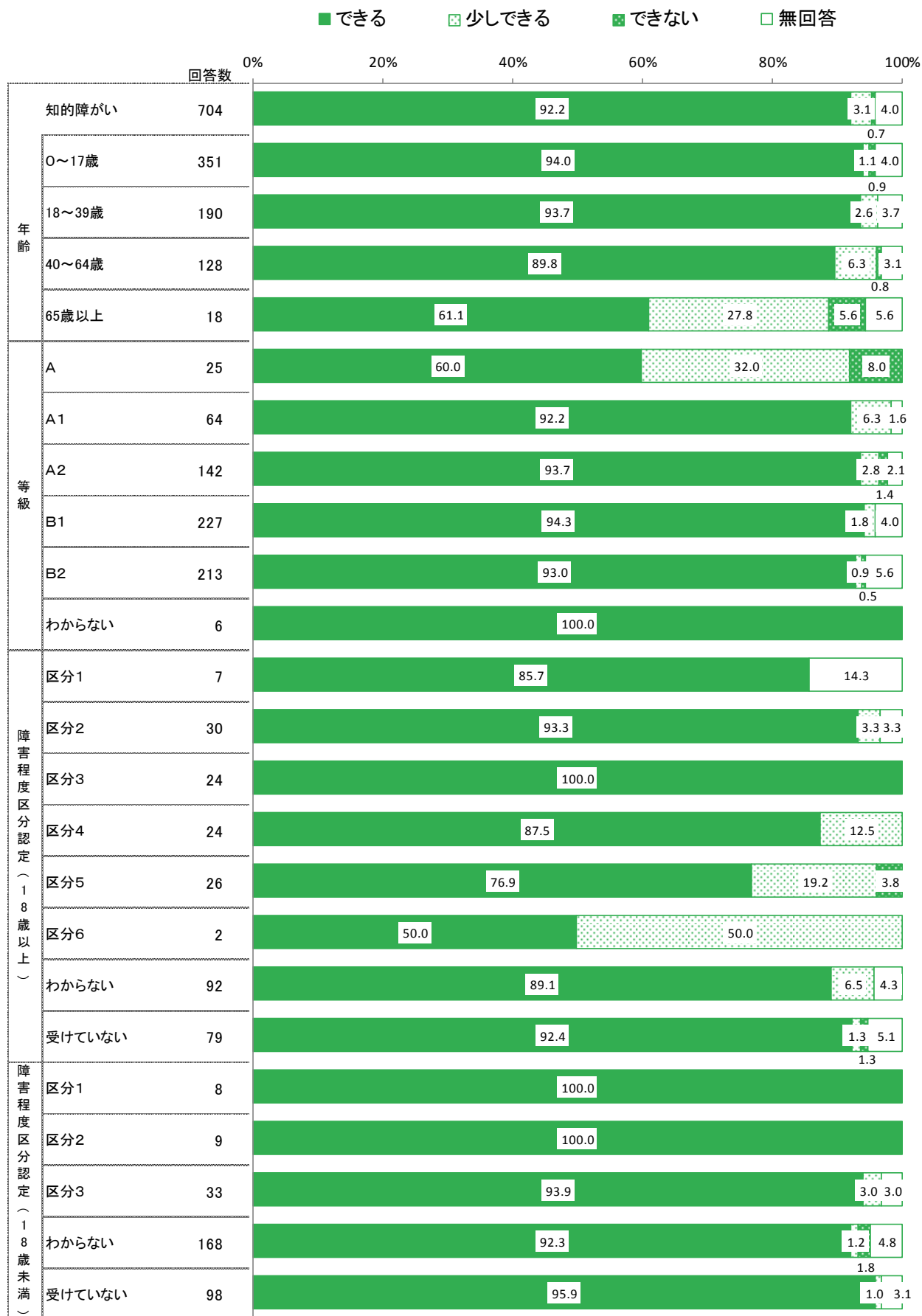
家の中の移動の介助が必要な方は、身体障がい者は18.9%、知的障がい者は3.8%、精神障がい者は16.5%、特定疾患医療受給者は16.9%、手帳未所持者は5.4%となっています。

図表 27 家の中の移動

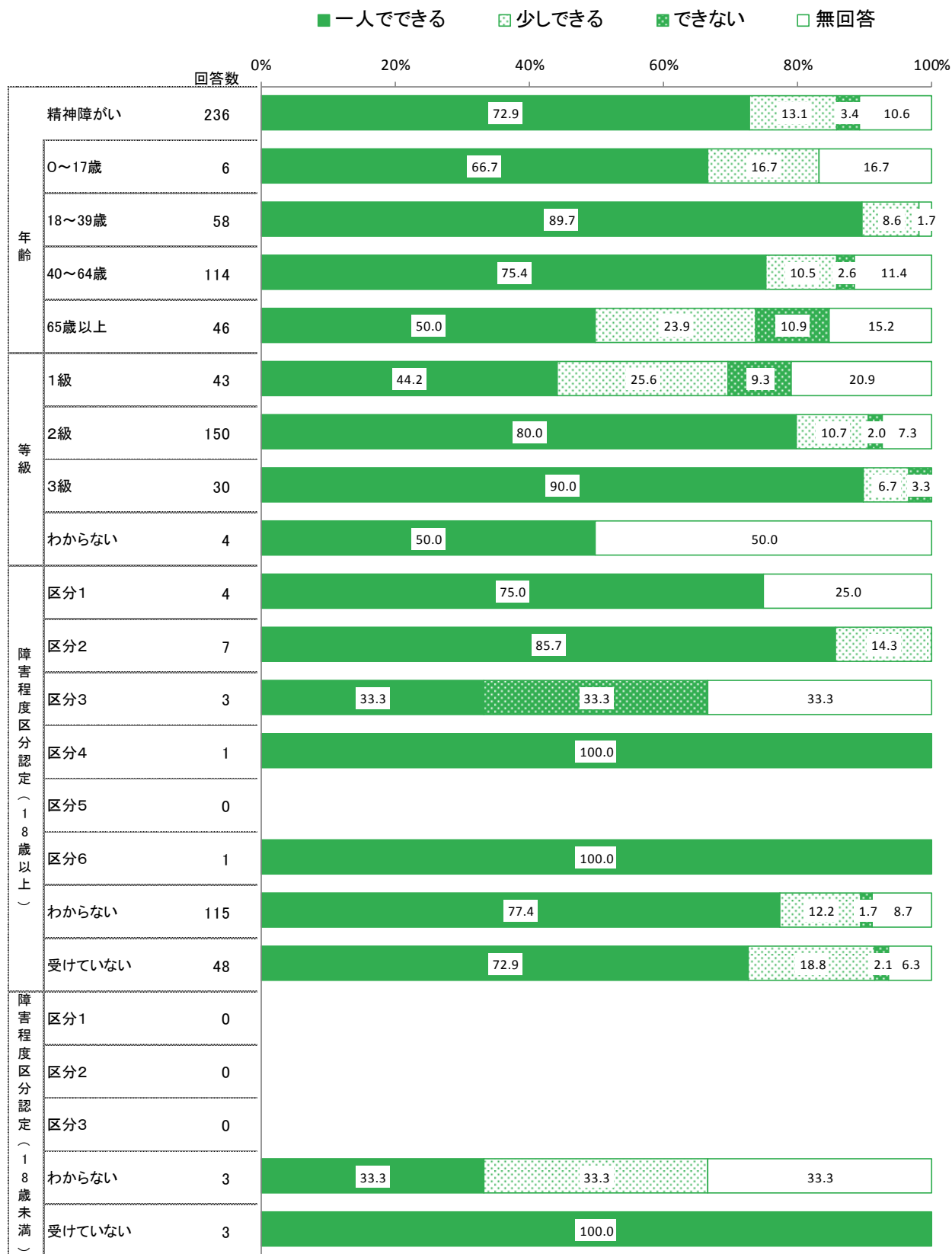
1 身体障がい



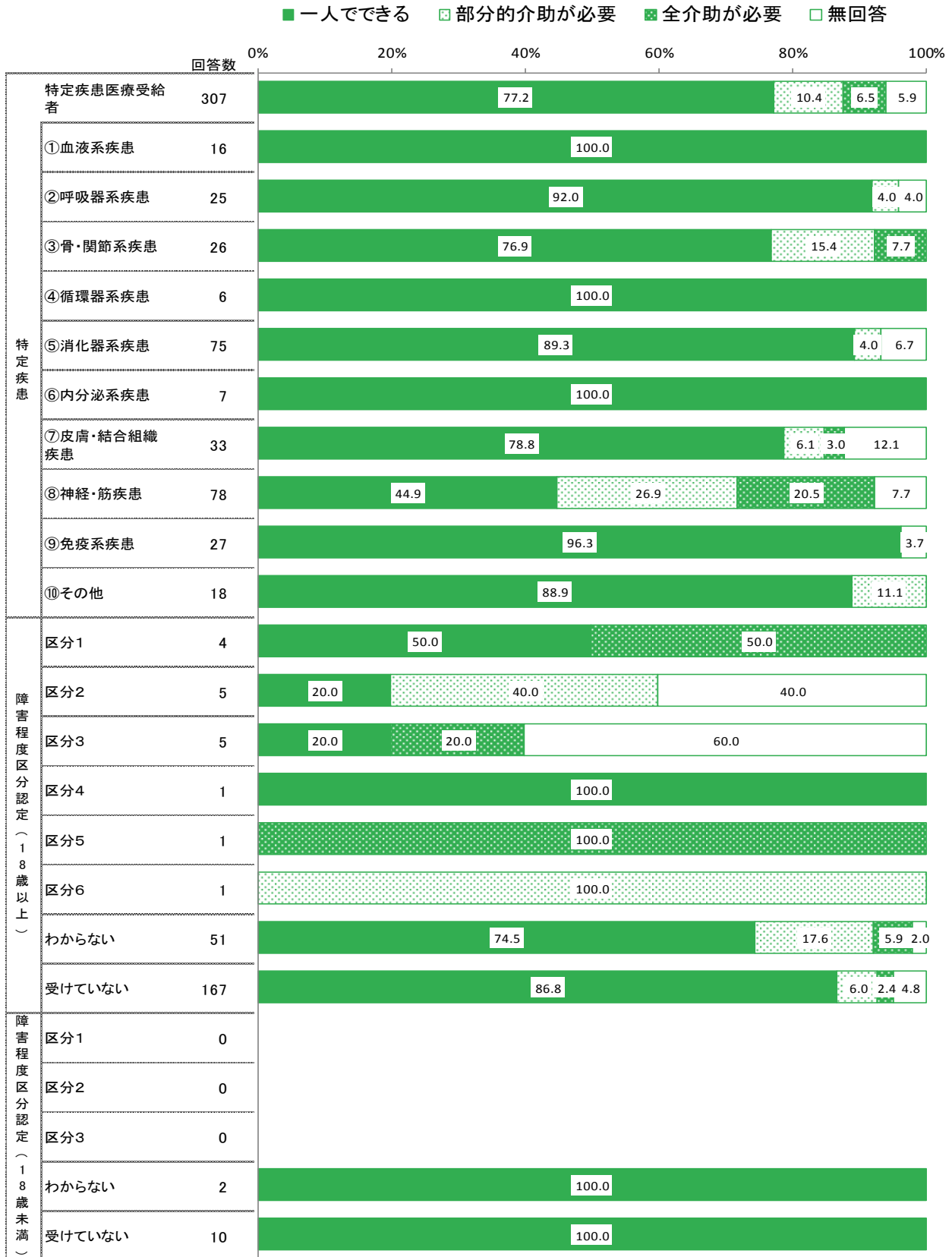
2 知的障がい



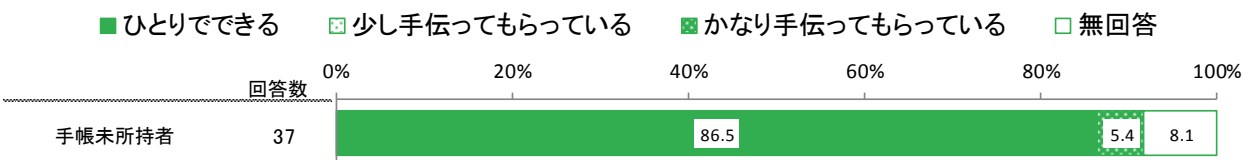
3 精神障がい



4 特定疾患医療受給者



5 手帳未所持者

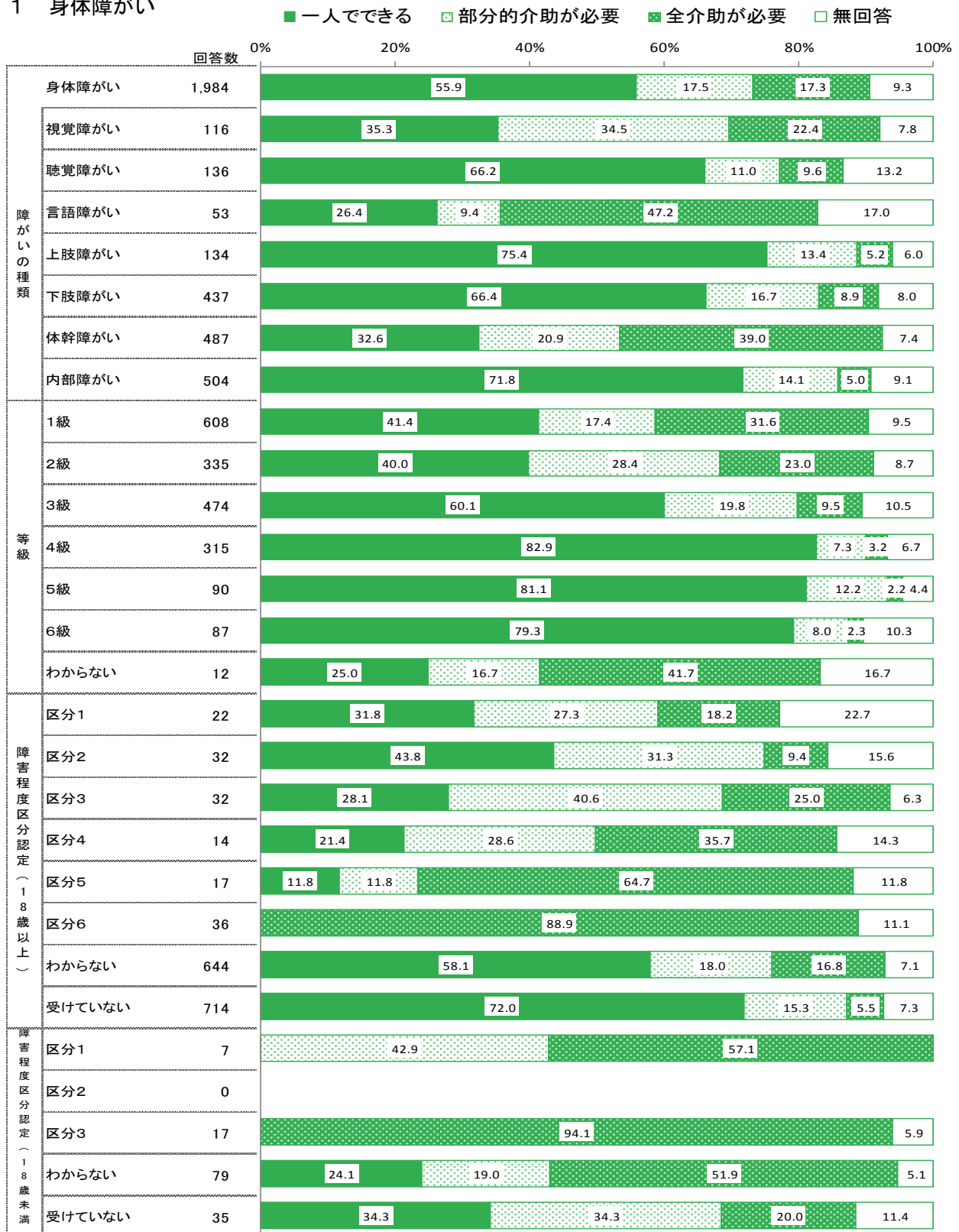


(8) 外出

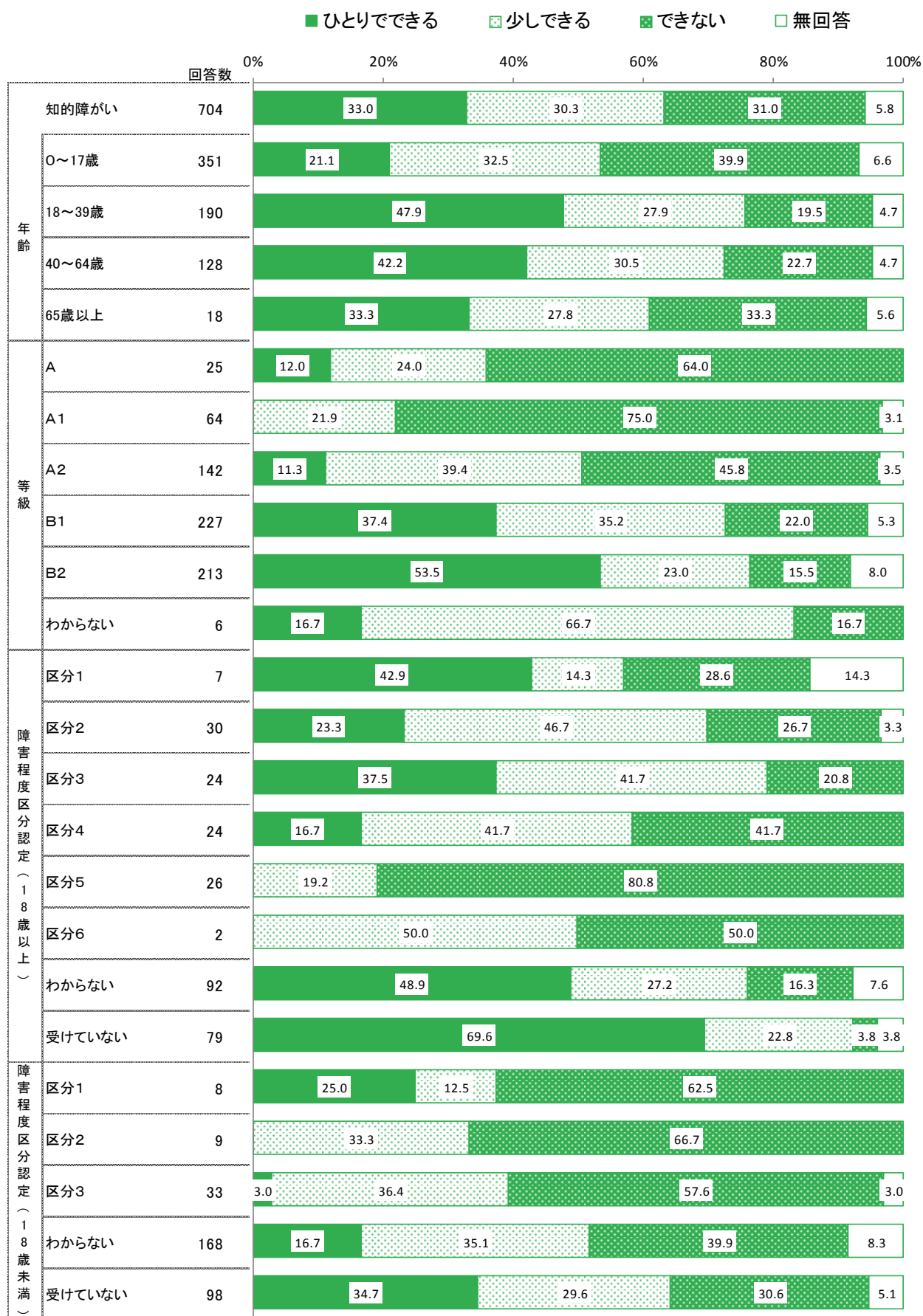
外出の介助が必要な方は、身体障がい者は34.8%、知的障がい者は61.3%、精神障がい者は41.1%、特定疾患医療受給者は27.7%、手帳未所持者は70.2%となっています。

図表 28 外出

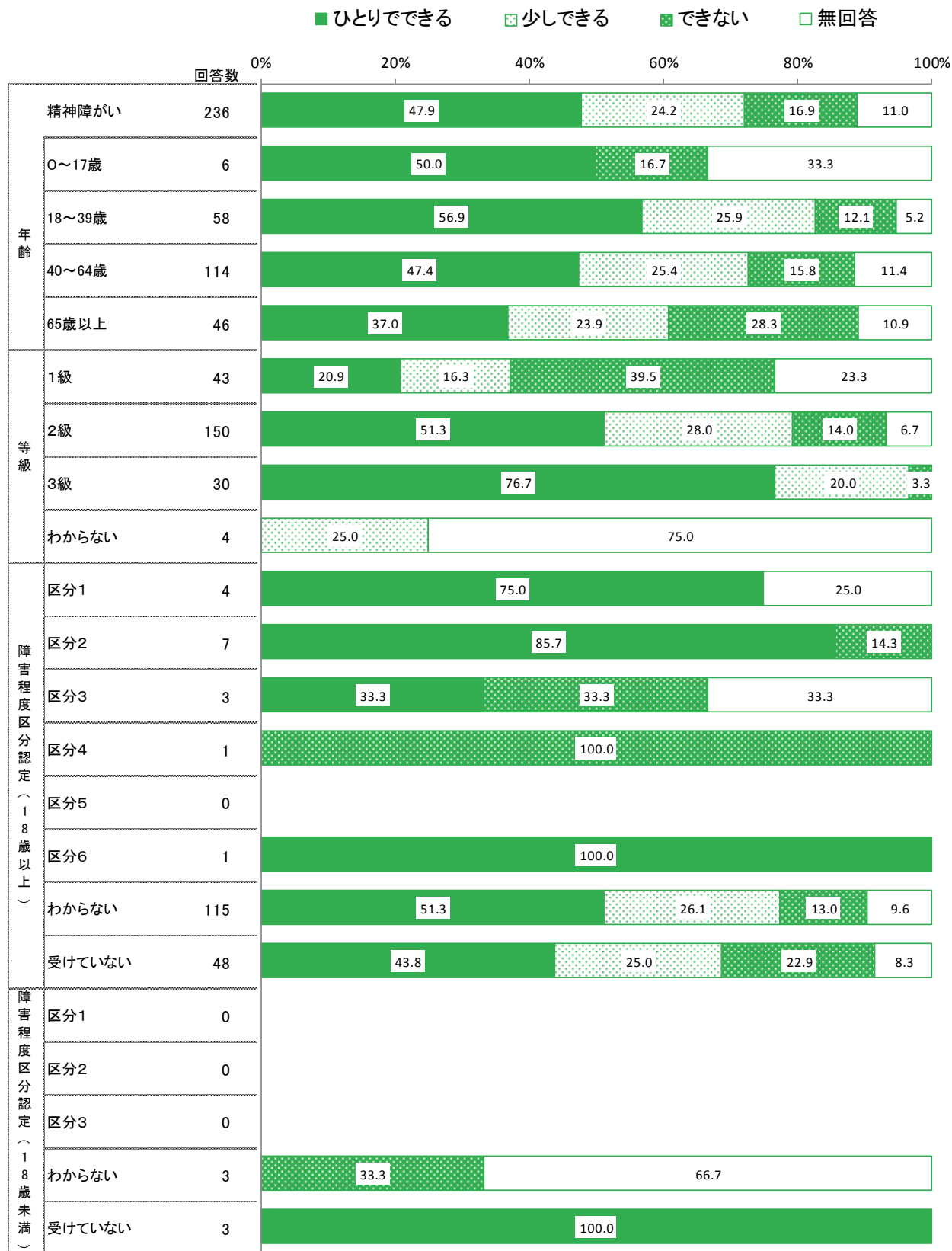
1 身体障がい



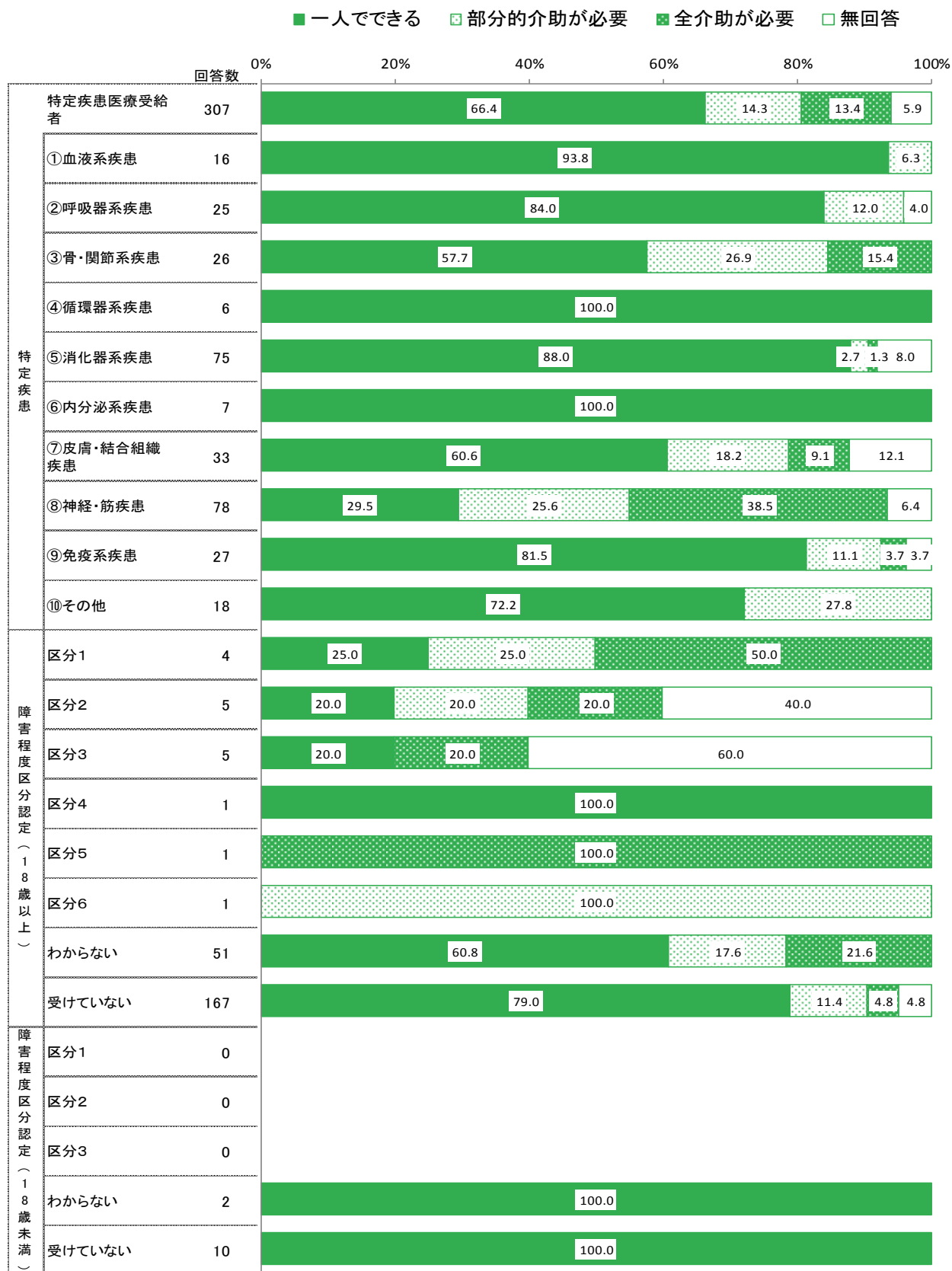
2 知的障がい



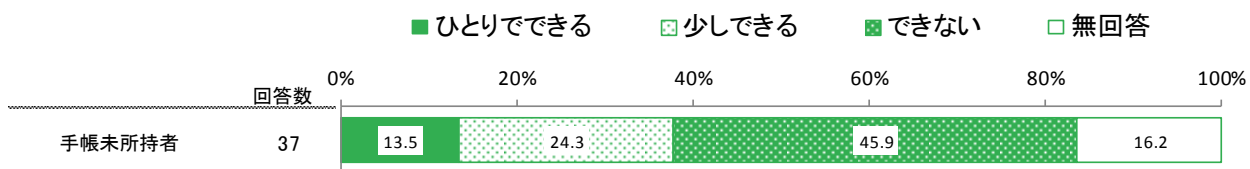
3 精神障がい



4 特定疾患医療受給者



5 手帳未所持者

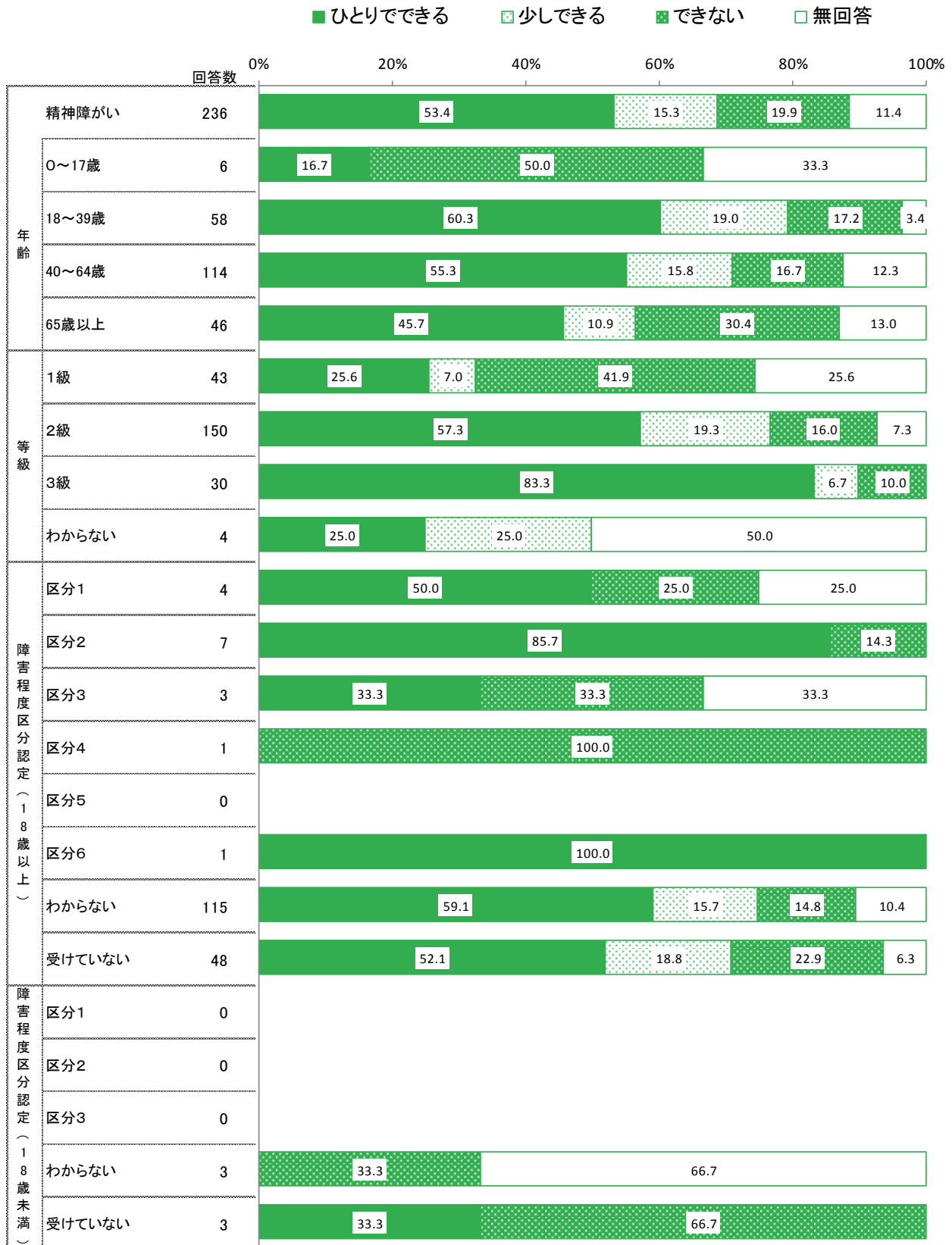


(9) 通院

通院の介助が必要な精神障がい者は 35.2% となっています。

図表 29 通院

1 精神障がい

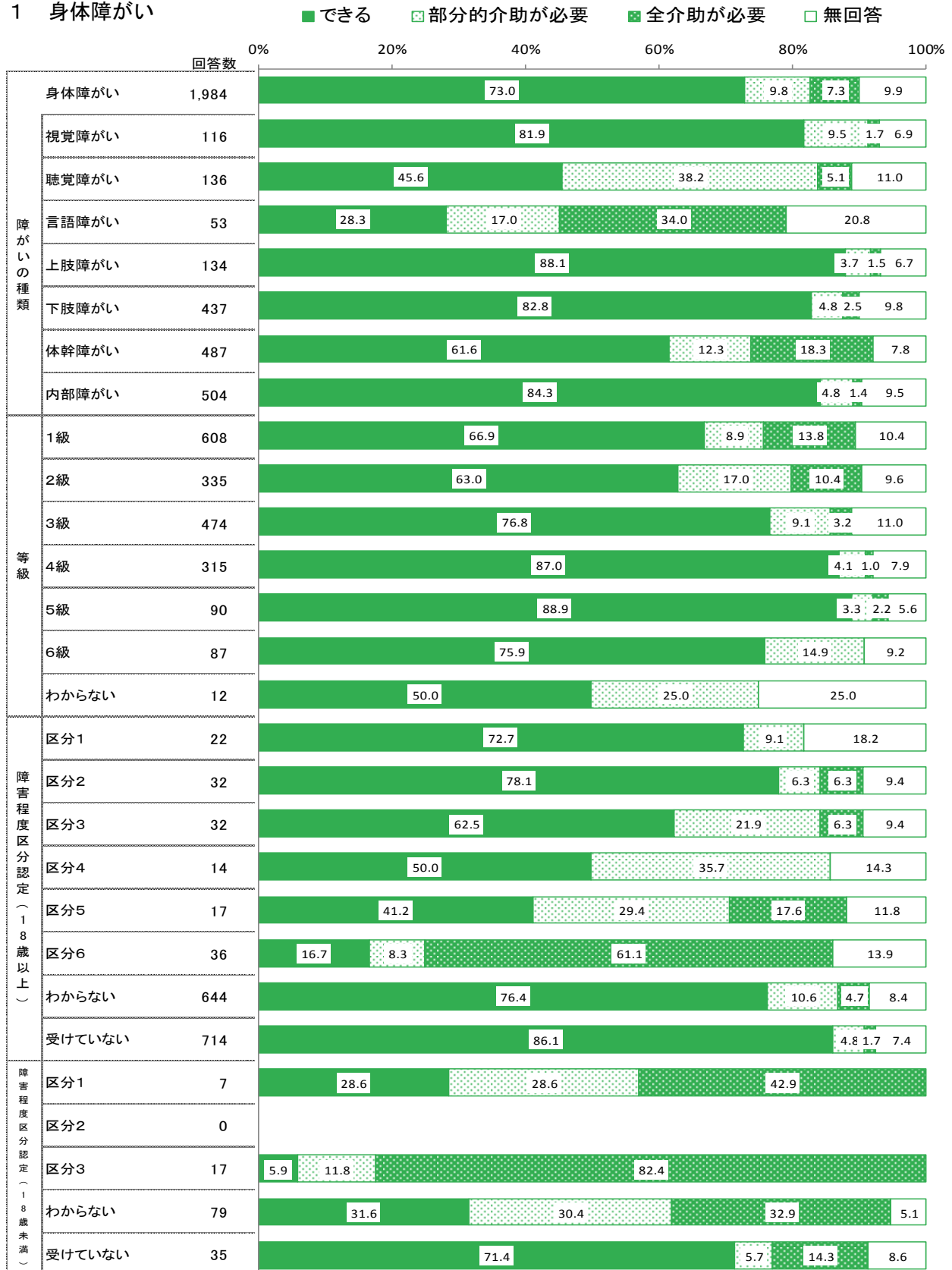


(10) 家族以外とのコミュニケーション・会話

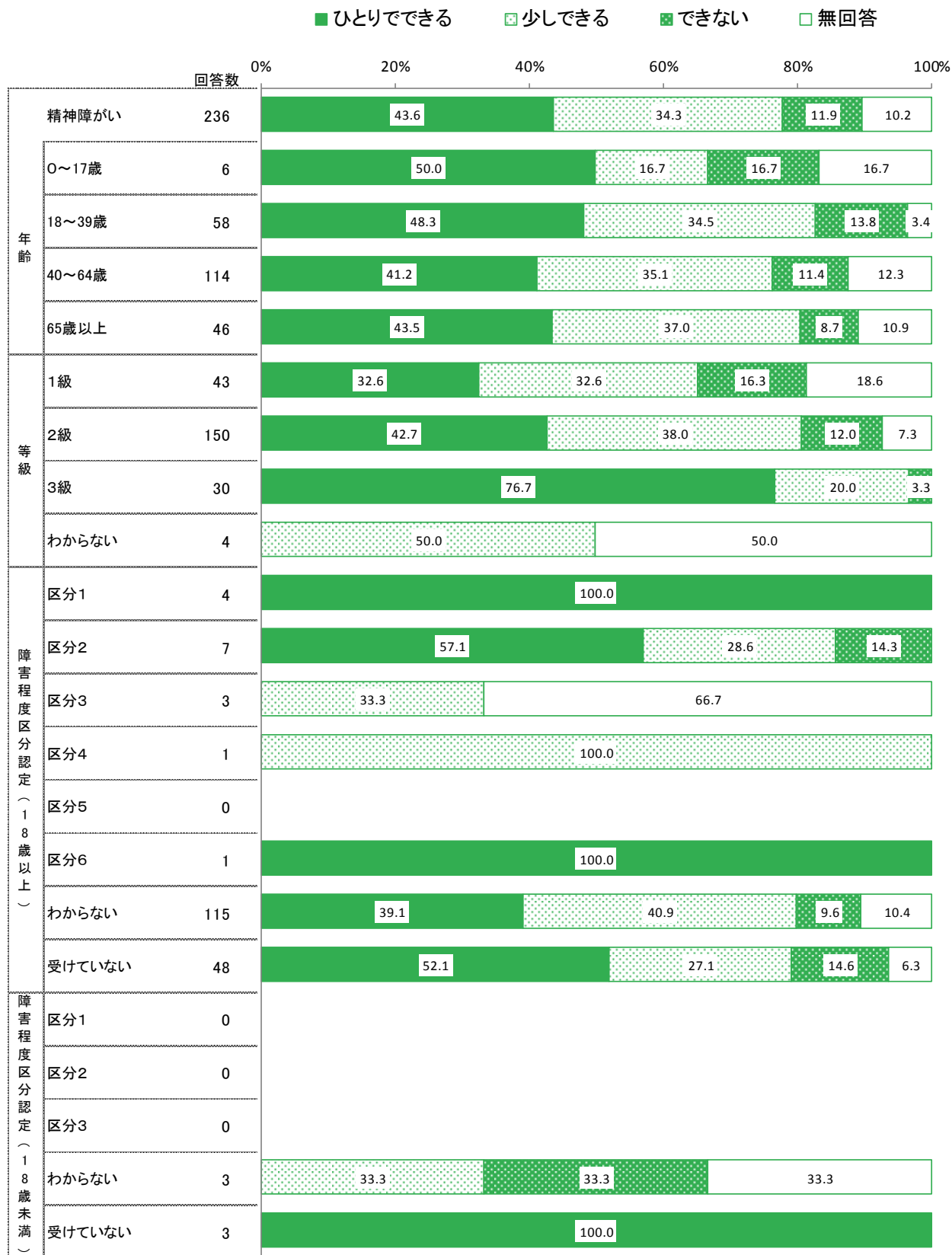
家族以外とのコミュニケーション・会話の介助が必要な方は、身体障がい者は17.1%、精神障がい者は46.2%、特定疾患医療受給者は11.8%となっています。

図表 30 家族以外とのコミュニケーション・会話

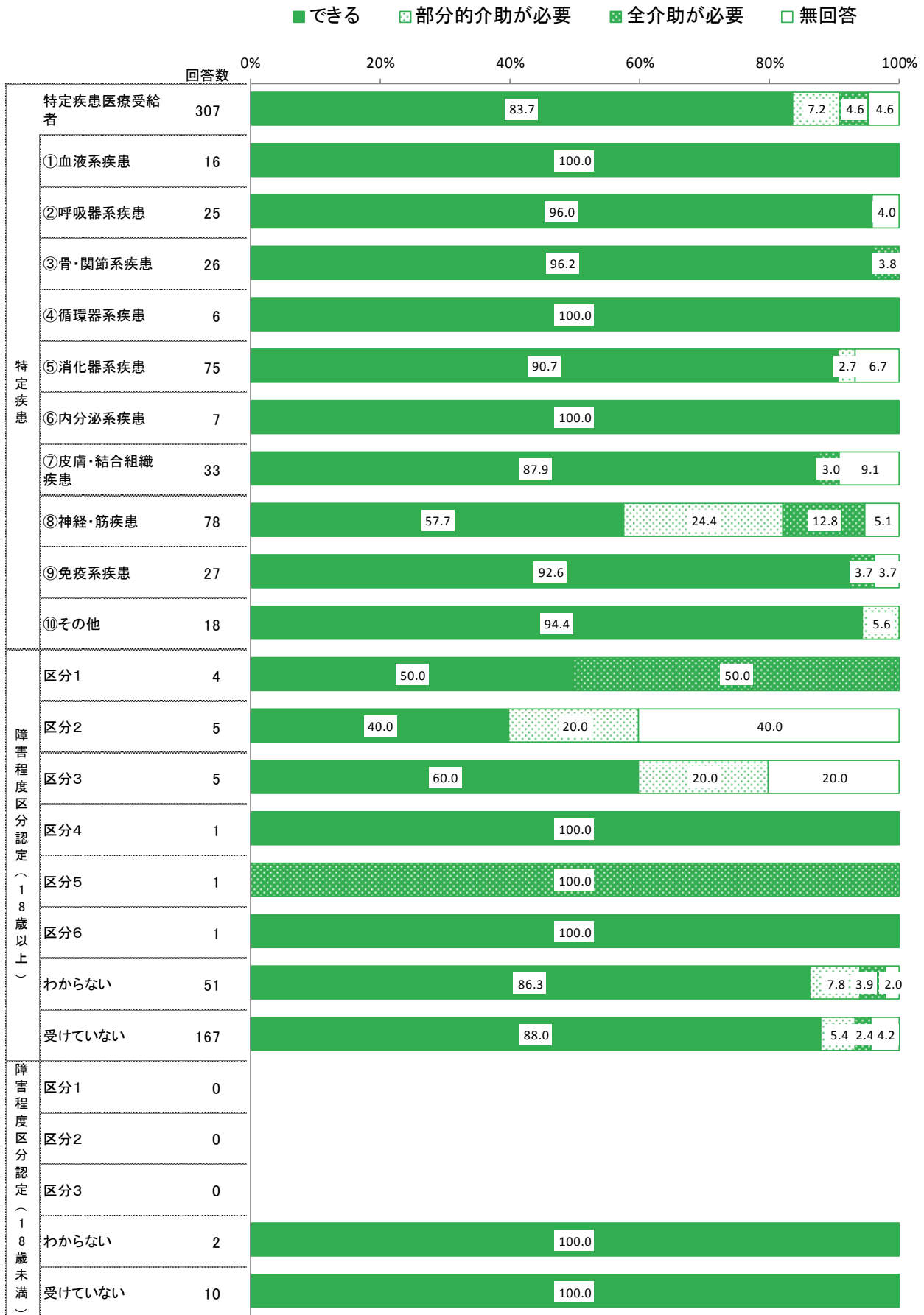
1 身体障がい



2 精神障がい



3 特定疾患医療受給者

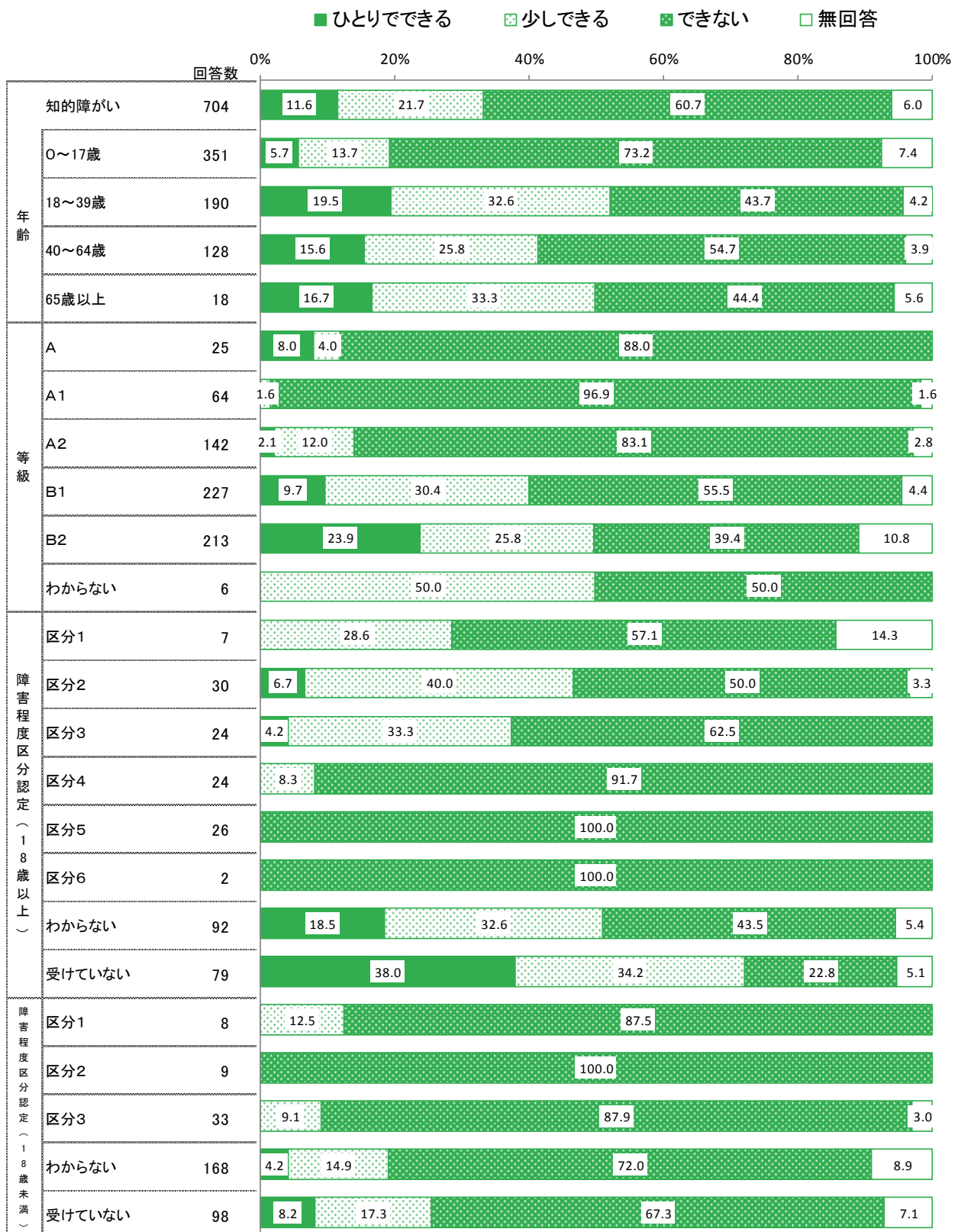


(11) 金銭管理

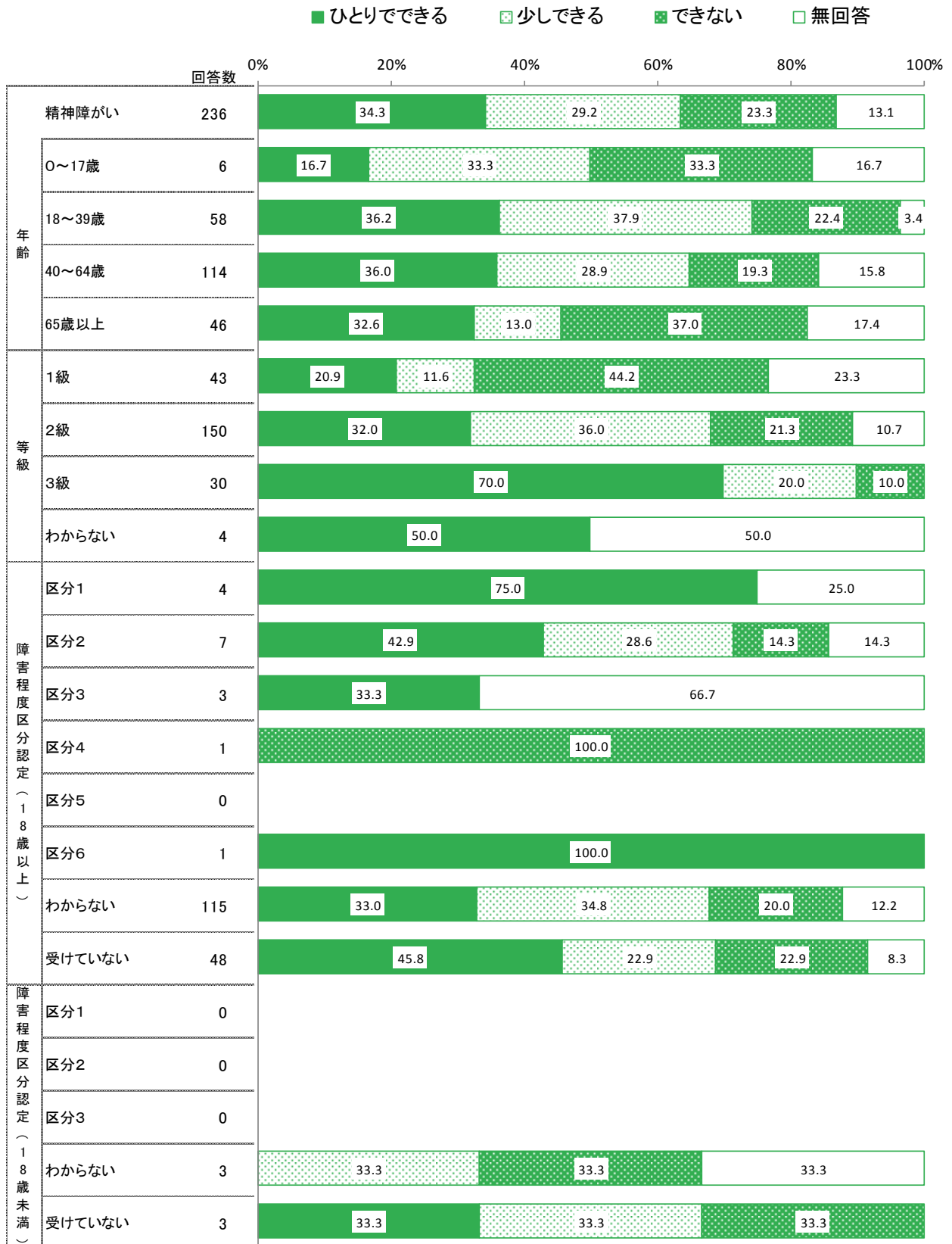
金銭管理の介助が必要な方は、知的障がい者は82.4%、精神障がい者は52.5%となっています。

図表 31 金銭管理

1 知的障がい



2 精神障がい

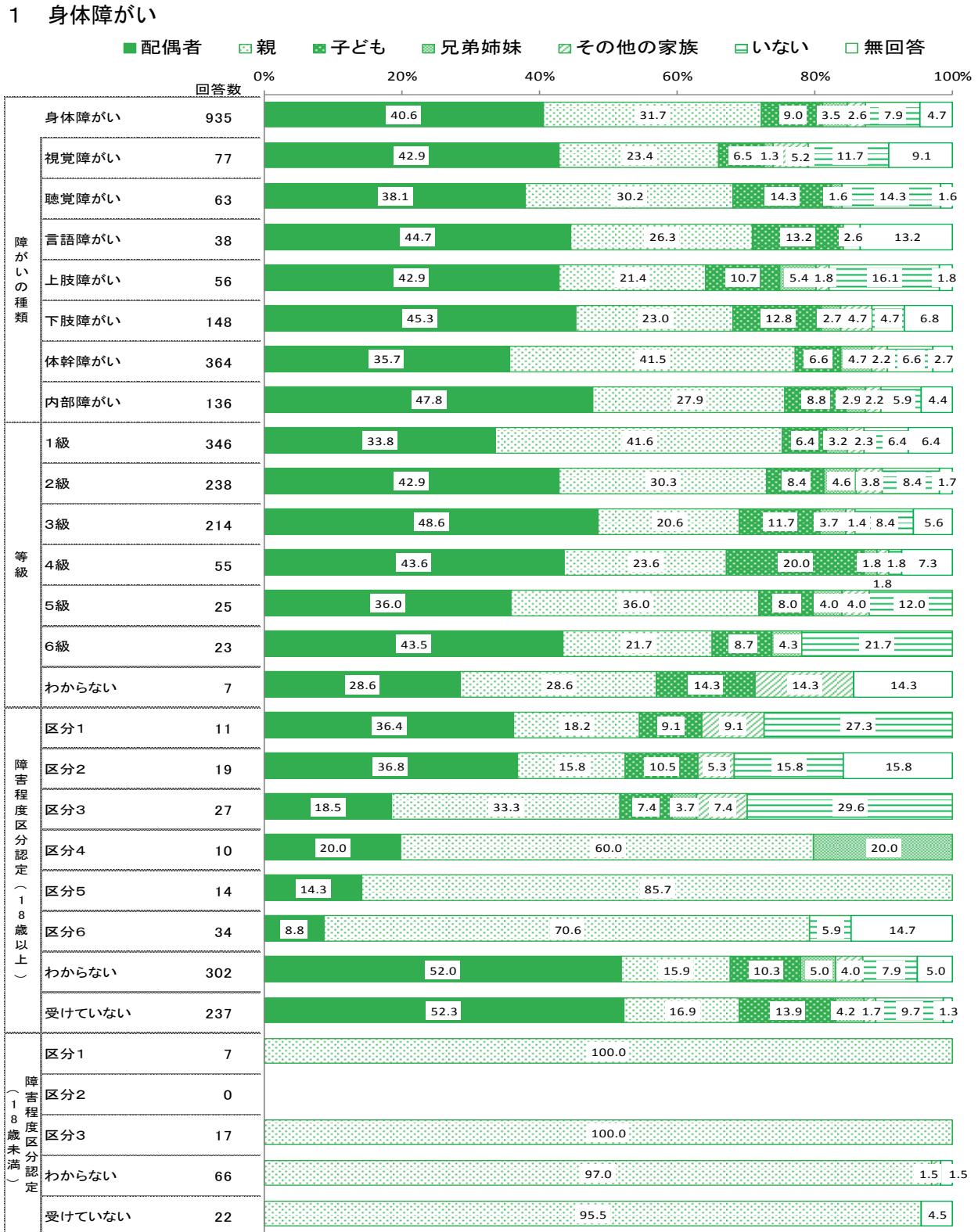


17 介助者

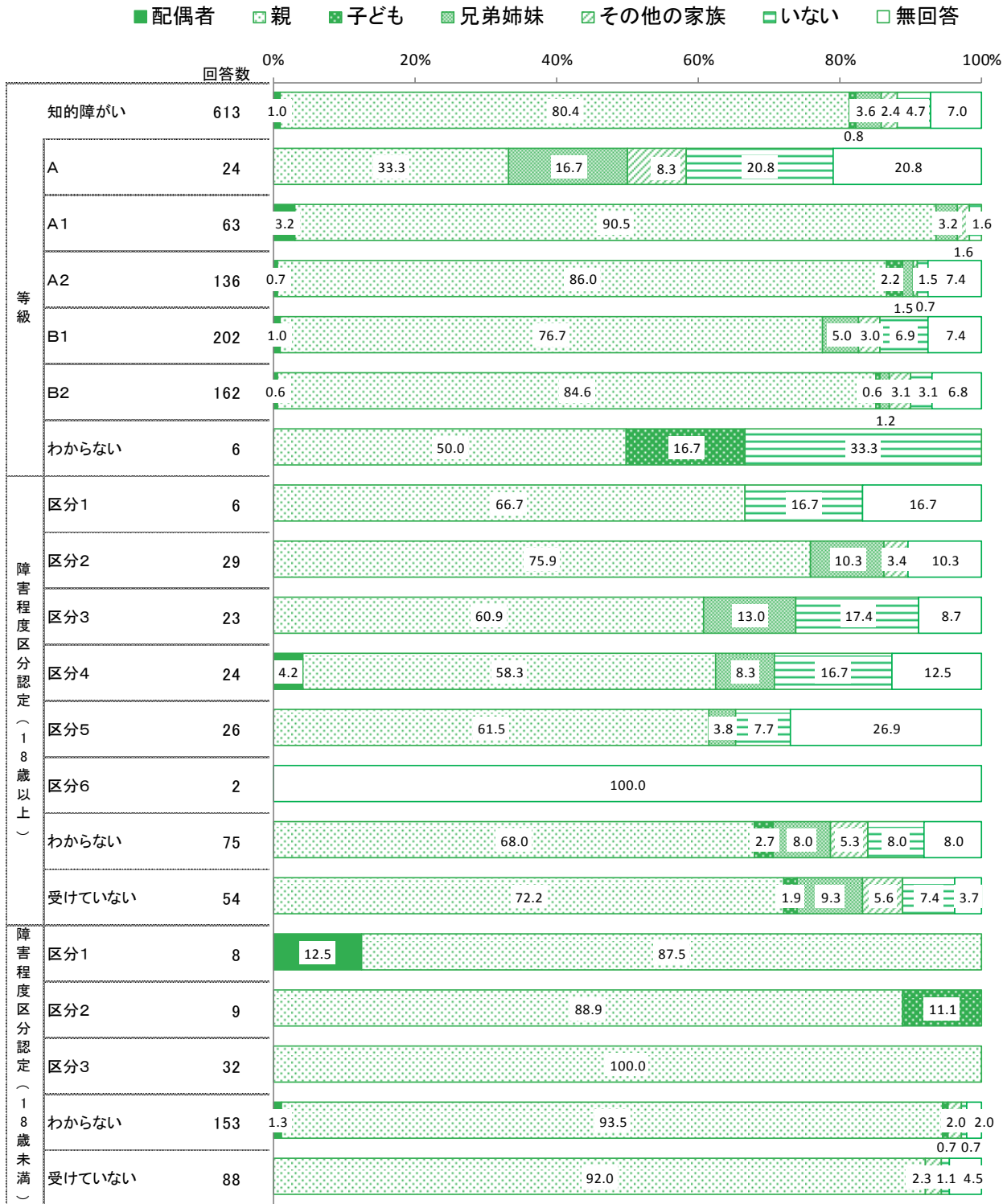
(1) 主に介助している方

主に介助している方は、身体障がい者は「配偶者」が40.6%、知的障がい者は「親」が80.4%、精神障がい者は「親」が42.6%、特定疾患医療受給者は「配偶者」が54.5%、手帳未所持者は「親」が96.8%とそれぞれ最も多くなっています。

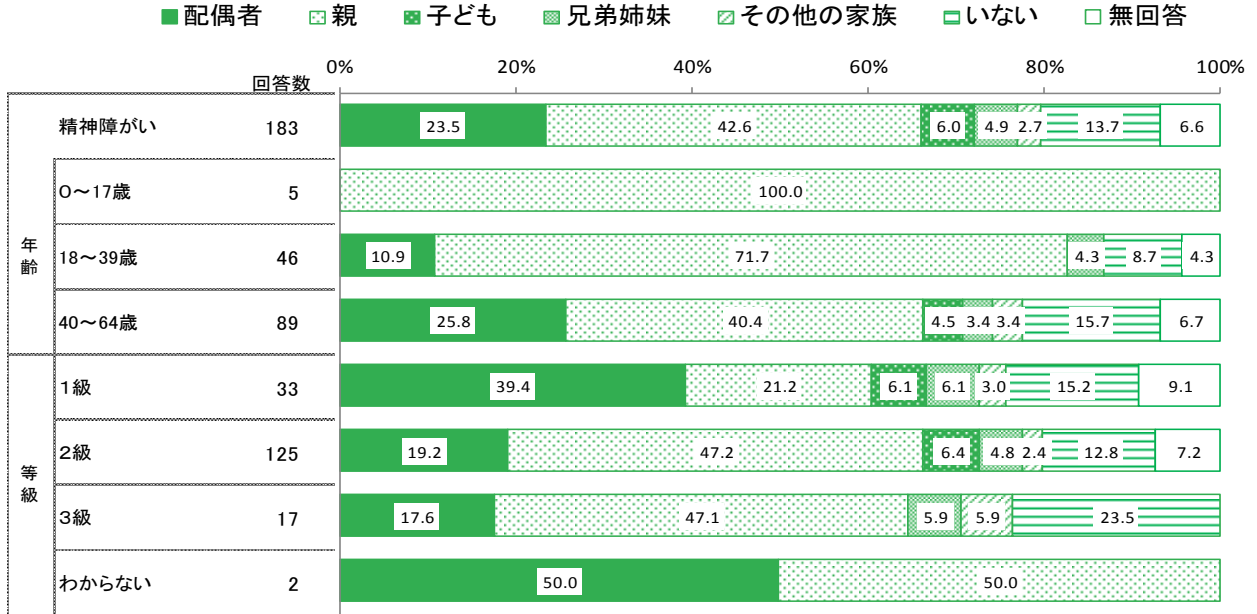
図表 32 家族のなかの主な介助者（介助が必要な方）



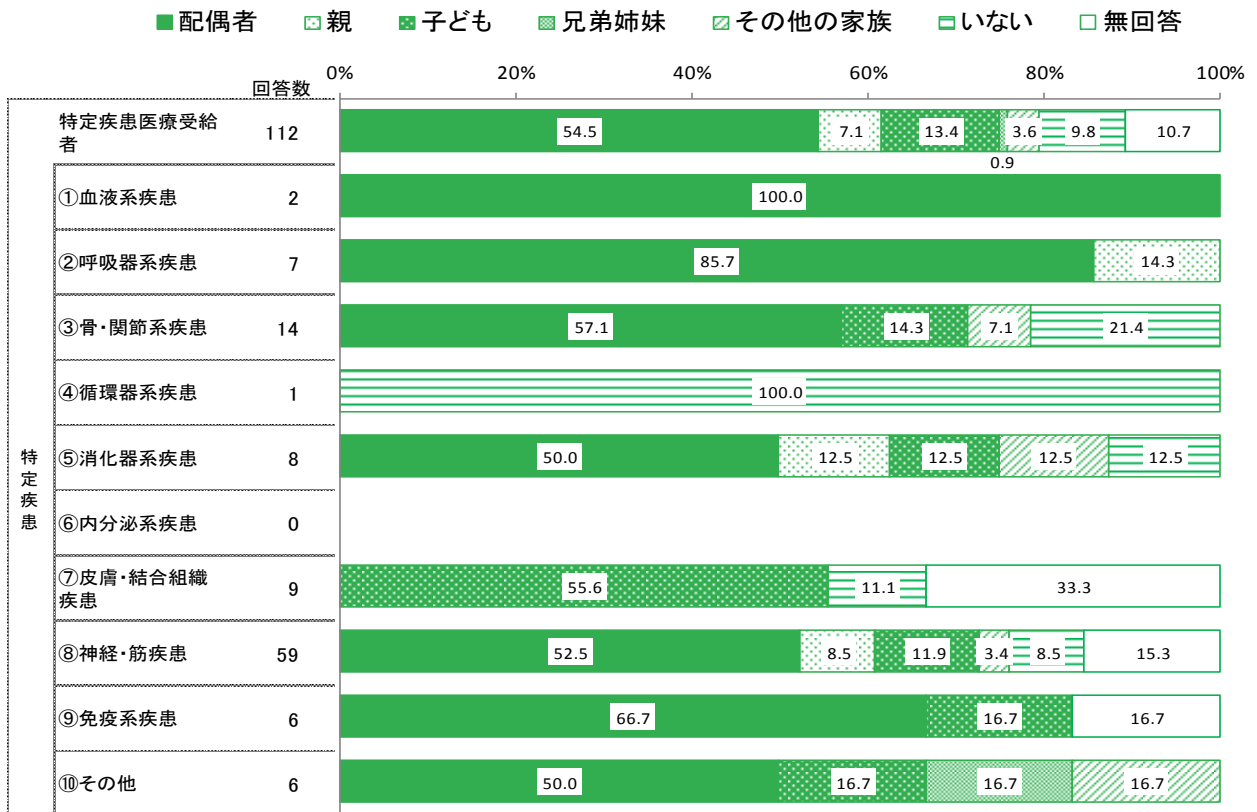
2 知的障がい



3 精神障がい



4 特定疾患医療受給者



5 手帳未所持者

